TSR-MS4R 取扱説明書

TSR-MS4R-01

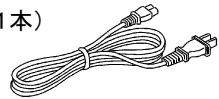
箱の中には

箱の中のものを確認します。□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

- **箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。**
- **イラストは若干異なる場合があります。**

□ 本製品

背面にコンパクトフラッシュダミーカードが挿入されています。
移動・保管時にご利用ください。

□ LANケーブル（2本：約1m）
・クロスケーブル　・ストレートケーブル

□ L字ブラケット（1個）

本製品を壁に取り付ける場合に使用します。
右のネジをご使用ください。

□ サポートソフトCD-ROM（1枚）

□ ACアダプタ（1個）

□ 電源ケーブル（1本）

□ L字ブラケット取付用ネジ（2本）

□ 台座取付用ネジ（1本）

□ RCAライン入力変換アダプタ（1個）

□ ハードウェア保証書（1枚）

☑ 取扱説明書（1冊）

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

【呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows	Windows XP,Windows 2000,Windows Me,Windows 98の総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, PowerBook, iMac, iBook, FireWire, Power Mac, Mac, Mac OS, Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

TSR-MS4R 取扱説明書
2002.12.01　　TSR-MS4R-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

もくじ

カメラで映像を見るまでの設定

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

カメラで映像を見る

必要なときに読むところ

本製品の付属情報や使用中のトラブルがあったときの解決法です。

特徴

本製品は、カメラ映像と音声をリアルタイムにインターネットなどのネットワークに配信できるサーバ機能を持ったカメラ搭載のネットワークビデオサーバです。従来このような映像配信では多くの機材と専門知識が必要でしたが、本製品では簡単な設定操作でインターネットを利用した映像配信が実現できます。

■*動画フォーマットに『MPEG-4規格』を採用*

パソコンに限らず、PDAや携帯電話などでも多く利用されている「MPEG-4規格」を採用しています。そのため、様々な環境においてスムーズな動画配信、閲覧が可能です。
MPEG-4により、従来の1/5～1/7のデータサイズを実現しました。
（従来のMotionJPEG比較）
JPEG形式の静止画の配信もサポートしています。

※プレイヤの仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合があります。
（ストリーム映像をバッファリングするためです。）

■*映像と音声をミックスした動画コンテンツの作成・配信*

「MPEG-4」を採用することにより、従来のMotionJPEGでは不可能であった映像と音声をミックスした動画コンテンツの作成と配信(ASFおよびRTP)が可能になります。
作成された動画および静止画データは、ネットワークを通じて配信したり、CFメモリーカードに記録することも可能です。
Windows標準プレイヤであるWindows Media Player 9やMac OS Ｘ標準プレイヤーであるQuickTime 6.3以降、また、pvPlayer 3を使用することによりPocketPC（PDA）でも再生できます。

※プレイヤの仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合がありますす。
（ストリーム映像をプレイヤー側がバッファリングするためです。）
※CFメモリーカードは弊社指定のCFメモリーカードを利用してください。
詳細は、【本製品に取り付けられるCFカード】(18ページ)を参照してください。

■*コンパクトフラッシュカードスロットを装備*

CF+™ Type Ⅱ準拠のスロットを装備しています。CFメモリーカードを挿入すると、動画記録が可能です。
また、その他の各種対応CFカードを挿入することにより機能を拡張することができます。（現在はメモリーカード、PHSカード、無線LANカードに対応しています。）

※これらの機能は弊社指定のCFカードでのみ有効です。
詳細は、【本製品に取り付けられるCFカード】(18ページ)を参照してください。

■カメラとマイクを内蔵したネットワークビデオサーバ

カメラとマイクおよびサーバ機能を一体化したことにより、簡単にネットワークに映像を配信することが可能です。
また、外付けのビデオカメラやマイクを接続することにより、目的に合った様々な用途に利用することも可能です。

■『Webブラウザ』での動画の閲覧と操作設定

本体の設定や動画の閲覧は、Webブラウザで行なえます。(設定は、Windowsのみ)

■アクセス制限機能

ユーザーIDとパスワードにより、特定のユーザーにのみアクセスを制限する事ができます。

■2つのMPEG-4フォーマットに対応

本製品は以下の2つの標準的なMPEG-4フォーマットおよびプロトコルをサポートしています。

ASF(Advanced Streaming Format)

Microsoftが提唱する、マルチメディアデータをネットワークを通してストリーミングデータとして提供するためのフォーマットで、TCPプロトコルです。
ファイルフォーマットとしても利用可能で、本製品では、ASF形式でのCFメモリカード等へのファイル保存にも利用しています。
Windows Media Playerが対応しています。

RTP(Real Time Protocol)

RTPは、音声や映像をストリーミング再生するための伝送プロトコルで、パケットロス対策や伝送時間保証などは行われていないUDPプロトコルです。
QuickTime PlayerやpvPlayerをはじめとした多くのプレイヤソフトがRTPに対応しており、ストリーミングフォーマットとして、広く利用されています。

各種ネットワーク環境への対応

本製品は内蔵LAN接続以外にも次のような様々なネットワークに対応しています。

■無線ネットワーク環境への対応

・本製品のCF+™ Type Ⅱ準拠スロットにIEEE802.11b対応 無線LANカードやPHSモデムカードを搭載することで、無線ネットワークなどのワイヤレス環境での運用が可能になります。

※IEEE802.11b対応無線LANカードのインフラストラクチャモード、アドホックモードをサポートしています。(ローミング機能はサポートしていません。)

※無線LANをインフラストラクチャーモードで使用する場合、別途無線LANアクセスポイントが必要となります。

※PHSカードを使用した場合は、PPP接続となります。

■PPPoE接続への対応

本製品はPPPoE接続に対応しています。そのため、ADSLモデムに本製品を直接接続することが可能です。

※PPPoE機能は本製品内蔵のLANインターフェイスのみで利用可能であり、CF+™ Type Ⅱ準拠スロットに搭載した無線LANカード等では利用することができません。

■PPP接続への対応

・本製品はPPPダイヤルアップ機能およびPPPサーバ機能を内蔵しています。

・PPP機能は、CF+™ Type Ⅱ準拠スロットにPHSカードを搭載した場合に使用します。

・PPPダイヤルアップ機能は、PHSカード(AirH″カードなど)を搭載している場合に、本製品から、プロバイダに対して、接続することができます。

※本機能を使用するためには、あらかじめ設定を行う必要があります。

・PPPサーバ機能は、PPPダイヤルアップ機能とは逆に外部からの本製品に対して直接、電話回線経由で接続される場合に使用されます。

※本機能を使用するためには、あらかじめ設定を行なう必要があります。

・PPPサーバ機能では、通常のユーザー名・パスワードの認証以外に、発信者番号通知によるアクセス制限を行う事も可能です。

■ダイナミックDNS機能およびIPアドレス通知機能について

・*動的IPアドレス環境下での運用サポート*

DHCP運用時、多くの場合、自動取得したIPアドレスが一定時間ごとに変更されます（動的IPアドレス環境）。そのため本製品が取得したIPアドレスの特定が困難となります。しかし、本製品では「ダイナミックDNS機能」や「IPアドレス通知機能」により動的IPアドレス環境下での運用がサポートされています。

・*ダイナミックDNS*

IPアドレスが変更された場合、ダイナミックDNSサーバのIP情報を更新することにより、常に同一のドメイン名でアクセスできます。
弊社提供のダイナミックDNSサービス「iobb.net」がご利用いただけます。

※詳細は以下をご覧ください。

http://www.iobb.net/

・*メール通知*

IPアドレスが変更された場合、その新しく取得したIPアドレスを記述した電子メールをあらかじめ設定された電子メールアドレスに自動的に送信します。

・*FTP転送*

IPアドレスが変更された場合、その新しく取得したIPアドレスを記述したリンクファイルをFTPにより、あらかじめ設定されたFTPサーバへ自動的に転送します。

・「ダイナミック DNS 機能」および「IP アドレス通知機能」は本体内蔵 LAN ポートの内蔵 LAN 接続の他に、PPP 接続、無線 LAN 接続、PPPoE 接続でも使用できます。
・動的 IP アドレス環境下かどうかの確認は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダにお問い合わせください。

[IP アドレス通知機能によるメール通知のフォーマット]

以下の内容でメールが送信されます。

件名：TSR-MS4R IP address notificaition
内容：TSR-MS4R IP address Information
IP address　　192.168.0.150
Subnet mask　　255.255.255.0

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
弊社の本製品以外の製品全般についての内容も記載しています。

■警告および注意表示

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。
　指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。
　給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。

屋外ではご利用いただけません。

屋外でのご利用は動作対象外です。

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ずパソコン本体・周辺機器の電源を切り、本製品の電源ケーブルのプラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源ケーブルを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用または保管すると火災・感電・故障の原因となります。

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。また、電源や AC アダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

日本国外で使用できません。

本製品は安定した場所に設置してください。

ぐらついた台の上や傾いたところには置かないでください。
落ちたり、倒れたりして事故の原因となります。水平なところに置いてください。

通気孔をふさがないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

雷がなったらACアダプタや本製品に触れないでください。

雷により感電の原因となります。

電源ケーブルについて

厳守

感電注意

発火注意

電源ケーブルの取り扱いは以下のことにご注意ください。

●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。

●濡れた手で電源ケーブルのプラグを、コンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。

●電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。

●電源ケーブルのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。

ACアダプタについて

厳守

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

火災・感電の原因となります。

●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。

感電注意

●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。

●ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。

発火注意

●ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
本製品に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。

⚠ 注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。
修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
  （保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

パソコンから本製品にアクセス中（インジケータが点滅および点灯中）に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- 熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

● **本製品の内蔵電池に関しての注意事項**

本製品はリチウム電池を使用しております。

リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

リチウム電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

・電池の液漏れ時には注意する

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。

漏れた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

また、目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。

液が身体や衣服についた場合は、水でよく洗い流してください。

・製品の取り扱いには注意する

製品を火中に投入すると、破裂したり、激しく燃えることがあります。

製品内部の電池を分解すると発熱して発火することがあります。

製品内部の電池を100℃以上に加熱すると、電池内部にガスが発生して電池内部の圧力の上昇により破裂・発火することがあります。

その他使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。

・ぬらさないでください。（屋外でのご利用は動作保証対象外です）

・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。

・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

■誤接続の注意

LANコネクタ（RJ-45）には、適応規格外のケーブル（電話用ケーブル、INSケーブルなど）を挿し込まないでください。

■修理について

本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

1 使う前の準備

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

必要なパソコン環境を確認する

本製品をご利用になるパソコンを確認します。

本製品の映像が見られるパソコン

本製品の映像を見るには、以下のパソコンが必要です。

対応機種	・NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン※1 メモリ…256MB以上 CPU…PentiumIII 500MHz以上(Windows Media Player 9) PentiumIII 1GHz 以上(Quick Time 6.3＋3GPP コンポーネント、または、QuickTime6.4) ・Apple Macintosh メモリ…512MB以上 CPU…G4 867MHz 以上(Quick Time 6.3＋3GPP コンポーネント、または、QuickTime 6.4)
対応 OS（日本語版）	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 SE Mac OS Ｘ 10.2 以降
プロトコル	TCP/IP
LAN インターフェイス	10BASE-T の LAN アダプタ(Ethernet)が内蔵および装着され正常に動作していること
Web ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1 以降※2 （Windows）
ソフトウェア	Windows Media Player 9 以降※3 （Windows） QuickTime 6.3+3GPP コンポーネント※4（Windows/Macintosh） または QuickTime 6.4※4 （Windows/Macintosh）
インターネット環境	本製品の映像を見るために必要なコーデックをインストールするために必要 （Windows Media Player 9 のみ）

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。

※2 ActiveX、JavaScriptを有効に設定する必要があります。
詳細は、【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】（78ページ）を参照してください。

※3 MPEG-4、G.726、GSM-AMRに対応したコーデックが別途、必要となります。
詳細は、【2. コーデックソフトをインストールする】（74ページ）を参照してください。

※4 アップル社のホームページよりダウンロードしてください。
http://www.apple.co.jp/quicktime/

本製品の映像を見られるPDA

Pocket PC 2002搭載PDAからでも本製品の映像を閲覧できます。

対応機種	カシオ Cassiopeia E-700/E-750/E-2000 HP Jornada 548/525/568 コンパック 3630/3660(PPC2002アップグレード版) 東芝 Genio e 550(PPC2002アップグレード版) NEC PocketGear(MC/PG5000)
対応OS	Windows CE Pocket PC 2002
ネットワーク プロトコル	適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバから取得していること
ソフトウェア	pvPlayer3※

※ pvPlayer3をインストールするには、ホストとなるWindowsがインストールされたパソコンが必要です。
また、あらかじめホストPCとゲストとなるPDAの間で、Active Syncが利用できる環境であることを、確認してください。
Active Syncのインストールや設定方法は、各PDAメーカーにお問い合わせください。

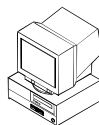
その他最新の対応 PDA については弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

本製品の映像を見られる携帯電話

携帯電話からでも本製品の映像を閲覧できます。(JPEGによる擬似動画表示)

対応機種	i アプリ対応(DoJa2.0 対応)NTT ドコモ製携帯電話 i-mode 504i シリーズ、505i シリーズ FOMA 2051 シリーズ、2701 シリーズ、2102 シリーズ

その他最新の対応携帯電話については弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

本製品を設定できるパソコン（Windowsのみ）

本製品を設定するには、以下のパソコンが必要です。

対応機種	NEC PC98-NX シリーズ DOS/V マシン※1
対応 OS （日本語版）	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 SE
プロトコル	TCP/IP
LAN インターフェイス	10BASE-T の LAN アダプタ(Ethernet)が内蔵および装着され正常に動作していること
Web ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1 以降※2
CD-ROM ドライブ	添付ユーティリティをインストールする場合に必要

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。
※2 ActiveX、JavaScriptを有効に設定する必要があります。
　詳細は、【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】（78ページ）を参照してください。
Mac OSなど上記以外の環境からの設定は、サポート対象外です。

本製品に取り付けられるCFカード

本製品背面には、CF Type Ⅱ準拠カードスロットがあります。
このCFカードスロットにメモリーカード、PHSカード、無線LANカードを挿入することによって機能を追加することができます。
現在本製品がサポートしているCFカードは以下のとおりです。

カード種別	製品名
フラッシュメモリカード	CFS シリーズ、CFX シリーズ、CFS（HI）シリーズ
無線 LAN カード *(IEEE 802.11b)*	WN-B11/CFL、WN-B11/CF
PHS カード	NTT ドコモ P-in m@ster
	DDI ポケット AirH″ AH-H401C、AH-H403C AH-N401C C@rd H″ CFE-02
マイクロドライブ	CFMD-1Gi

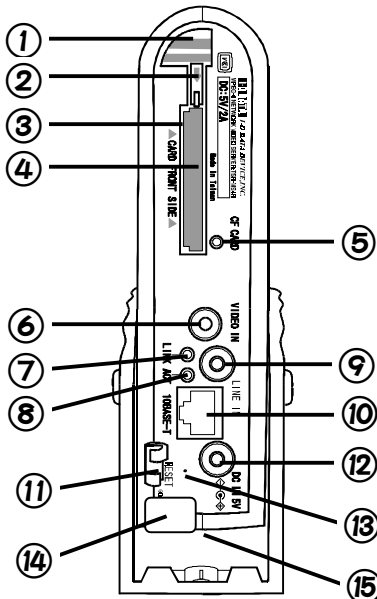
その他最新の対応 CF カードについては弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

各部のなまえとはたらき

■前面■

No	名称	解説
①	レンズ部	キズつけないようご注意ください。
②	POWERランプ	本製品の電源状態を表示します。 電源ON時：　緑点灯 電源起動中：　緑点灯 電源OFF時：　消灯 ※電源ON後、起動するまでの約90秒間は以下となります。 「②POWERランプ」 → 緑点灯 「③RUNランプ」および「④MEMORYランプ」 → 2つのランプが同時に緑とオレンジの点滅を繰り返します。 その後（点滅停止）から約10秒後に起動が完了します。

③	RUNランプ	ストリーム配信状態を表示します。 配信時:　　　緑点滅 無配信時:　　消灯 配信異常時:赤点灯
④	MEMORYランプ	データ記録状態を表示します。 記録中:　　　緑点灯 無記録時:　　消灯 記録異常時:赤点灯 CFカードの空き領域不足時:　　赤点滅
⑤	内蔵マイク	本製品の周りの音を取り込みます。
⑥	本体固定用ネジ (左右2カ所)	前後30度程度、傾けることができます。
⑦	台座	本製品を机などに置くときの台となります。 *※常に取り付けて使用します。*
⑧	三脚取り付け穴	JIS B7103 1/4規格に適合した三脚取り付け用ネジに対応しています。

■背面■

No	名称	解説
①	通気孔	ふさがないでください。
②	カード取り出しボタン	CFカードを取り出すボタンです。(取り出し方の詳細は【CF(コンパクトフラッシュ)カードを使う】110ページ参照)
③	コンパクトフラッシュカードスロット	CFカードの挿入口です。 *※出荷時には、CFダミーカードが挿入されています。* *本スロットをご使用にならない場合は必ずダミーカードを挿入しておいてください。*
④	コンパクトフラッシュダミーカード	CFカードスロットにゴミやほこりが入らないようにするためのものです。 取り出した場合は、なくさないようご注意ください。
⑤	CF CARDランプ	CFカードの認識状態を表示します。 CFカードを挿入して認識すると、緑色に点灯します。 認識されなかった場合は、点灯しません。
⑥	ビデオ入力端子(RCA)	ビデオカメラ側の出力端子との接続端子です。
⑦	LINKランプ	LANのリンク(接続)状態を表示します。 リンク時: 緑色点灯 リンク切断時: 消灯
⑧	ACTランプ	LANのデータ送受信状態を表示します。 データの送受信に応じて緑色に点滅します。
⑨	LINE入力端子	Φ3.5mmモノラルミニジャック
⑩	10BASE-T LANポート	イーサネット(Ethernet)ケーブルを接続します。
⑪	ACアダプタケーブル固定用フック	添付のACアダプタケーブルをひっかけて簡単に抜けないように固定するためのものです。(詳細は28ページ参照)
⑫	DCコネクタ	添付のACアダプタのDCプラグを挿入します。
⑬	全初期化ボタン	各種設定を初期値(工場出荷値)に戻します。 細長いピン(クリップの先)などで押しながら電源を投入します。
⑭	シリアルNo. MACアドレスシール	本製品のシリアルNo.およびMACアドレスが表示されたシールが貼られています。
⑮	通気孔	ふさがないでください。

2 設置や基本操作

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

設置や角度の調整について

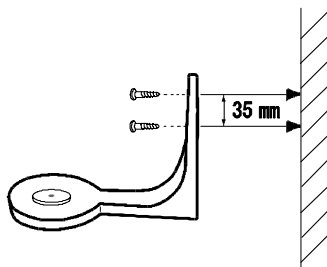
本製品を設置する際には、周辺の環境に充分注意してください。
本製品は、電波によって通信を行いますので、環境によっては正常に通信できなくなる場合があります。

壁にかける場合

本製品を壁にかけて設置する場合には、添付の「L字ブラケット」を使って設置します。

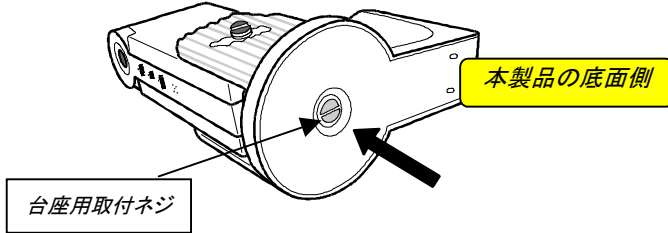
1 本製品を設置する壁の位置を決めます。

2 添付の「L字ブラケット」を［L字ブラケット取り付け用ネジ］2本でプラスドライバなどを使って以下のように壁に取り付けます。

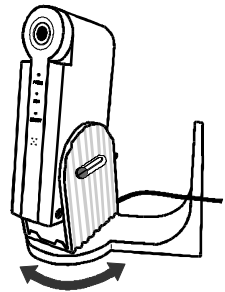
・2本のネジは床に対して垂直
・ネジのセンター同士は約35mm

添付のＬ字ブラケット取付用ネジで壁に取り付ける際は、以下にご注意ください。

- **壁に十分な厚みと強度があることを確認した上で、強固・確実に取り付けてください。**
- **必ず2本のＬ字ブラケット取付用木ネジを使用してください。1本だけ使用して取り付けると、落下の危険性が生じますので、絶対におやめください。**
- **Ｌ字ブラケットは、本製品を取り付ける円盤部分が下側になるよう、まっすぐに取り付けてください。Ｌ字ブラケットを斜めや逆さにしないでください。**
- **ネジを強くしめ過ぎて壊さないように注意してください。**
- **Ｌ字ブラケットは、本製品の取り付け以外には使用しないでください。**
- **壁に取り付けた本製品、およびＬ字ブラケットのそばを通るときは、ぶつかったり、物をぶつけないように注意してください。**

3 本製品を取り付けます。

本製品を壁に取り付けたL字ブラケットに載せ、下側から添付の「台座用取付ネジ」で固定してください。

本製品をＬ字ブラケットに取り付ける際は、以下にご注意ください。

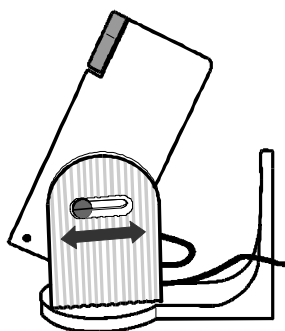
- **本製品の電源を切り、すべてのケーブル類を外した状態で行なってください。**
- **ネジを強くしめ過ぎて壊さないように注意してください。**
- **壁に取り付けた本製品、およびＬ字ブラケットのそばを通るときは、ぶつかったり、物をぶつけないように注意してください。**

Ｌ字ブラケットを固定している台座取付用ネジをゆるめることで、本製品の左右の角度を調整できます。
角度が決まったら、台座取付用ネジをしめ、本製品を確実に固定してください。

三脚に設置する場合

本製品は、以下の部材を利用して取り付けることができます。

- 一般的な市販の三脚（JIS B 7103 1/4規格のネジが使用されていること）
- 三脚取付用ネジ（JIS B 7103 1/4）が使われている市販のブラケット

前後の角度を調整する

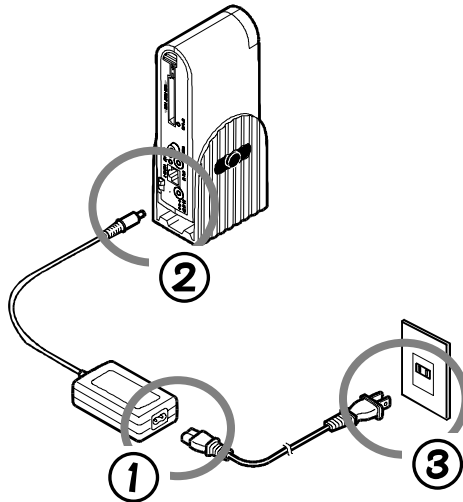
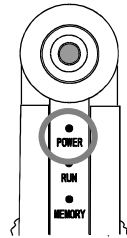
本製品は、本製品側面の固定用ネジを両側ともゆるめることにより、前後に30度ずつ角度を調整することができます。
角度が決まったら、本製品側面のネジでしめ、固定してください。

- **固定用ネジを片側だけゆるめての調整はしないでください。本製品や台座が壊れる恐れがあります。**
- **台座を加工するのは危険ですので、絶対におやめください。**
- **固定用ネジをしめる際には、両側とも均等にしめてください。**
  片側だけをかたくしめたりすると危険ですので、おやめください。
  また、ネジをしめすぎて台座を壊さないように注意してください。

電源を入れる･切る

本製品の電源は、電源プラグをコンセントから抜き差しすることで行います。

電源を入れる

1 添付の「ACアダプタ」と「電源ケーブル」を接続後、
「ACアダプタ」を本製品に接続し、電源コンセントに接続します。

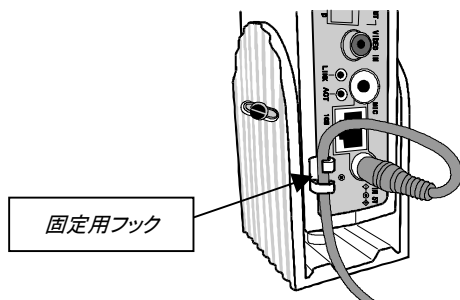
→本製品背面の[POWER]ランプが緑色に点灯することを確認してください。
ランプ点灯後、しばらく起動準備を行います。
起動が完了するには、電源投入後、*約90秒* かかります。（以下の【注意】参照）
[POWER]ランプのみが点灯していれば起動完了です。

POWER
RUN
MEMORY

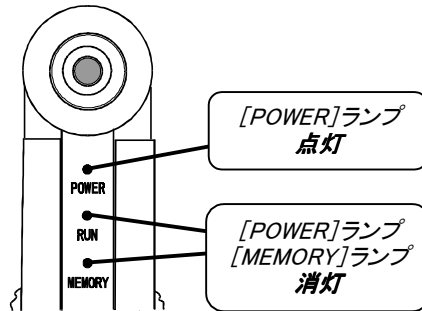
注意！

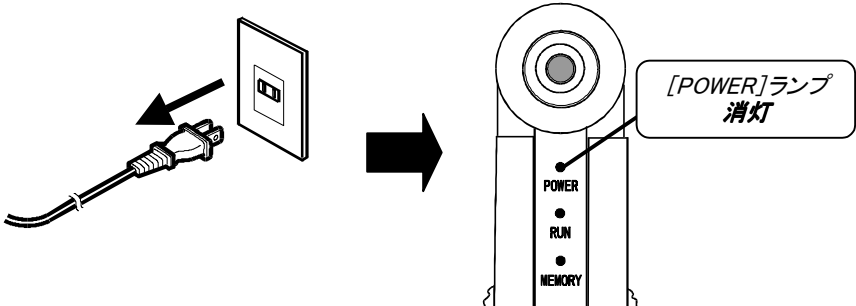
・**本製品の起動には電源投入後、約 90 秒かかります。**
本製品表面パネルの[POWER]ランプが緑に点灯したあと、起動中は[RUN]ランプと[MEMORY]ランプが2つとも同時に緑とオレンジの点滅を繰り返します。
起動完了後、[POWER]ランプのみが緑に点灯します。

- **電源を入れる際には、DC プラグを本製品背面の DC コネクタに取り付けてから、電源プラグをコンセントに挿してください。**
  逆に電源プラグをコンセントに挿してから、DC プラグを本製品背面の DC コネクタに取り付けると感電を引き起こす原因となります。
- **電源を入れた後、異臭や異音、発熱、その他異常がないか確認してください。異常があれば、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。**
  火災、感電、故障を引き起こす原因となります。
- **AC アダプタを『電子式変圧器』などに接続しないでください。**
  発熱や故障の原因となります。
- **AC アダプタの近くでラジオなどを使用すると、雑音が入る場合があります。**
  AC アダプタから離してご使用ください。

2 ケーブルを固定用フックに固定します。

ACアダプタのDCプラグに近いケーブルを、本製品背面の固定用フックに通し、ケーブルを固定してください。
DCプラグの抜けを防止するために、固定用フックに必ずケーブルを通して固定してください。
また、固定用フックにケーブルを通す際には、ケーブルのループが上を向く状態でフックに固定してください。

電源を切る

1 本製品へのアクセス*（本製品へのアクセスおよびCFカードご利用の場合はCFカードへのアクセス含む）*がないことを確認してください。
※以下のような状態であればOKです。

- **本製品へのアクセス中には、絶対に電源を切らないでください。**
  故障の原因となります。
  本製品で CF（コンパクトフラッシュ）カードをお使いの場合は、CF カードにアクセスがないこともご確認ください。
- **電源を切る際には、本製品背面の[DC コネクタ]から DC プラグを抜くのではなく、最初に電源プラグを抜き、その後 DC プラグを抜いてください。**
  感電の原因となります。

2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
→ [POWER]ランプが消灯することを確認します。

本製品の映像を見るには

本製品の映像を見るには、設定用パソコンで、導入するネットワークに応じて本製品の設定が必要です。
また、本製品を設定するパソコンの準備も必要です。
以下の手順に従って作業を進めてください。

作業1: 本製品を設定するパソコンの準備

本製品の映像を見るには、本製品の設定が必要です。
設定はパソコン（設定用パソコン）を本製品を接続後、設定画面から行います。

1. 設定ユーティリティをインストールする ………… 31ページ
2. 設定用パソコンを接続する ………………… 35ページ
3. IPアドレスを設定する ……………………… 39ページ

作業2: ネットワークに導入する

導入したいネットワークに応じた本製品の設定を行います。
導入するネットワークをご確認ください。

インターネットを利用し、みんなで映像を見る場合 … 50ページ
AirH″カードで常時接続する場合（PPPクライアント接続） 58ページ
PIAFS回線でダイヤルアップ接続する場合 ……… 65ページ
（PPPクライアント接続）

作業3: 映像を見る

ネットワークに導入後、本製品の映像を見てみましょう。

ブラウザやWindows Media Player 9で映像を見る ‥ 71ページ
（Windows）
QuickTimeで映像を見る（Windows＆Macintosh） ……… 87ページ
pvPlayer3で映像を見る（Pocket PC 2002） ………… 97ページ
携帯電話から映像を見る ……………………… 103ページ

3 本製品を設定するパソコンの準備

設定ユーティリティのインストール

本製品の映像を見るには、最初に本製品を設定する必要があります。
設定は、添付のCD-ROM内のユーティリティを使って、Windowsから行います。
以下の手順でインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

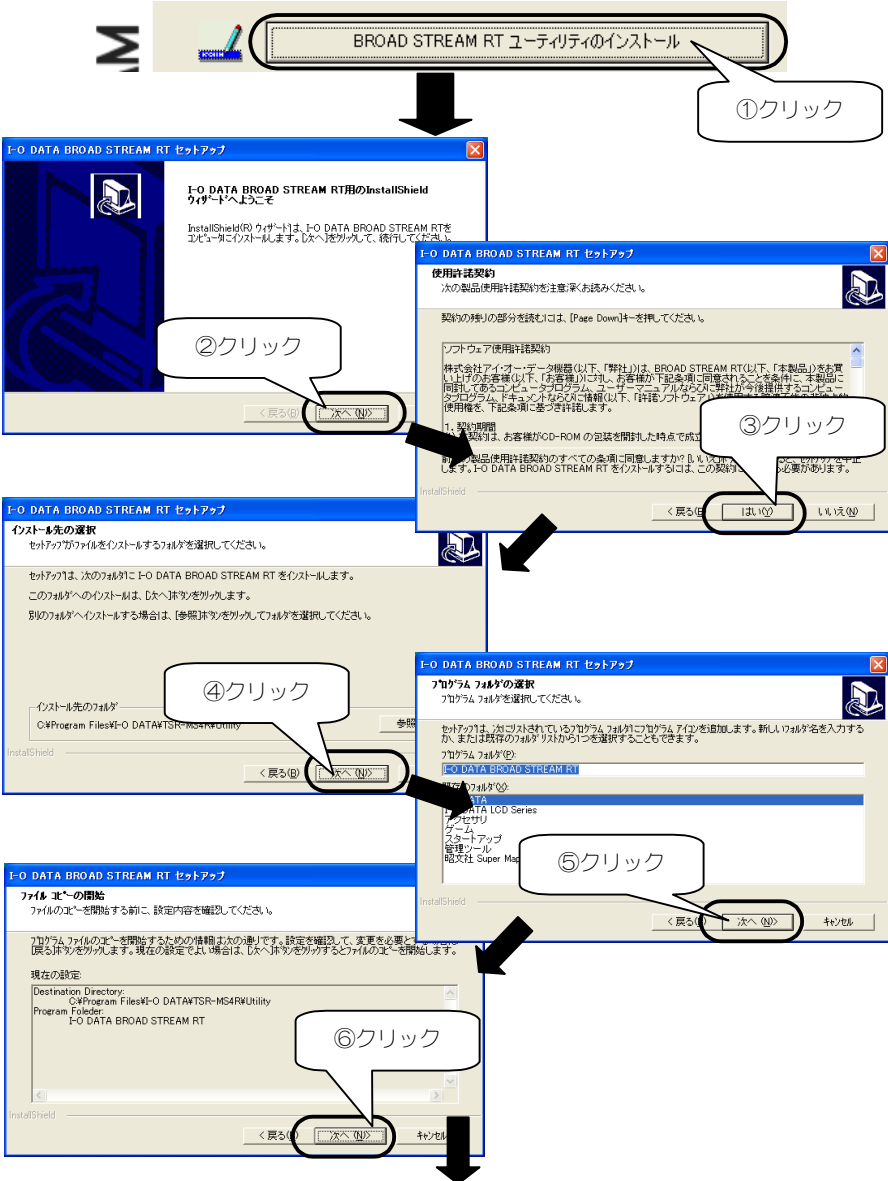
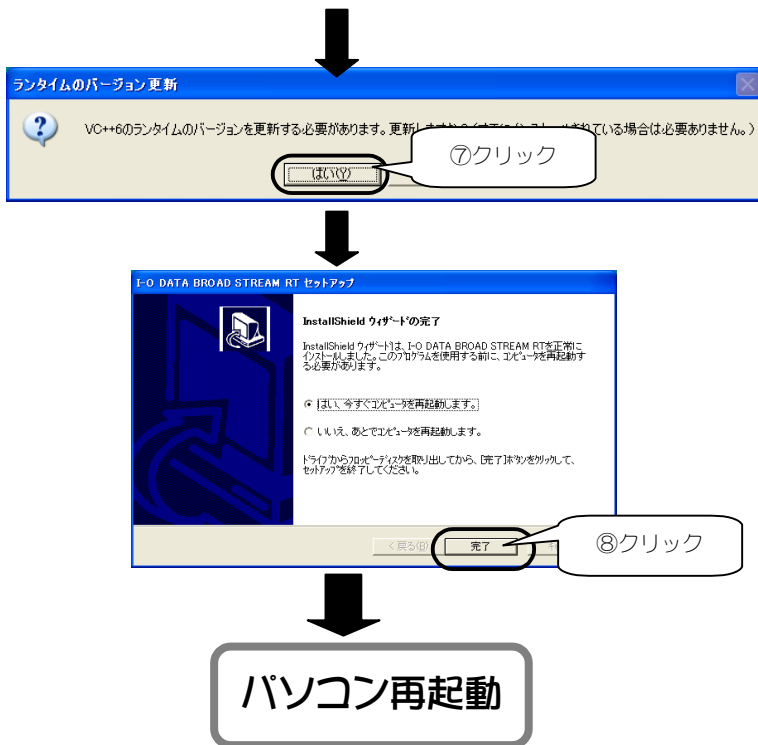
Windows XP では[コンピュータの管理者のアカウント]で、Windows 2000 では[Administrator]権限でログオンしてください。

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。

[CDメニュー]

メニュー画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の「BROAD STREAM RTユーティリティのインストール」をクリックします。
後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上でインストールは終了です。
次ページへお進みください。

4　接続する

設定用パソコンを接続する

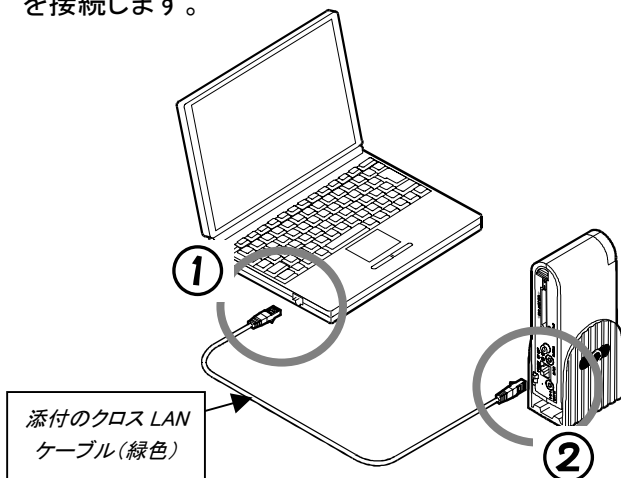
パソコン（設定用パソコン）を本製品に接続します。
※設置用パソコンにはLANコネクタ（LANアダプタ）が必要です。

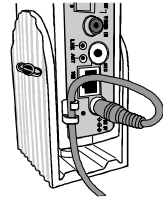
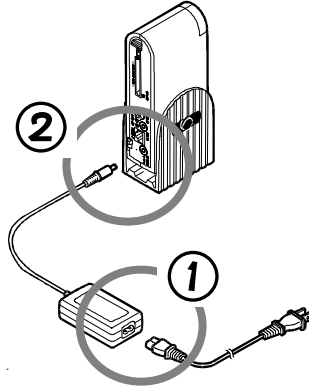
1 本製品の電源が切れている*（[POWER]ランプが消灯している）*ことを確認します。電源が入っている場合は、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

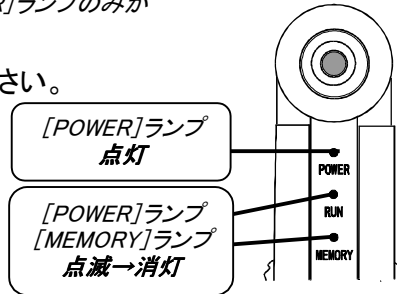
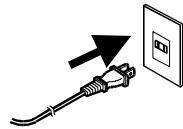
→ ［POWER］ランプが消灯することを確認します。

- **電源を切る際には、本製品背面の［DC コネクタ］から DC プラグを抜くのではなく、最初に電源プラグを抜き、その後 DC プラグを抜いてください。
感電の原因となります。**
- **本製品へのアクセス中には、絶対に電源を切らないでください。
故障の原因となります。
本製品で CF（コンパクトフラッシュ）カードをお使いの場合は、CF カードにアクセスがないこともご確認ください。**

2 パソコンの電源が切れていることを確認します。

3 添付のLANケーブル（クロスケーブル：緑色）で本製品とパソコンのみを接続します。

4 電源ケーブルとACアダプタを接続後、本製品にACアダプタを接続します。

ACアダプタケーブルは必ず背面の「固定用フック」に取り付けて外れないようご注意ください。）

5 電源ケーブルをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。

起動が完了する*（[POWER]ランプのみが緑色に点灯すること）*まで約90秒ほど、お待ちください。

- **電源投入後、本製品表面パネルの[POWER]ランプが緑に点灯したあと、起動中は[RUN]ランプと[MEMORY]ランプが2つとも同時に緑とオレンジの点滅を繰り返します。起動完了後、[POWER]ランプのみが緑に点灯します。**

6 本製品の起動完了後、パソコンの電源を入れます。

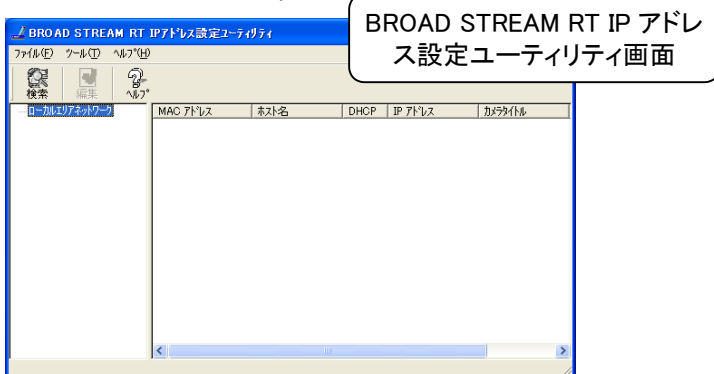
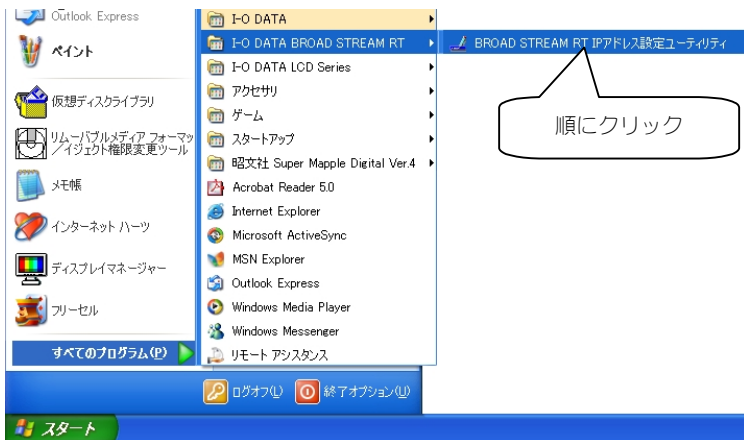
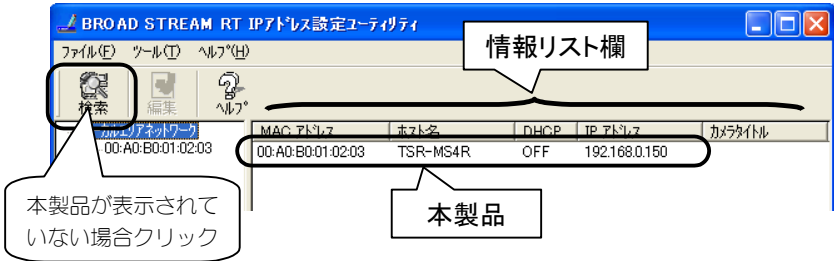
この後、39ページへお進みください。

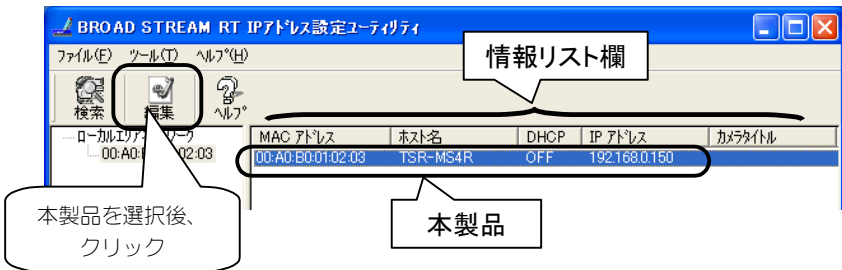
5 IPアドレスを設定する

本製品のIPアドレスを設定する

本製品のIPアドレスを、インストールした[IPアドレス設定ユーティリティ]で設定します。

1 [スタート]→[プログラム]*(または[すべてのプログラム])*→[I-O DATA BROAD STREAM RT]→[BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]を順にクリックします。

→[BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]画面が表示されます。

2 ［情報リスト］欄の本製品が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、［検索］をクリックします。

→本製品が表示されます。

3 設定したい本製品を情報リスト欄上でクリックし、［編集］ ボタンを、クリックします。

本製品設定用の編集ウィンドウでIPアドレスなどを設定します。

IPアドレス・サブネットマスクを、使用環境にあわせて設定してください。
認証ユーザーIDおよびパスワードも入力し、[設定]ボタンをクリックします。
（初期値は、ユーザーID「admin」、パスワードは「」(空白)となっています。）

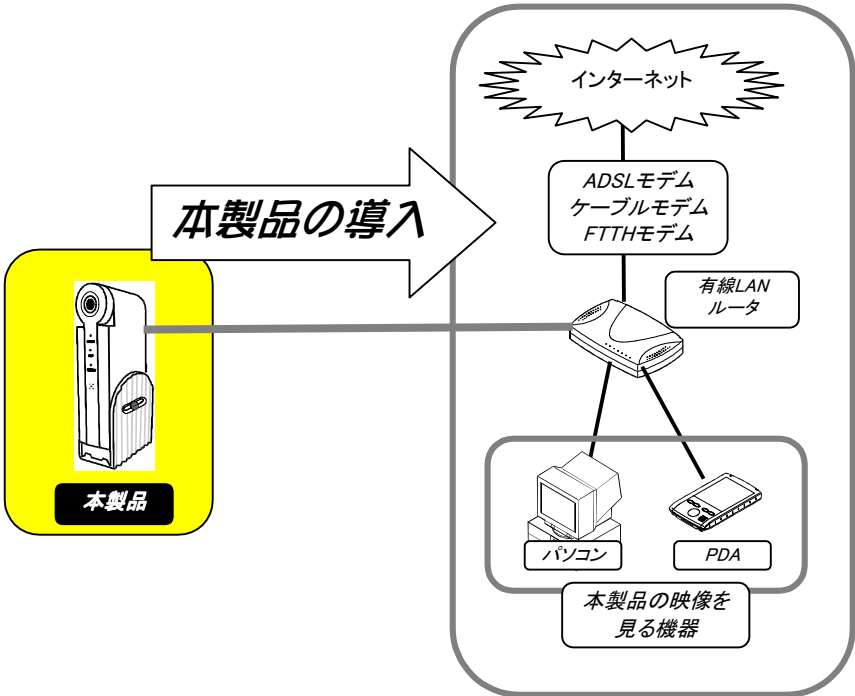
「設定」ボタンクリック後、本製品への設定が完了するまで、
約90秒かかります。
しばらく、そのままお待ちください。

弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加して利用する予定の場合は、初期値（192.168.0.150）のままでご利用いただけます。
（ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合）

以上で設定は終了です。

本製品をご利用のネットワークに導入し、必要な設定を行ってください。
45ページへお進みください。

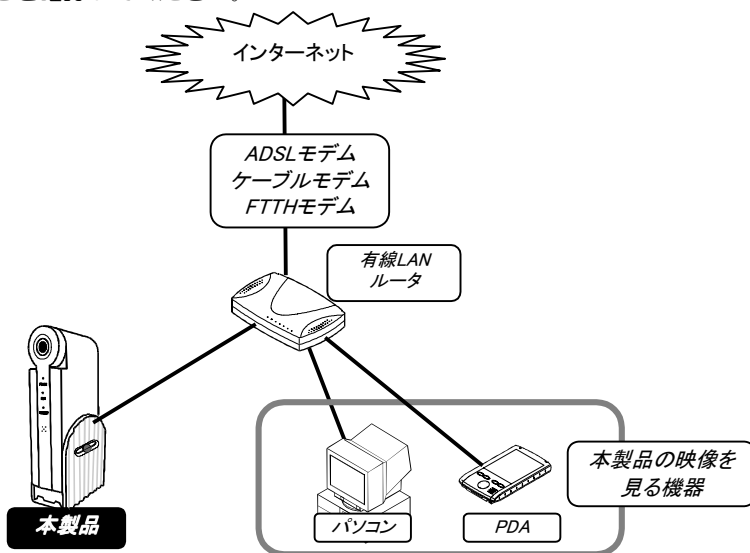
導入例：同一LAN上のパソコンから接続して、映像を見る例

一番基本となる接続です。

6 ネットワークに導入する

ネットワーク構成例

本製品のネットワーク構成例を示し、そのネットワーク構成に応じた、最低限必要な本製品の設定項目を説明します。

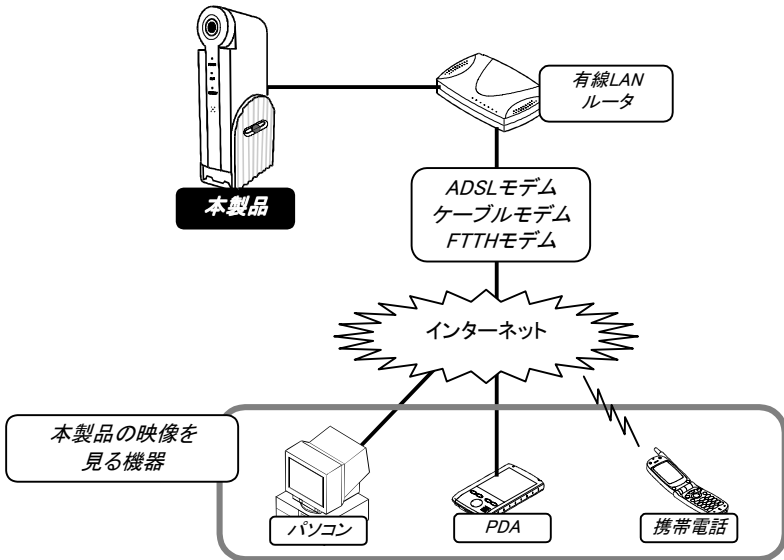
構成例①:同一LAN上のパソコンから接続して、映像を見る例

一番基本となる接続です。71ページ以降の映像を見る手順を行った後、映像が見えることを確認してください。

この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	IPアドレスの設定　→　40ページ
本製品の映像を 見る機器側の設定	パソコンの場合　→　71ページまたは87ページ参照 PDAの場合　→　97ページ参照

映像を見るためには、本製品およびパソコン(あるいは PDA)に正しく IP アドレスが割り当てられている必要があります。
弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加していただく場合は、初期値(192.168.0.150)のままでご利用いただけます。(ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合)

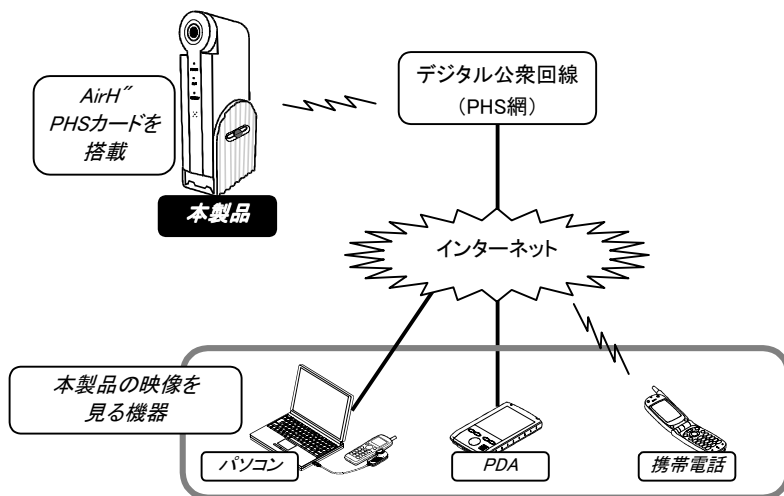
構成例②:インターネットを利用し、みんなで映像を見る例

以下は、本製品に有線LANルータ経由でインターネットにネットワーク接続している例です。
インターネット経由でパソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。
※携帯電話からの閲覧の場合は、インターネットへの接続が必須となります。

この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	IPアドレスの設定 → 40ページ ダイナミックDNSの設定 → 54ページ
有線LANルータの設定	本製品をバーチャルサーバ(仮想サーバ)あるいはDMZにする設定 → 56ページ参照
本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合 → 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合 → 97ページ参照 携帯電話の場合 → 103ページ参照

構成例③:AirH″(常時接続)を利用し、みんなで映像を見る例

以下は、本製品にAirH″ PHSカードを接続し、インターネット経由で本製品に接続している例です。
インターネット回線を引けない場所での設置する場合でも、PHSネットワークを経由して、パソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。

設定手順の詳細 → 58ページへ

注意!

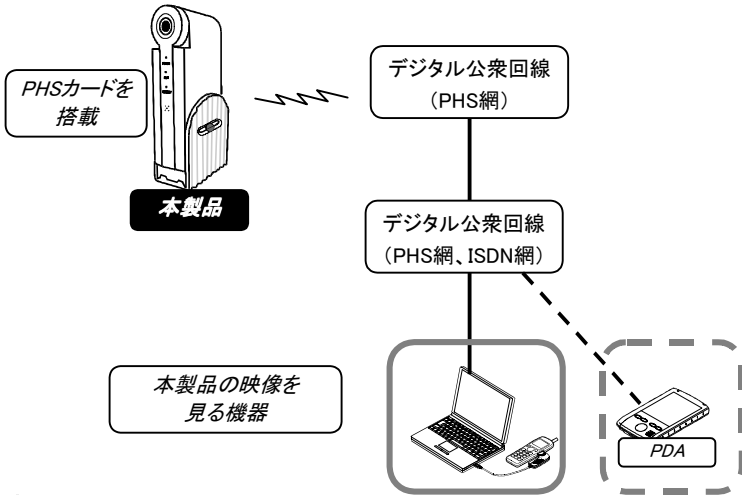
- **AirH″カードは、128k 常時接続契約が必要です。**
- **AirH″の上り回線を利用するため、32k~64kbps のビットレートでの利用となります。**
- **パケット方式の性質上、安定して画像転送できない場合があります。**

この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	PHSカードの取り付け → 110ページ ダイヤルアップの設定 → 177ページ IPアドレスの設定 → 40ページ
本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合 → 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合 → 97ページ参照 携帯電話の場合 → 103ページ参照

構成例④:電話回線(PHS)を利用し、映像を見る例

以下は、本製品にPHSカードを搭載し、デジタル公衆回線（PHS網）経由で本製品に接続している例です。デジタル公衆回線（PHS網）経由でパソコンやPDAから本製品の映像を見ることができます。

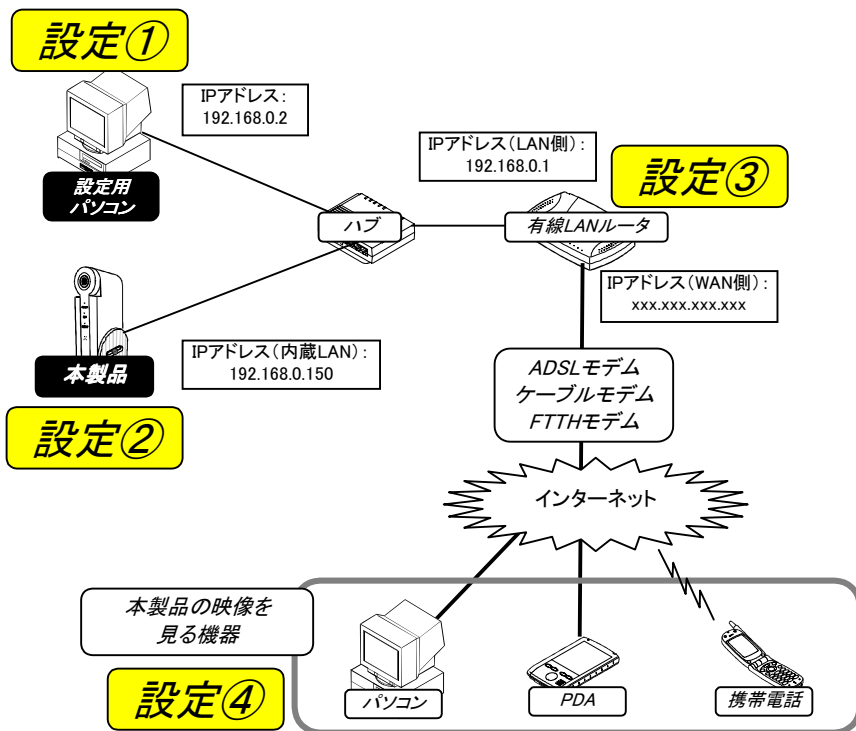
設定手順の詳細　→　65ページへ

注意！

- **映像を見るパソコンには、PHS または ISDN 回線（デジタル）が必要です。**
  アナログ（モデム）では接続できません。
- **同時に複数のパソコンや PDA から本製品に接続することはできません。**
  （本製品の PPP サーバ機能はダイヤルアップ[PPP 着信]を1つしか受けられないためです。）
- **PIAFS 接続のため、32kbps または 64kbps での接続となります。**
  ビットレートは、32kbps～64kbps で設定してください。

この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	PHSカードの取り付け → 110ページ ダイヤルアップの設定 → 177ページ IPアドレスの設定 → 40ページ
本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合 → 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合 → 97ページ参照

インターネットを利用し、みんなで映像を見る場合

以下は、本製品に有線LANルータ経由でインターネットにネットワーク接続している例です。インターネット経由でパソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。

この場合、以下の順に設定が必要となります。

設定①:設定用パソコンの設定　→　次ページ
設定②:本製品の設定　→　次ページ
設定③:ルータの設定　→　56ページ
設定④:映像を見る機器の設定　→　57ページ

設定①:設定用パソコンの設定

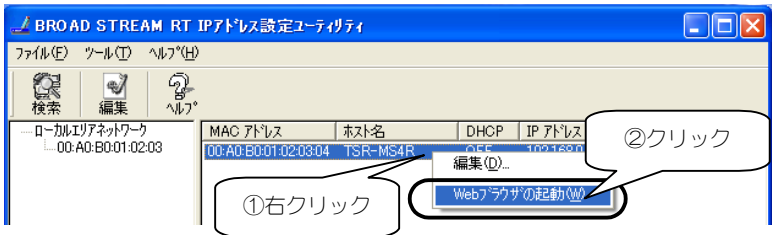
設定用パソコンを設定しておく必要があります。設定の詳細は、【本製品を設定するパソコンの準備】（31ページ）を参照してください。

本製品および設定用パソコンに正しく IP アドレスが割り当てられている必要があります。弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加していただく場合は、初期値（192.168.0.150）のままでご利用いただけます。（ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合）

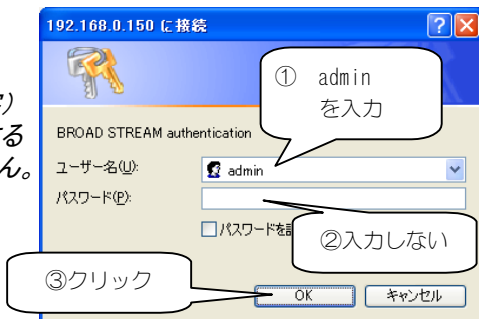
設定②:本製品の設定

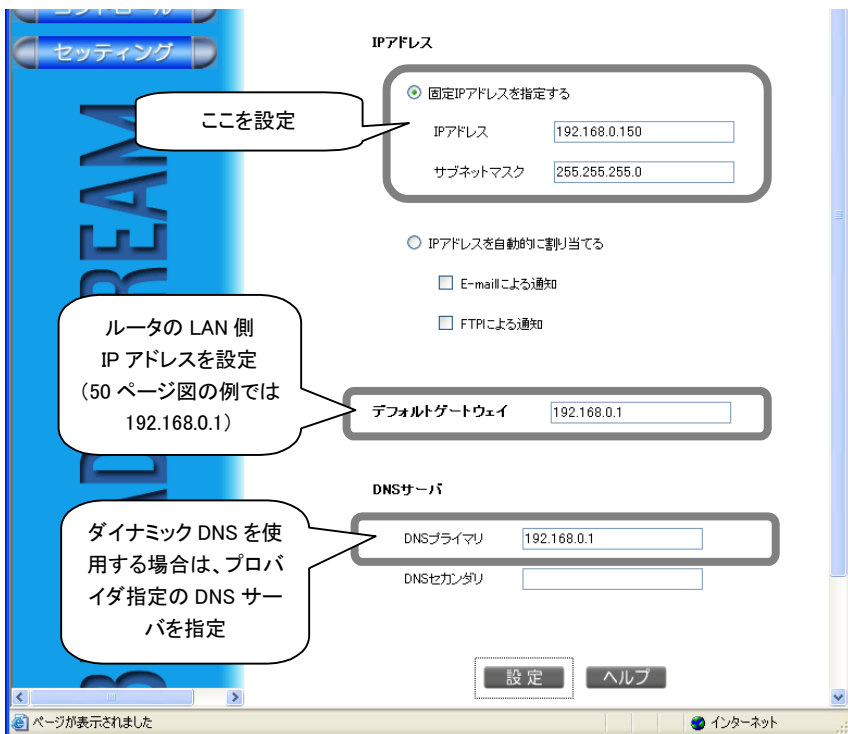
本製品をネットワーク構成に応じた設定にする必要があります。

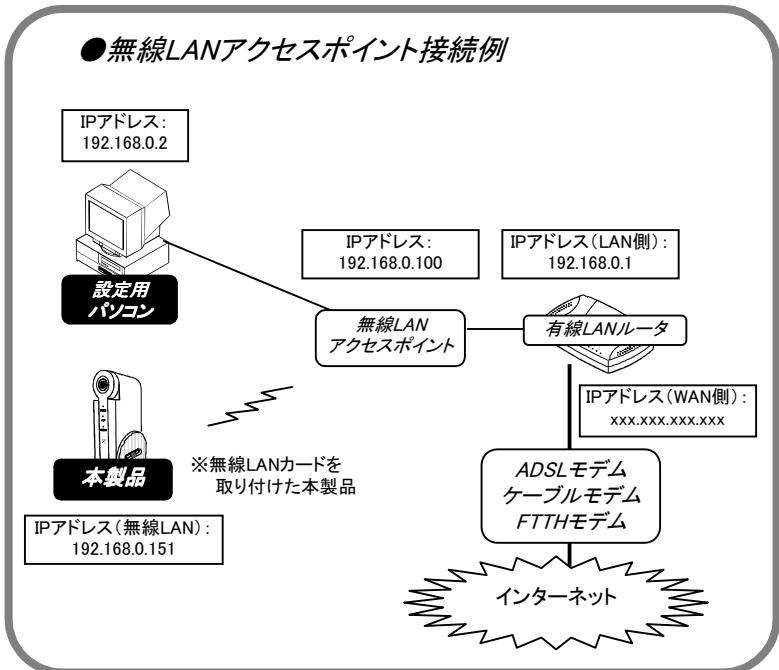
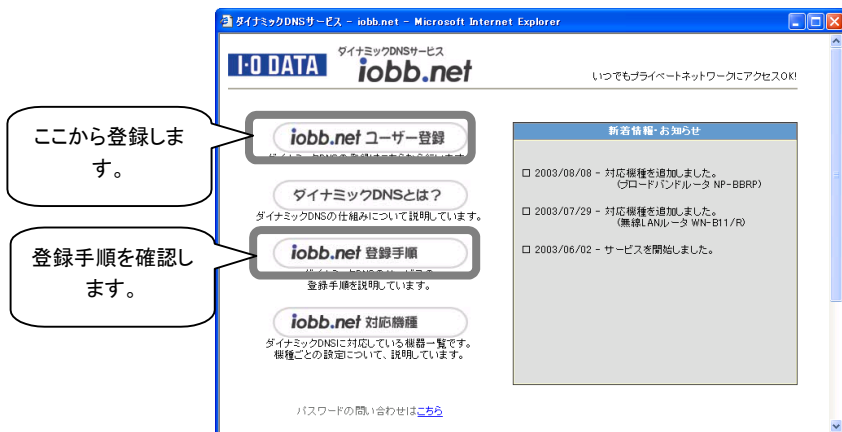
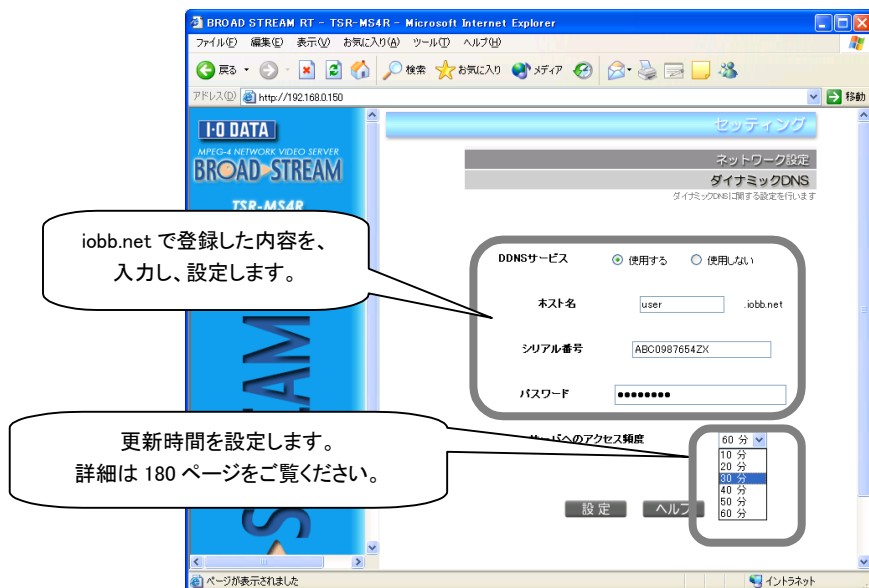
1 [BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]画面を起動します。（【IPアドレスを設定する】39ページ参照）

2 本製品を右クリック後、[Webブラウザの起動]をクリックします。

3 本製品のWeb設定画面が表示されます。

4 右の画面が表示された場合は、以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザー名]:　admin
（半角小文字）
[パスワード]:　何も入力する必要はありません。

5 [セッティング]→[ネットワーク設定]→[内蔵LAN設定]を順にクリックし、本製品を接続しているルータのLAN側のIPアドレスと同じセグメントに合わせせ、[設定]ボタンで設定します。

セッティング
IPアドレス
ここを設定
固定IPアドレスを指定する
IPアドレス　192.168.0.150
サブネットマスク　255.255.255.0
IPアドレスを自動的に割り当てる
E-mailによる通知
FTPによる通知
ルータの LAN 側 IP アドレスを設定（50 ページ図の例では 192.168.0.1）
デフォルトゲートウェイ　192.168.0.1
DNSサーバ
ダイナミック DNS を使用する場合は、プロバイダ指定の DNS サーバを指定
DNSプライマリ　192.168.0.1
DNSセカンダリ
設 定　ヘルプ
ページが表示されました　インターネット

ルータに DNS リレー機能がついている場合は、DNS サーバにルータの LAN 側アドレス(例では、192.168.0.1)を指定することができます。

以下は、無線 LAN アクセスポイントに接続する際の接続例です。
無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、設定画面の[設定]→[ネットワーク設定]→[無線 LAN 設定]で、無線 LAN アクセスポイントと同じ[ESS-ID]と[WEP Key]を入力し、設定します。
また、IP アドレスはルータの IP アドレスクラス内で、内蔵 LAN とは異なる IP アドレスに設定してください。
※[内蔵 LAN 設定]と[無線 LAN]設定を同時に DHCP クライアントに設定することはできません。

6 弊社ダイナミックDNSサイト iobb.net「http://www.iobb.net/」にアクセスして、アカウント登録を行ってください。
登録手順については、「iobb.net登録手順」を確認してください。

7 設定画面の[セッティング]→[ネットワーク設定]→[ダイナミックDNS]を順にクリックし、ダイナミックDNSを設定します。

8 動画の設定を行います。
（ASFの場合・・・Windows Media Player 9で閲覧）
設定画面の[セッティング]→[MPEG-4 動画設定]→[ASF動画設定]を順にクリックします。

（RTPの場合・・・QuickTime PlayerまたはpvPlayerで閲覧）
設定画面の[セッティング]→[MPEG-4 動画設定]→[RTP動画設定]を順にクリックします。

動画データ設定

リアルタイム動画配信　有効　無効

データレート　64 kbps

画質　高　中　低

解像度　CIF　QCIF　SQCIF

音声　AMR (低)

リフレッシュ周期　5 秒間隔

最大フレームレート　15 フレーム

接続するネットーワーク環境に合わせて、動画の設定を行います。

NAT/IPマスカレード機能対応

グローバルIP設定　有効　無効

グローバルIPアドレス　user.iobb.net

RTP 配信は、ルータ越えをする場合、本項目の設定が必要となります。
[グローバル IP 設定]を有効にし、グローバル IP アドレスに、先ほど登録した DDNS アドレスを、登録してください。

設定

[設定]ボタンをクリック

以上で本製品の設定は終了です。

設定③:ルータの設定

LAN接続した本製品の映像をインターネット上の他のパソコンから見るには、本製品をバーチャルサーバ（仮想サーバ）に設定しておく必要があります。お使いのルータの取扱説明書で設定をご確認ください。
ここでは、弊社製ブロードバンドルータ「NP-BBRP」での設定（画面）例について説明します。

・ASFをご利用になる場合(Windows Media Player 9)

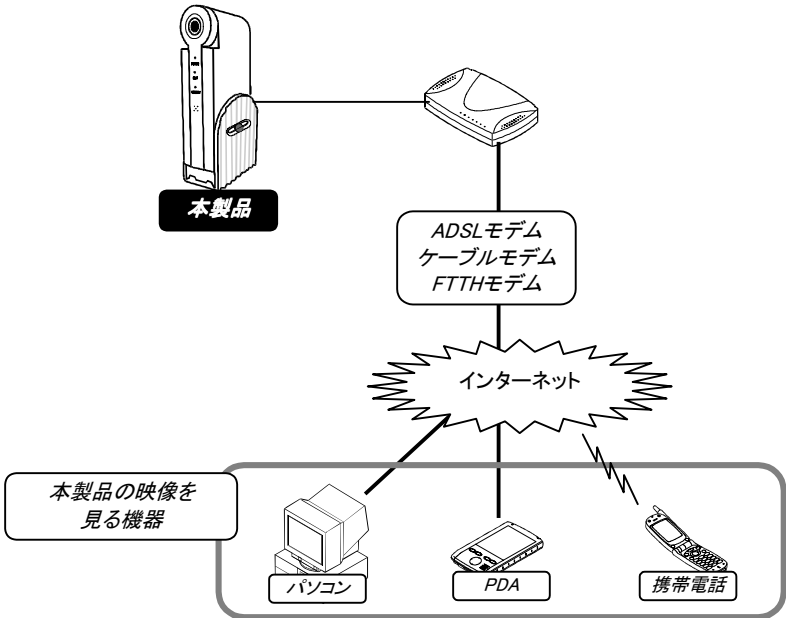
仮想サーバ(バーチャルサーバ)に本製品のIPアドレスを仮想サーバ(バーチャルサーバ)として登録し、TCP80番ポートのみ開放します。

・RTPをご利用になる場合(QuickTime Player・pvPlayer)

本製品をDMZとして登録し、すべてのポートを本製品に開放します。

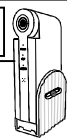
設定④:映像を見る機器の設定

映像を見るパソコンやPDAあるいは携帯電話にもソフトウェアのインストールなどの設定が必要です。

本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合 → 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合 → 97ページ参照 携帯電話の場合 → 103ページ参照

AirH"カードで常時接続する場合（PPPクライアント接続）

以下は、本製品にAirH"カードを搭載し、AirH"回線経由でインターネットに接続している例です。
インターネット経由でパソコンから本製品の映像を見ることができます。

対応AirH" CFカード
DDIポケット AirH" AH-H401C、
AH-H403C、
AH-N401C

注意！

- **AirH"カードは、128k 常時接続契約が必要です。**
- **AirH"の上り回線を利用するため、32k～64kbps のビットレートでの利用となります。**
- **パケット方式の性質上、安定して画像転送できない場合があります。**

この場合、以下の順に設定が必要となります。

設定①:設定用パソコンの設定　→　次ページ
設定②:本製品の設定　→　次ページ
設定③:映像を見る機器の設定　→　64ページ

設定①:設定用パソコンの設定

設定用パソコンを設定しておく必要があります。
設定の詳細は、【本製品を設定するパソコンの準備】（31ページ）を参照してください。
※設定するパソコンは、内蔵LAN経由で接続し設定を行います。

設定②:本製品の設定

本製品をネットワーク構成に応じた設定にする必要があります。

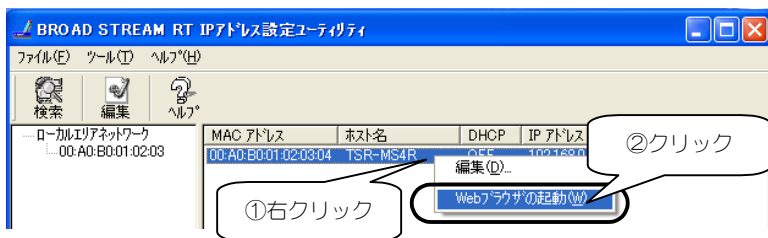
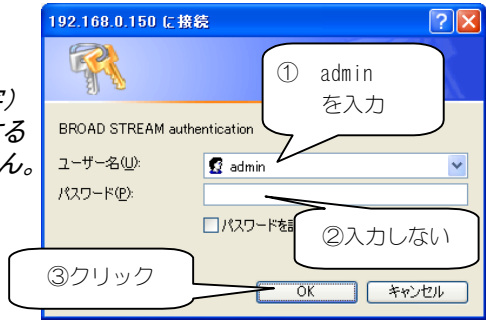
1 [BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]画面を起動します。(【IPアドレスを設定する】39ページ参照)

2 本製品を右クリック後、[Webブラウザの起動]をクリックします。

3 本製品のWeb設定画面が表示されます。

4 右の画面が表示された場合は、以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザー名]: admin
(半角小文字)
[パスワード]: 何も入力する必要はありません。

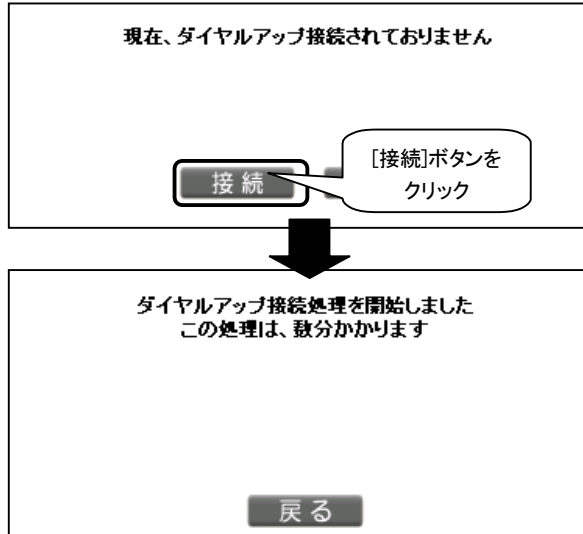
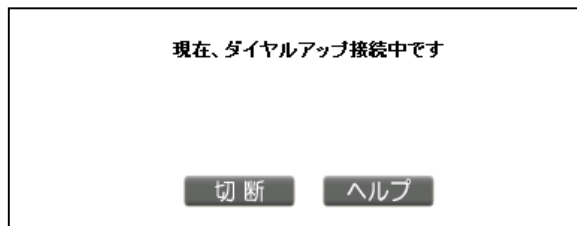
192.168.0.150 に接続
BROAD STREAM authentication
ユーザー名(U): admin
パスワード(P):
パスワードを記
OK キャンセル
① admin を入力
②入力しない
③クリック

5 [設定]→[ネットワーク設定]→[PPP設定]を順にクリックし、[発信機能]でPPP発信を設定し、[設定]ボタンをクリックします。

6 弊社ダイナミックDNSサイト iobb.net「http://www.iobb.net/」にアクセスして、アカウント登録を行ってください。
登録手順については、「iobb.net登録手順」を確認してください。

7 設定画面の[セッティング]→[ネットワーク設定]→[ダイナミックDNS]を順にクリックし、ダイナミックDNSを設定します。

動画の設定を行います。
(ASFの場合・・・Windows Media Player 9で閲覧)
設定画面の[セッティング]→[MPEG-4 動画設定]→[ASF動画設定]を順にクリックします。

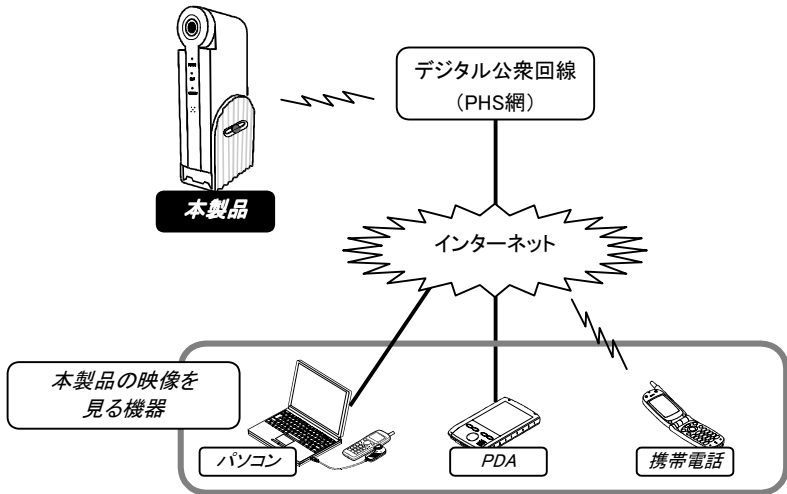
(RTPの場合・・・QuickTime Player・pvPlayerで閲覧)
設定画面の[セッティング]→[MPEG-4 動画設定]→[RTP動画設定]を順にクリックします。

9 設定画面の[セッティング]→[CF コントロール]→[ダイヤルアップ]を順にクリックし、ダイヤルアップ画面を表示し、ダイヤルアップを開始します。

10 数分経過後に、設定画面の[セッティング]→[CF コントロール]→[ダイヤルアップ]を順にクリックし、ダイヤルアップ画面を表示し、以下のとおりに、接続されたことを確認します。

以上で本製品の設定は終了です。
設定用パソコンを、内蔵LANポートから取り外してください。

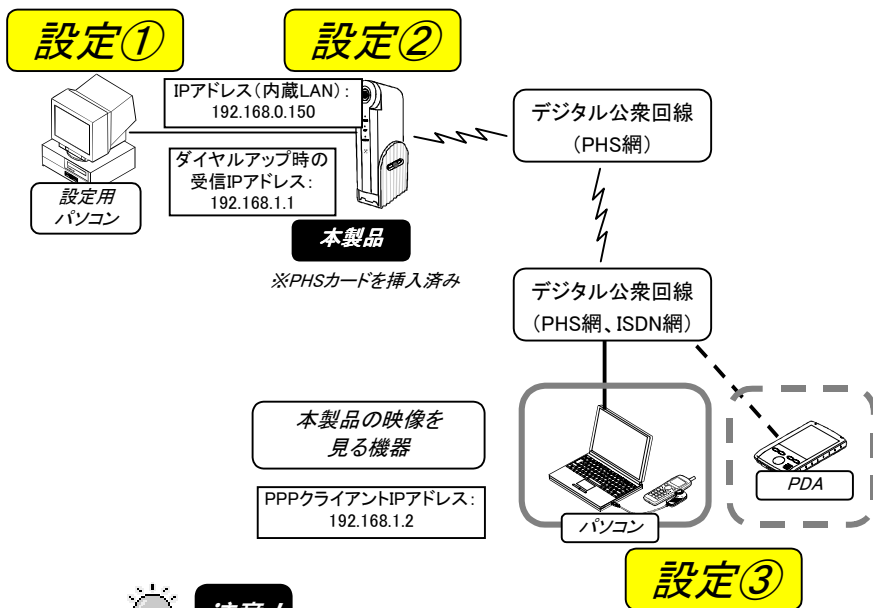
本製品の電源を落とすなど、ダイヤルアップを中断した場合、再びダイヤルアップを有効にするためには、内蔵 LAN に設定用パソコンを接続し、上記 *9*、*10* の手順を再度行う必要があります。

設定③:映像を見る機器の設定

映像を見るパソコンやPDAあるいは携帯電話にもソフトウェアのインストールなどの設定が必要です。

本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合　→ 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合　→ 97ページ参照 携帯電話の場合　→ 103ページ参照

- AirH"カードは、128k 常時接続契約が必要です。
- AirH"の上り回線を利用するため、、32k～64kbps のビットレートでの利用となります。
- パケット方式の性質上、安定して画像転送できない場合があります。

PIAFS回線でダイヤルアップ接続する場合(PPPサーバ接続)

以下は、本製品にPHSカードを搭載し、デジタル電話回線（ISDN網、PHS網）経由で本製品に直接ダイヤルアップPIAFS接続している例です。
インターネットを経由せず、本製品の映像を見ることができます。

注意！

・映像を見るパソコンには、PHS または ISDN 回線（デジタル）が必要です。
アナログ（モデム）では接続できません。
・同時に複数のパソコンや PDA から本製品に接続することはできません。
（本製品の PPP サーバ機能はダイヤルアップ[PPP 着信]を1つしか受けられないためです。）
・PIAFS 接続のため、32kbps または 64kbps での接続となります。
ビットレートは、32kbps～64kbps で設定してください。

この場合、以下の設定が必要となります。

設定①:設定用パソコンの設定 → 次ページ
設定②:本製品の設定 → 次ページ
設定③:映像を見る機器の設定 → 69ページ

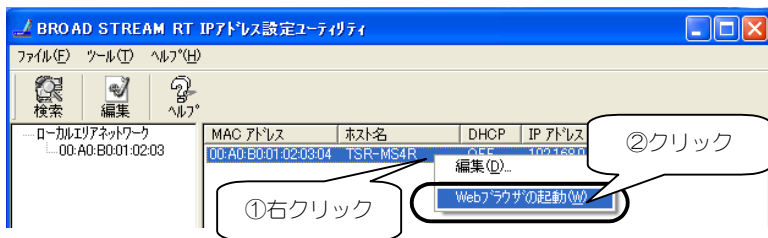
設定①：設定用パソコンの設定

設定用パソコンを設定しておく必要があります。
設定の詳細は、【本製品を設定するパソコンの準備】（31ページ）を参照してください。

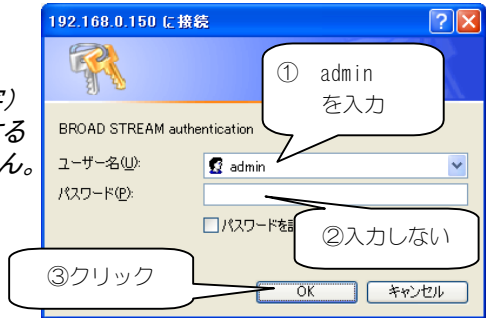
設定②：本製品の設定

本製品をネットワーク構成に応じた設定にする必要があります。

1 ［BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ］画面を起動します。（【IPアドレスを設定する】39ページ参照）

2 本製品を右クリック後、［Webブラウザの起動］をクリックします。

3 本製品のWeb設定画面が表示されます。

4 右の画面が表示された場合は、以下を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザー名]: admin
(半角小文字)
[パスワード]: 何も入力する必要はありません。

5 [セッティング]→[ネットワーク設定]→[PPP設定]を順にクリックし、[着信機能]でPPP着信を設定し、[設定]ボタンをクリックします。

①設定
[PPP 受信 IP アドレス]に本製品の PPP 接続時に使用する IP アドレスを設定
65 ページ図の例では、192.168.1.1
[PPP クライアント IP アドレス]にパソコンに割り当てる IP アドレスを設定
65 ページ図の例では、192.168.1.2

着信機能

PPP受信IPアドレス 192.168.1.1
PPPクライアントIPアドレス 192.168.1.2
発信者番号制限 ○有効 ◉無効
着信許可番号

設定

②[設定]ボタンをクリック

6 [セッティング]→[システム設定]→[ユーザー管理]を順にクリックし、PPPユーザーを追加します。

以上で本製品の設定は終了です。

設定③:映像を見る機器の設定

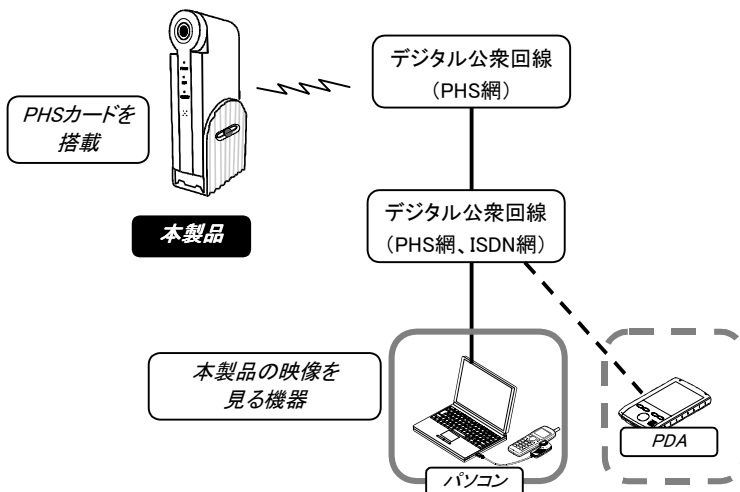
映像を見るパソコンやPDAには以下の設定が必要です。

1 映像を見るパソコンやPDAから本製品のPHSカードに対してダイヤルアップ(PPP)接続を行います。

設定の詳細は、お使いの携帯電話や PHS カードの取扱説明書を参照してください。PPP 認証に使用するユーザーID・パスワードは、先ほど、本製品に登録したものを使用します。そのときの IP アドレスは自動取得にします。

2 ダイヤルアップ(PPP)接続が確立したことを確認後、以下にしたがって本製品の映像をご覧ください。

本製品の映像を見る機器側の設定	パソコンの場合 → 71ページまたは87ページ参照 PDAの場合 → 97ページ参照

この時、本製品のアドレスは、[PPP 接続]で指定した[PPP 受信 IP アドレス]を指定してください。(65 ページ図の例では、192.168.1.1)

注意！

・映像を見るパソコンには、PHS または ISDN 回線（デジタル）が必要です。
アナログ（モデム）では接続できません。
・同時に複数のパソコンや PDA から本製品に接続することはできません。
（本製品の PPP サーバ機能はダイヤルアップ[PPP 着信]を1つしか受けられないためです。）
・PIAFS 接続のため、32kbps または 64kbps での接続となります。
ビットレートは、32kbps～64kbps で設定してください。

ブラウザやWindows Media Player 9で映像を見る

(Windows)

カメラの映像を見るには

Windowsパソコンから本製品の映像を見るには、以下のパソコン環境が必要です。

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

項目	必要事項
対応機種	NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン メモリ…256MB以上 CPU…PentiumIII 500MHz 以上
対応OS	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 SE
ネットワークプロトコル	TCP/IPがインストールされ、適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバから取得していること
Webブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1以降が必要
ソフトウェア	Windows Media Player 9以降 → 次ページ【1. Media Playerをインストールする】参照
コーデックソフト	MPEG-4、G.726対応のコーデックソフト GSM-AMR対応のコーデックソフト → 74ページ【2. コーデックソフトをインストールする】参照
Webブラウザのセキュリティ設定	ActiveX、JavaScriptを有効に設定されていること → 78ページ【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】参照

1. Media Playerをインストールする

本製品の映像を見るには、パソコンのWindows Media Player 9以降がインストールされている必要があります。
インストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面の[Windows Media(TM) Player 9のインストール]をクリックします。

後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

2. コーデックソフトをインストールする

本製品の映像を見るには、パソコンに以下のコーデックソフトがインストールされている必要があります。

・*MPEG-4、G.726対応のコーデックソフト*
・*GSM-AMR対応のコーデックソフト*

Windows XP およびWindows 2000 環境では、コーデックのダウンロード、インストールの作業は、コンピュータの管理者のアカウントおよび Administrator 権限で行なってください。

・***MPEG-4、G.726 対応のコーデックソフトについて***

本製品から配信される MPEG-4（動画圧縮）、G.726（音声圧縮）形式のデータを Windows Media Player で再生するには、これらに対応したコーデック（圧縮／伸張）ソフトが別途、必要となります。
あらかじめ、お使いのパソコンがインターネットに接続された環境で、本製品付属のセットアップ CD-ROM に入った"SAMPLE.ASF"ファイルを Windows Media Player で再生すると、自動的にコーデックはインストールされます。

・***GSM-AMR 対応のコーデックソフトについて***

本製品では、音声圧縮として GSM-AMR をサポートしておりますが、GSM-AMR 形式のデータを Windows Media Player 9 で再生するために必要なコーデックソフトは別途、インターネットからダウンロードし、インストールする必要があります。

MPEG-4、G.726対応のコーデックソフトのインストール

1 パソコンの以下の設定を確認します。

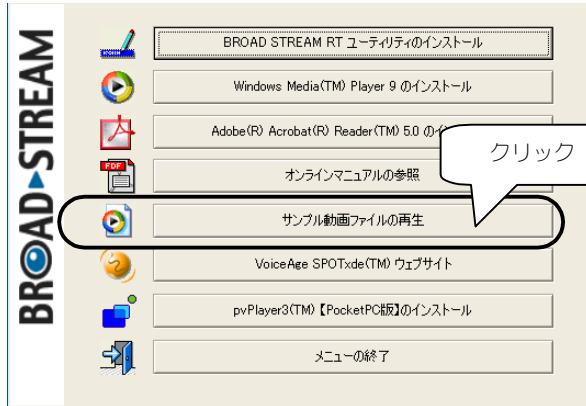
・インターネットに接続できていること

・Windows Media Player 9以降がインストールされていること

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

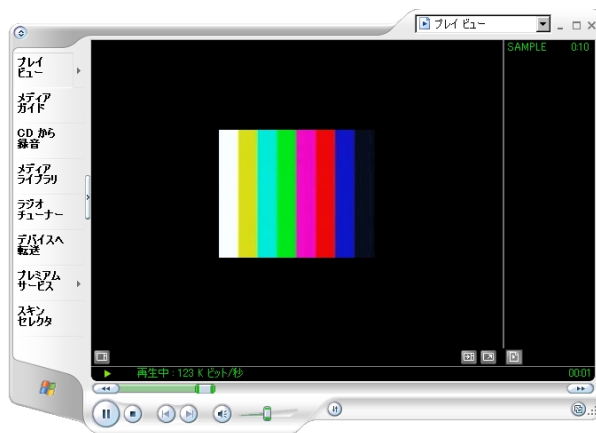
→ 自動的にメニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の[サンプル動画ファイルの再生]をクリックし、Windows Media Playerで再生します。

4 自動的にMicrosoft CorporationのWebサイトに接続され、必要なコーデックソフト※がダウンロードされ、インストールされます。

※MPEG-4、G.726形式のデータをWindows Media Player 9で再生するのに必要なコーデックソフト

5 以下の画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンをクリックします。

6 Windows Media Playerで再生が行われます。

再生が終了すればインストールは終了です。

GSM-AMR対応のコーデックソフトのインストール

1 パソコンの以下の設定を確認します。

・インターネットに接続できていること

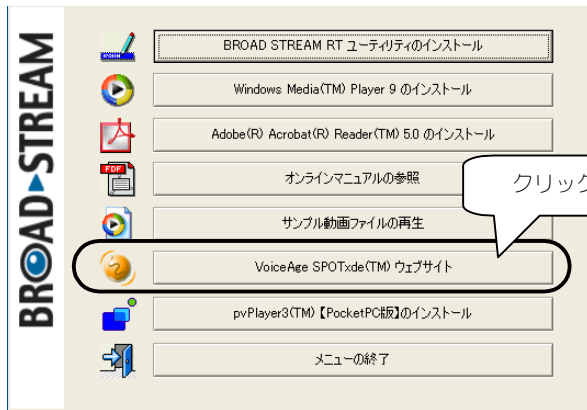
・Windows Media Player 9がインストールされていること

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の[VoiceAge SPOTxde（TM）ウェブサイト]ボタンをクリックします。

VoiceAge Corporationのウェブサイトに接続します。

4 GSM-AMR対応のプレイヤー（[SPOTxde™ Player]）をインストールします。

※インストール方法につきましては、SPOTxde Playerに付属のドキュメントをご参照ください。

※[SPOTxde™ Player]は、VoiceAge社提供の無料のWindows Media Playerに対応したGSM-AMRコーデックのデコーダプラグインが同梱されています。

以上でインストールは終了です。

3. Webブラウザのセキュリティを設定する

本製品の映像を見るには、パソコンのWebブラウザのセキュリティを設定しておく必要があります。

ブラウザにおける JavaScript および ActiveX の設定について

次ページ以降の手順で、これらを「有効」にすることで、Windows Media Player 9 と連動し、ブラウザだけでは不可能な動画表示機能を実現します。
ご使用になられるブラウザにおいて、「JavaScript」と「ActiveX」の 2 つの機能を以下の手順にしたがって、有効にしてください。

Web ブラウザは、InternetExplorer 6.0 SP1 以降が必要です。バージョンをご確認ください。
なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必要なバージョン以降をご用意ください。

Internet Explorerの設定

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。
まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

1 [Internet Explorer]画面を表示させせます。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]（または[インターネット Internet Explorer]）をクリックします。

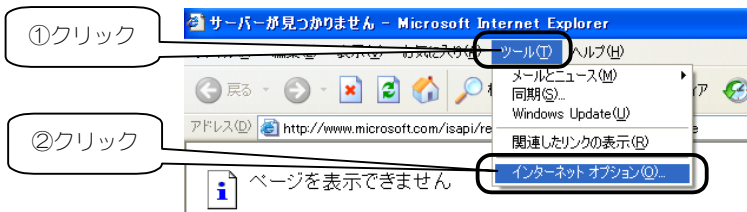
・Windows 2000、Windows Me/98 SEの場合

デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。

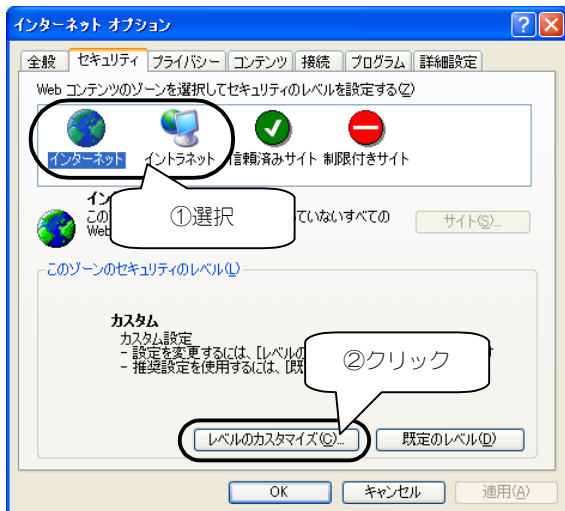
この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、ここでは Internet Explorer 自体の設定を行うため、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

Internet Explorerの設定（つづき）

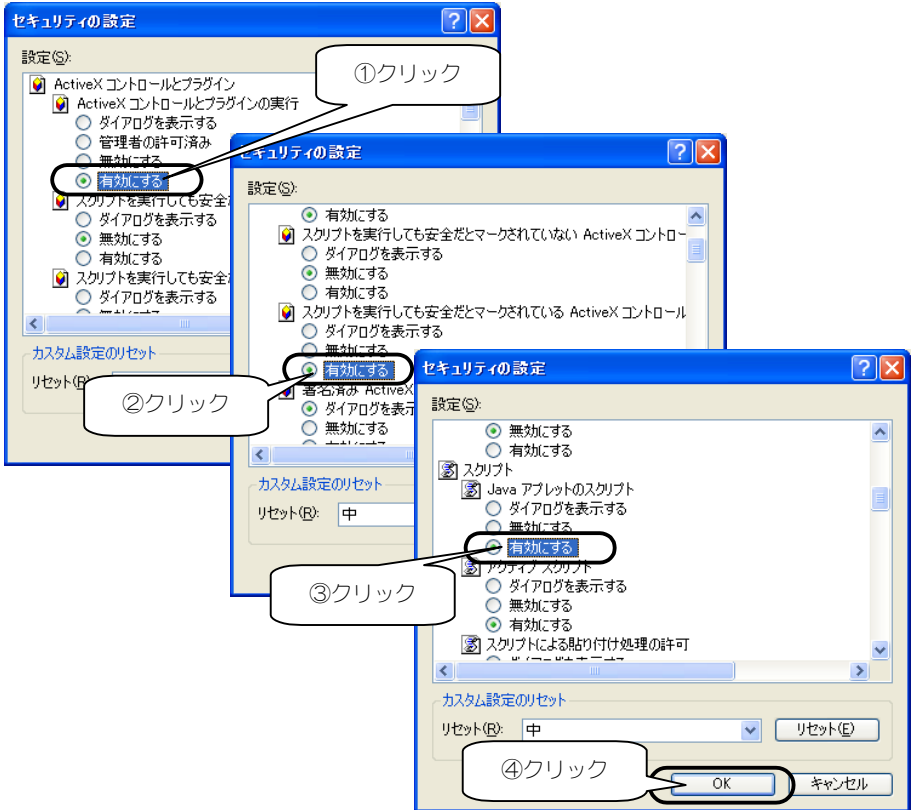
2 [Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。

※本手順以降、画面は[Internet Explorer 6.0 SP1]を例にしています。

3 メニューの中から[セキュリティ]をクリックし、お使いの環境に応じて以下を選択します。

インターネットに接続している環境　→[インターネット]
イントラネット環境　→[イントラネット]

選択後、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。

Internet Explorerの設定(つづき)

4 次の①～③の項目を有効に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

①「ActiveXコントロールとプラグインの実行」
②「スクリプトを実行しても安全だとマークされている…」
③「Javaアプレットのスクリプト」

5 [インターネットオプション](または[インターネットのオプション])画面へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

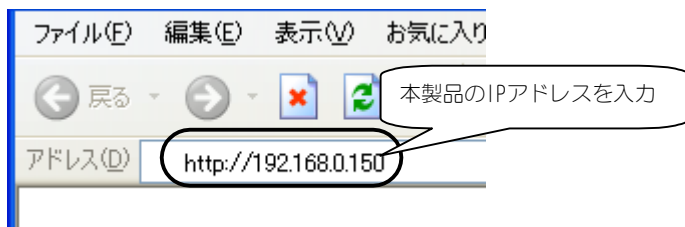
設定後、次ページへお進みください。

4. カメラの映像を見る

カメラの映像は本製品のWeb設定画面の[リアルタイム動画]で見ることができます。

1 Webブラウザを起動し、あらかじめ設定した本製品のIPアドレス

(出荷時の場合：192.168.0.150)

を入力し、[Enter]キーを押します。

●入力するIPアドレスについて

ご使用環境に応じて、以下のIPアドレスを入力してください。

LANでの使用(同一サブネットマスク内)の場合	[内蔵LAN設定](例：192.168.0.150)のIPアドレスを入力します。
インターネット側から直接接続する場合	[内蔵LAN設定]のグローバルIPアドレスを入力します。
インターネット側からルータを介して接続する場合	ルータのバーチャルサーバ設定を行った上で、ルータのグローバルIPアドレス、またはURLを入力します。
PHSダイヤルアップ接続の場合	PPP受信IPアドレスに設定したIPアドレスを入力します。

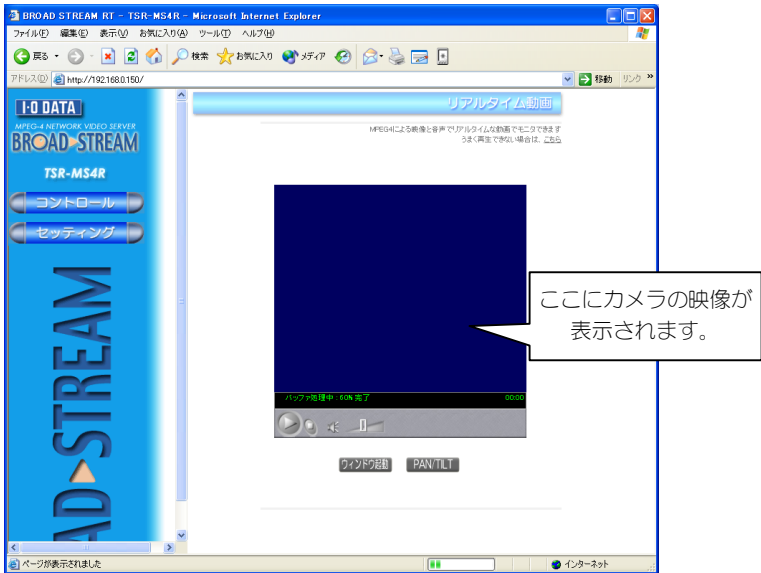
インターネット経由で本製品に接続する場合(47 ページ【構成例②】)、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例)　　http://(user).iobb.net/

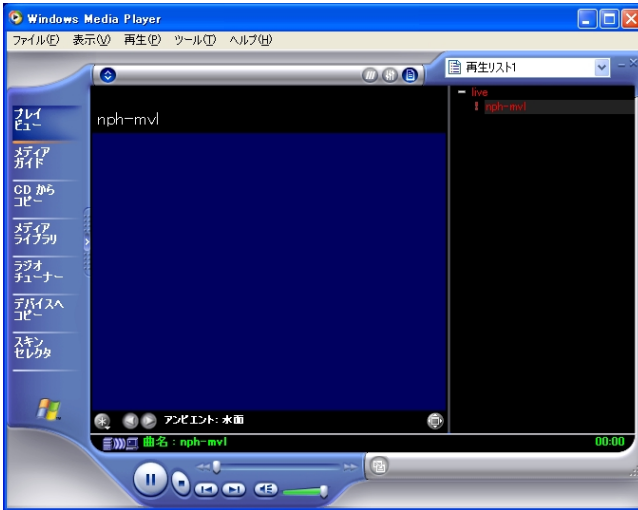
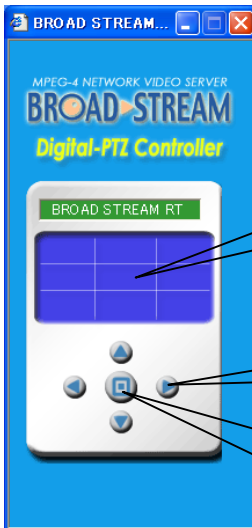
(user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時)

2 本製品の画面（TOPページ）が表示されます。

画面が表示されない！	⇒	パソコンの IP アドレスを確認してください。 →前ページ参照
		Web ブラウザの設定を確認してください。 →【3. Web ブラウザのセキュリティを設定する】（78 ページ）

3 [コントロール]→[リアルタイム動画]ボタンをクリックします。
しばらくしてカメラの映像が表示されます。

項目	内容
[ウィンドウ起動]ボタン	表示されている映像をWindows Media Player単体で見ることができます。(次ページ参照)
[PAN/TILT]ボタン	デジタルPTZ操作ウィンドウを表示します。(次ページ参照) 本画面表示時は自動表示されます。

- **Windows Media Player の仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延します。(Windows Media Player 側でストリーム映像をバッファリングするためです。)**
- **[PAN/TILT]機能は、内蔵カメラ使用時のみ有効です。**

▼Windows Media Player

▼デジタル PTZ 操作ウィンドウ

QuickTimeで映像を見る

（Windows & Macintosh）

カメラの映像を見るには

QuickTimeで本製品の映像を見るには、以下のパソコン環境が必要です。

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

・QuickTimeで必要なパソコンおよびプレイヤ環境

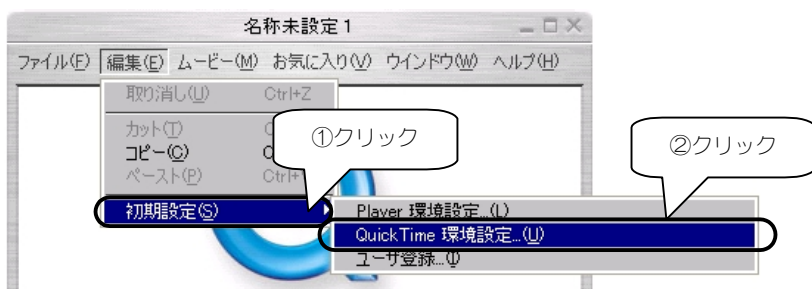
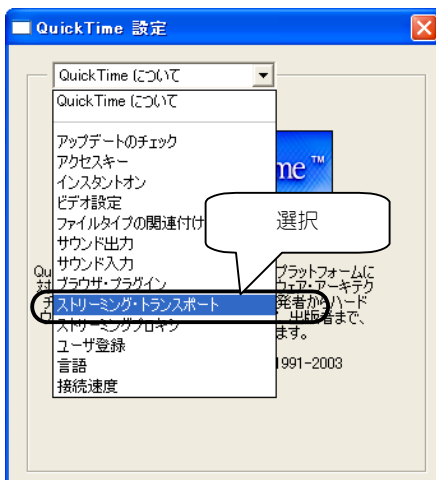
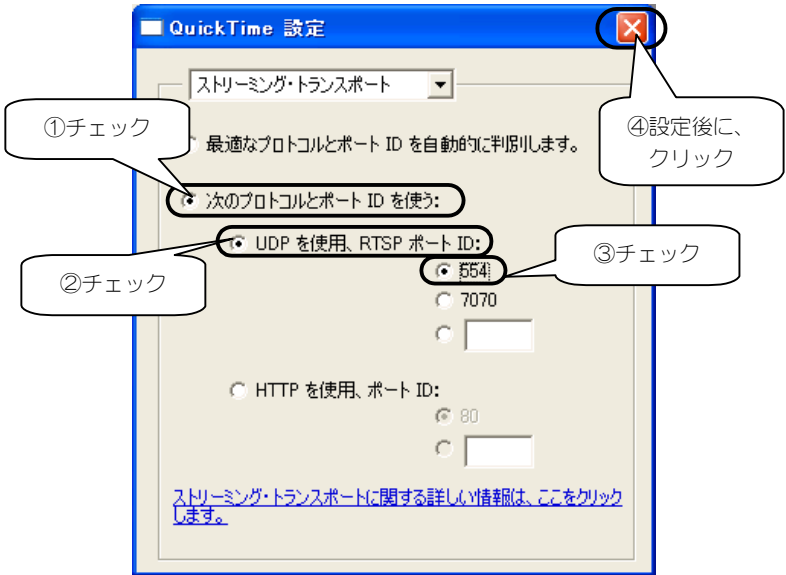
項目	必要事項
対応機種	・NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン※1 メモリ…256MB以上 CPU…PentiumIII 1GHz 以上 ・Apple Macintosh メモリ…512MB以上 CPU…G4 867MHz 以上
対応OS	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 SE Mac OS Ｘ 10.2 以降
ネットワークプロトコル	TCP/IPがインストールされ、適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバから取得していること
ソフトウェア	QuickTime 6.3+3GPP コンポーネントまたは QuickTime 6.4 → アップル社のホームページよりダウンロードしてください。 http://www.apple.co.jp/quicktime/

QuickTime Playerを設定する

QuickTimeがインストールされていない場合は、インストールを実行してください。

Windows版の場合

1 QuickTimeを起動します。

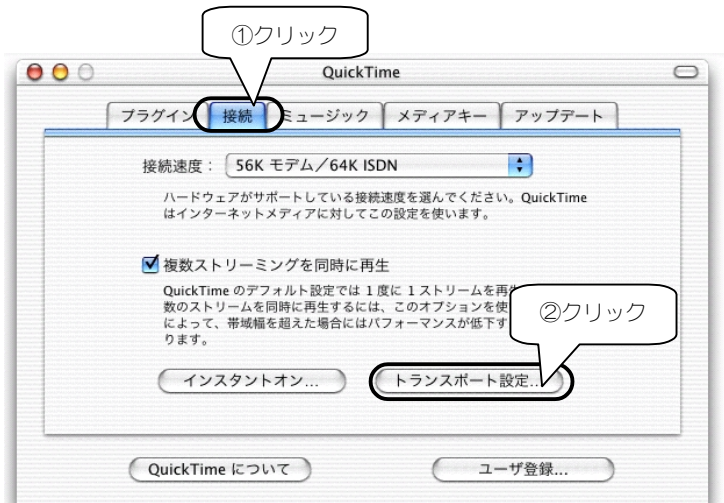
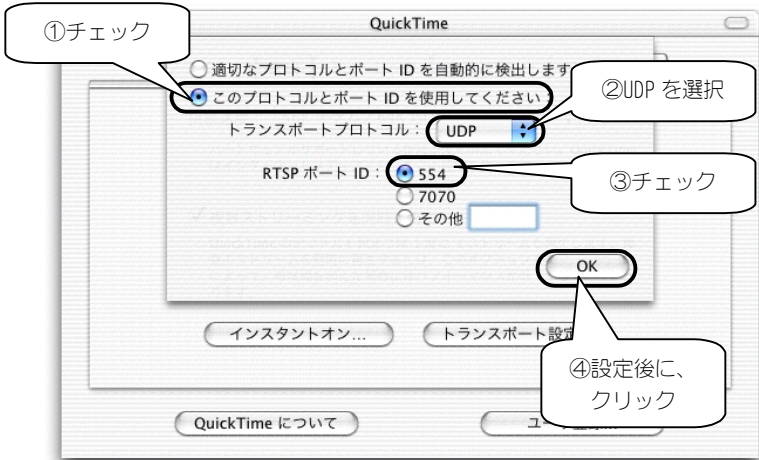
2 QuickTimeプレイヤの環境設定を行います。
メニューの[編集]-[初期設定]-[QuickTime 環境設定]をクリックします。

3 ストリーミング・トランスポートの設定を行います。
プルダウンメニューから「ストリーミング・トランスポート」を選択します。

4 「次のプロトコルとポートIDを使う」をチェックし、「UDPを使用、RTSPポートID」で「554」をチェックし、ウィンドウを閉じます。

以上で、閲覧の準備は完了です。ここまでの設定は、1度だけ行います。
引き続き次の手順で、映像を見ます。(93ページ)

本製品では、[待ち受けポート]として、TCP ポート：554、[映像ストリームポート]として UDP ポート：5006～7009 までのうち、4つの連続したポートを任意に使用します。

Mac OS X版の場合

1 QuickTimeを起動します。

2 QuickTimeプレイヤの環境設定を行います。
メニューの[QuickTime Player]-[環境設定]-[QuickTime 環境設定]をクリックします。

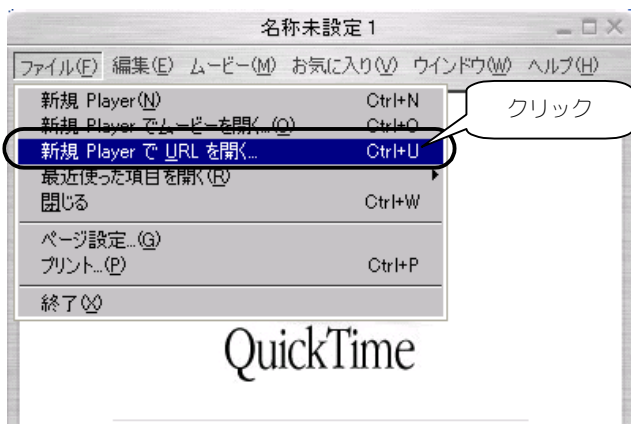
3 ストリーミング・トランスポートの設定を行います。
「接続」タブをクリックし、「トランスポート設定」をクリックします。

4 「このプロトコルとポートIDを使用してください」をチェックし、トランスポートプロトコルで「UDP」を選択し、「RTSPポートID」で「554」をチェックし、「OK」をクリック後、設定を終了します。

以上で、閲覧の準備は完了です。ここまでの設定は、1度だけ行います。
引き続き次の手順で、映像を見ます。(次ページ)

本製品では、[待ち受けポート]として、TCP ポート:554、[映像ストリームポート]として UDP ポート:5006～7009 までのうち、4つの連続したポートを任意に使用します。

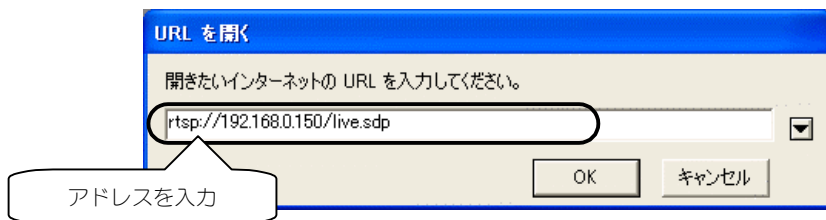
カメラの映像を見る

QuickTime Playerで本製品の映像を見ることができます。

Windows版の場合

1 QuickTimeを起動します。

2 メニューの[ファイル]-[新規PlayerでURLを開く]をクリックします。

3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。

参考

インターネット経由で本製品に接続する場合（47 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

ウィンドウが、開きカメラの映像が表示されます。

QuickTime Player からの動画閲覧時に、PAN/TILT 操作を行いたい場合は、以下の URL をブラウザから開くことで操作することができます。

http://本製品のアドレス/view/pantilt.htm

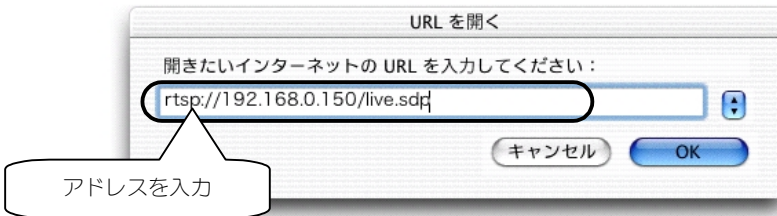
機能については 85 ページをご覧ください。
（PAN/TILT 機能は内臓カメラ使用時のみ有効です。）

Mac OS X版の場合

1 QuickTimeを起動します。

2 メニューの[ファイル]-[新規PlayerでURLを開く]をクリックします。

3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。

参考

インターネット経由で本製品に接続する場合(47 ページ【構成例②】)、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例） rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

(user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時)

ウィンドウが開き、カメラの映像が表示されます。

QuickTime Player からの動画閲覧時に、PAN/TILT 操作を行いたい場合は、以下のブラウザから開くことで操作することができます。

http://本製品のアドレス/view/pantilt.htm

機能については 85 ページをご覧ください。

（PAN/TILT 機能は内臓カメラ使用時のみ有効です。）

pvPlayer3で映像を見る

（Pocket PC 2002）

カメラの映像を見るには

PocketPCで本製品の映像を見るには、以下の環境が必要です。

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

・PocketPCで必要な環境

対応機種	カシオ Cassiopeia E-700/E-750/E-2000 HP Jornada 548/525/568 コンパック 3630/3660(PPC2002アップグレード版) 東芝 Genio e 550(PPC2002アップグレード版) NEC PocketGear(MC/PG5000)
対応OS	Windows CE Pocket PC 2002
ネットワークプロトコル	適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバから取得していること
ソフトウェア	pvPlayer3※

※ pvPlayer3をインストールするには、ホストとなるWindowsがインストールされたパソコンが必要です。
また、あらかじめホストPCとゲストとなるPDAの間で、Active Syncが利用できる環境であることを、確認してください。
Active Syncのインストールや設定方法は、各PDAメーカーにお問い合わせください。

その他最新の対応 PDA については弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

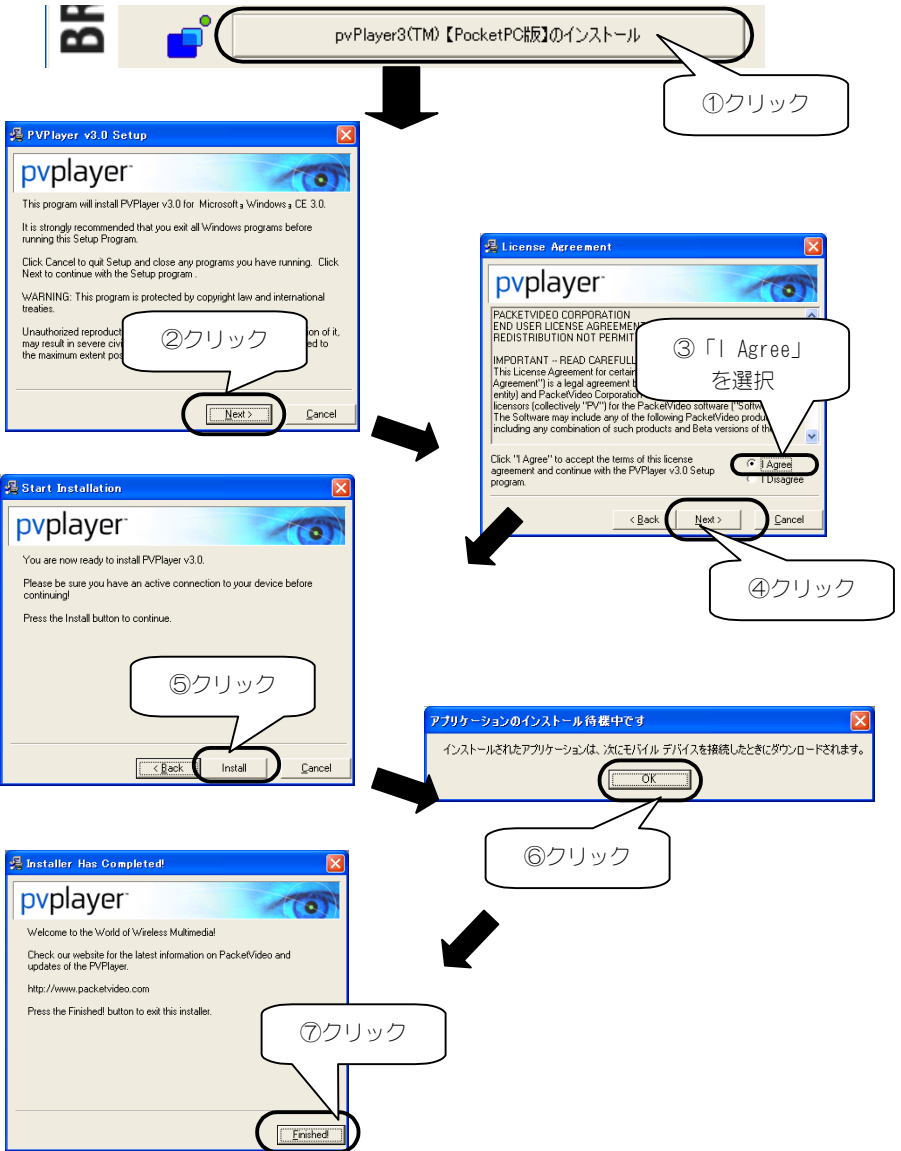
pvPlayer3のインストール

1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。

［CDメニュー］

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面の「pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストール」をクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上でWindowsへのインストールは終了です。パソコンとPDAのSyncを実行してください。自動的にPocketPCへpvPlayer3がインストールされます。

カメラの映像を見る

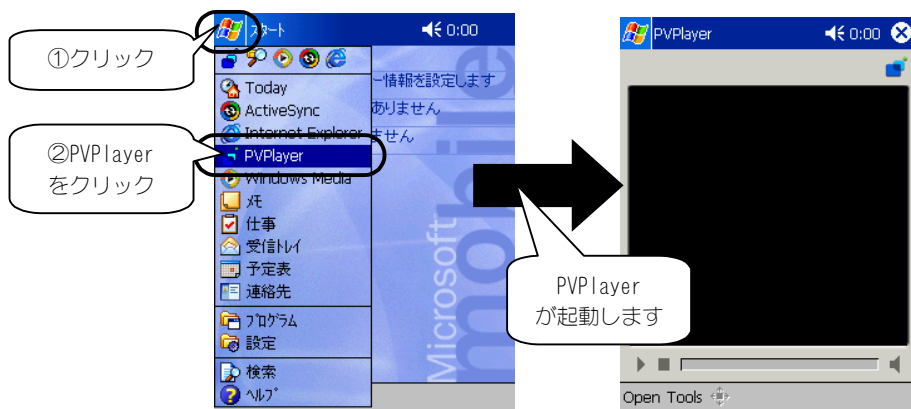
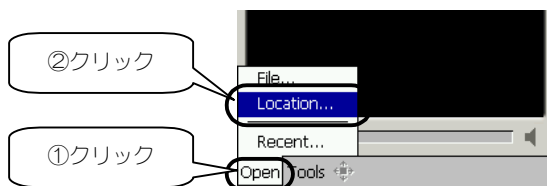
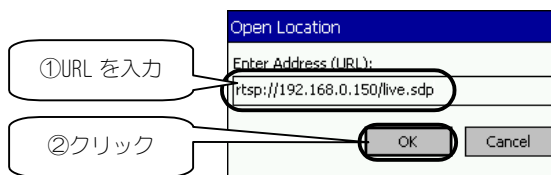
PocketPC本製品の映像を見ることができます。

本製品の RTP 動画設定を以下の解像度に設定してからご覧ください。

解像度：QCIF または SQCIF

最大フレームレート：5または 7.5 フレーム

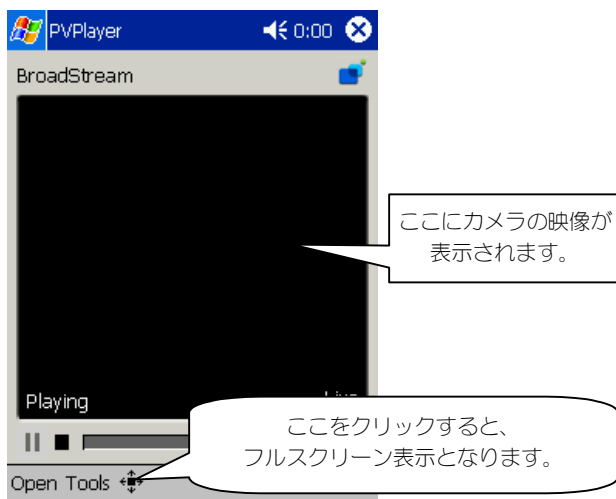
※PDA によってはフレームレートあるいは画質を下げてお使いください。

1 ネットワークへ接続できる状態で、pvPlayer3を起動します。

2 メニューの[Open]−[Location]を、タップします。

3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。

インターネット経由で本製品に接続する場合（47 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

4 カメラの映像が表示されます。

PocketPC からの PAN/TILT 操作については対応しておりません。

携帯電話から映像を見る

カメラの映像を見るには

携帯電話から本製品の映像を見るには、以下の環境が必要です。

・インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。
・携帯電話との接続には、ダイナミック DNS の設定が必要です。
・携帯電話から見る映像は、動画ではなく、静止画自動更新による擬似動画です。

・携帯電話で必要な環境

対応機種	i アプリ対応（DoJa2.0 対応）NTT ドコモ製携帯電話 i-mode 504i シリーズ、505i シリーズ FOMA 2051 シリーズ、2701 シリーズ、2102 シリーズ

その他最新の対応携帯電話については弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

iアプリをダウンロードする

本製品に携帯電話から接続し、iアプリを携帯電話にダウンロードします。

1 携帯電話で、「http://カメラのアドレス/i/」を、入力します。

インターネット経由で本製品に接続する場合（47 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　http://(user).iobb.net/i/

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

2 ダウンロード画面が表示されますので、画面に従いダウンロードを実行します。

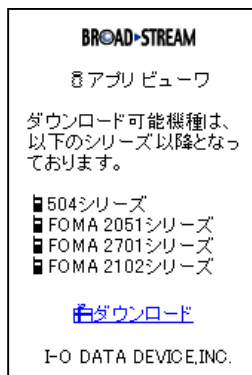
BROAD STREAM

iアプリ ビューワ

ダウンロード可能機種は、以下のシリーズ以降となっております。

504シリーズ
FOMA 2051シリーズ
FOMA 2701シリーズ
FOMA 2102シリーズ

ダウンロード

I-O DATA DEVICE,INC.

カメラの映像を見る

注意！

本製品の静止画設定（162 ページ参照）を以下の解像度に設定してからご覧ください。

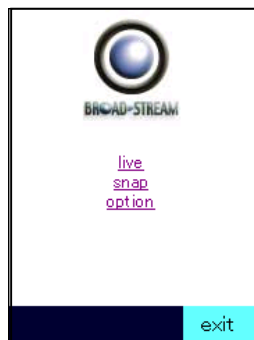
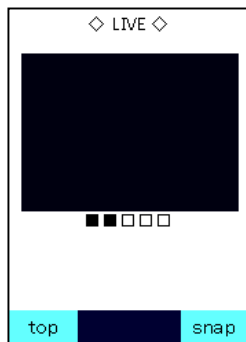
解像度：QCIF の場合→　画質：低

解像度：SQICF の場合→　高、中、低

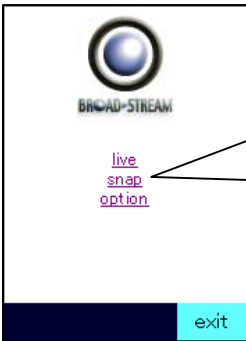
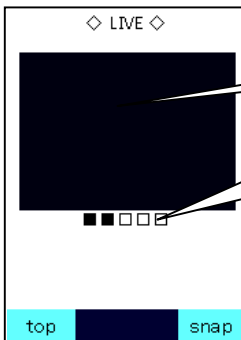
※写す映像によっては、圧縮率が低い場合があります。

その際は、i モード網の制約により、画像が通らず i アプリ側で映像がなかなか表示されなくなります。

1 各携帯電話の操作に従い、ダウンロードしたiアプリを起動します。「BROAD　STREAM2」を選択し、実行してください。

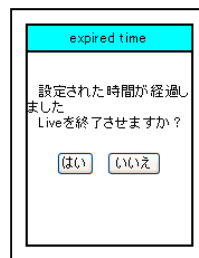
2 トップメニューが表示されます。
映像を見る場合は、liveを選択します。

3 本製品からの映像が表示されます。
画像は自動的に更新されます。

4 終了するときは、topボタンで、topメニューに戻り、exitボタンを押してください。

画像更新は、30秒で終了します。（初期設定）

iアプリビューワの使い方

オプション画面

リクエスト　携帯電話から、本製品に対して、画像の更新要求を行う間隔を設定します。
（500～2000：初期値:500ミリ秒毎）
※通常、回線スピードにより、画像更新は、設定の時間よりも長くかかります。

自動切断　画像表示のタイムアウト時間を設定します。
（10～60：初期値:30秒）
※長時間に設定すると、自動的に画像を取得するため、予期しないパケット代がかかる恐れがあります。ご注意ください。

切断確認　回線切断時に確認画面を表示する・しないの設定を行います。
（初期値:する）

expired time
設定された時間が経過しました
Liveを終了させますか？
はい　いいえ

[top]**ボタン**	トップページに戻ります。
[save]**ボタン**	設定の内容を保存します。

iアプリ、携帯電話からのPAN/TILT操作については対応しておりません。

活用する

CF（コンパクトフラッシュ）カードを使う

本製品の本体背面には、CF+ Type Ⅱ準拠カードスロットがあります。
このCFカードスロットにメモリーカード、PHSカード、無線LANカードを挿入することによって機能を追加することができます。

本製品に取り付けられるCFカード

現在本製品がサポートしているCFカードは以下のとおりです。

カード種別	製品名
フラッシュメモリカード	CFS シリーズ、CFX シリーズ、CFS（HI）シリーズ
無線 LAN カード *（IEEE 802.11b）*	WN-B11/CFL、WN-B11/CF
PHS カード	NTT ドコモ P-in m@ster
	DDI ポケット AirH" AH-H401C、AH-H403C、AH-N401C C@rd H" CFE-02
マイクロドライブ	CFMD-1Gi

その他最新の対応 CF カードについては弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

CFカードのお取り扱いについて

・CFカードの抜き挿しは、CFカードの取扱説明書もお読みになった上で行なってください。
誤った操作をすると、データの消失や故障の原因となります。

・CFカードには表・裏・前・後の方向があります。本体のCFカードスロットは構造上、逆向きに挿入できないようになっていますので、無理に押し込んだりしないでください。
また、取り出すときは、必ずカード取出しボタンを押して取り出してください。
破損する恐れがあります。

・出荷時には、本製品のCFカードスロットにはCFダミーカードが挿入されています。
CFダミーカードを取り出してからお使いください。
※CFダミーカードでは[CF CARD]ランプは点灯しません。

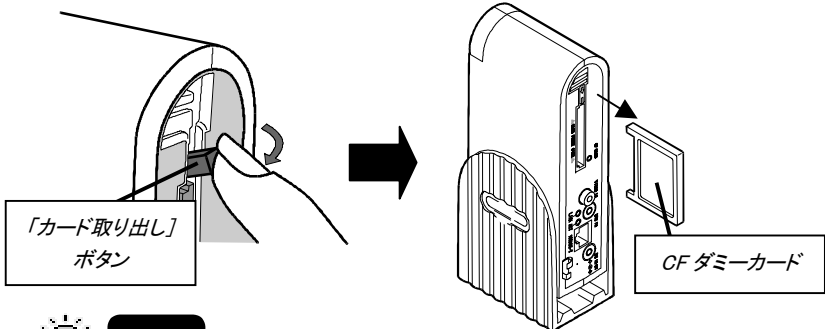
CFカードの挿入について

・弊社指定の CF カード以外はご使用にならないでください。その他の CF カードのご使用による直接、間接的損害におきまして、弊社は一切の責任を負いません。
・CF カードを挿入する際には、必ず CF カードの向き（表・裏・前・後）をご確認ください。

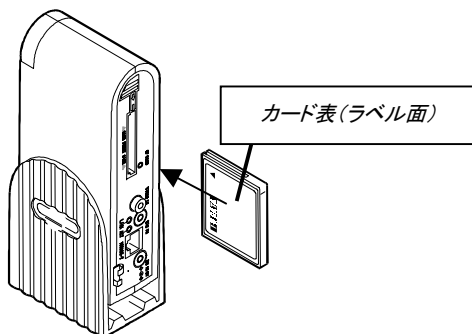
▼挿入手順

1 本製品の電源が入っていることを確認します。

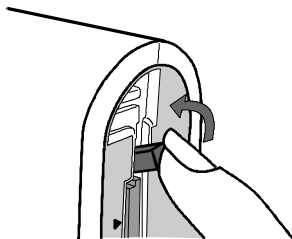
CF カードは本製品の電源が入っている状態で挿入・取り出しができます。
ただし、電源を入れたまま取り出す場合は、「CF カードのマウント解除」を行なった後で、取り出す必要があります。マウント解除の手順については、199 ページを参照してください。

2 お買い上げ時には、本製品の[CFカードスロット]には「CFダミーカード」が挿入されています。
[カード取出し]ボタンを引き出し、押して「CFダミーカード」を取り出します。（ダミーカードは捨てないで保管してください。）

注意！

CF カードスロットで CF カードを使用しない場合は、ダミーカードを元に戻して（挿入しておいて）ください。
CF カードスロットを空けたままにしておくと、ホコリや異物が入り、火災・感電・故障の原因となります。

3 ［CFカードスロット］にCFカードの表裏を確認して挿入します。（CFカードのラベル面を［CARD FRONT SIDE］側にして挿入します。）

4 CFカードを確実に挿入すると、［カード取出し］ボタンが少し出てきます。

※[CF CARD]ランプが緑色に点灯していれば、正しく挿入されています。

［カード取出し］ボタンを引きながら折りたたみ、元に戻します。

CF カード検出の確認方法

- **正常に認識したとき、「CF CARD」ランプが緑色に点灯します。**
  認識されないといきは「CF CARD」ランプが点灯しません。
- **設定画面の［機器情報］でも CF カードが正しく挿入されているかを確認できます。**

- **認識されない場合は、まず本製品の電源を切断してから、CF カードが正しく装着されているかご確認いただいたうえで、再度本体の電源を投入してください。**

CFカードの取り出しについて

CFカードの取り出し方法としては、以下の2つの方法があります。

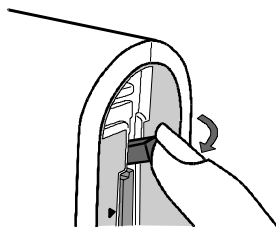
取り出し方法①：本製品の電源を切ってから取り出す

取り出し方法②：マウント解除を行ってから取り出す（本製品の電源を切らずに取り出す）

注意！

- **CF メモリーカードへのアクセス中に、CF メモリーカードを抜いたり、本体の電源を切らないでください。**
  CF メモリーカードを取り出す際には、必ず CF メモリーカードのマウント解除を行なってください。
- **誤って本体の電源を切断すると、CF カードや CF カード内のデータが破損する原因となります。**
- **CF カードスロットに CF カードを挿入しないときは、本体付属のコンパクトフラッシュダミーカードを挿入してください。**
  CF カードスロットにホコリや異物が入り、火災・感電・故障の原因となります。
- **CF カードの種類によっては、カード取出しボタンを引き出せない場合があります。**
  その際は、CF カードのマウント解除を行なった後で、本体の電源を切ってから CF カードを真っ直ぐ引きぬいて取り出してください。

▼取り出し方法①；　本製品の電源を切ってから取り出す

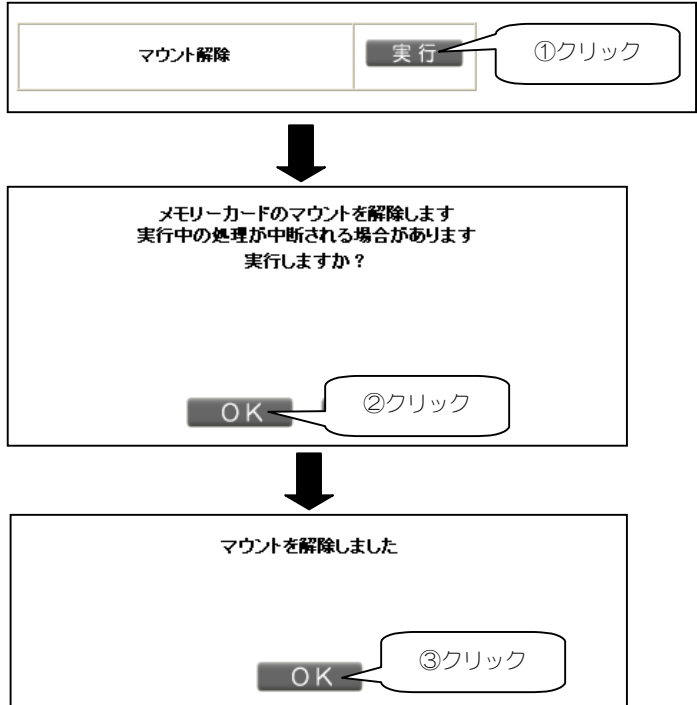
1. CFカードを使用していない（CFメモリーカードの場合はアクセスしていない）ことを確認します。
2. 電源ケーブルをコンセントから抜いて、本製品の電源を切ります。
3. ［カード取出し］ボタンを引き出し、押してCFカードを取り出します。

4. しばらくCFカードを使用しない場合は、CFダミーカードを挿入します。

▼取り出し方法②;　*マウント解除を行ってから取り出す*

本製品の電源を切らずにCFカードを取り出すことができます。
ただし、以下のマウント解除（本製品の設定画面での作業）を行ってから取り出す必要があります。

1 CFカードを使用していない（CFメモリーカードの場合はアクセスしていない）ことを確認します。

2 設定画面でマウント解除を行います。
[セッティング]→[CFコントロール]→[メモリカード]ボタンを順にクリックします。

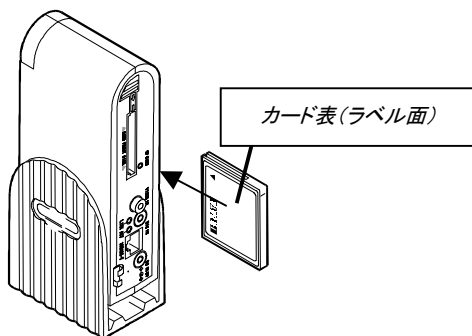
3 ［マウント解除］の［実行］ボタンをクリックし、順に［OK］ボタンをクリックします。

CFメモリカードを使って動画配信する（Windowsのみ）

ここでは、CFメモリカードを使った動画配信の手順について説明します。

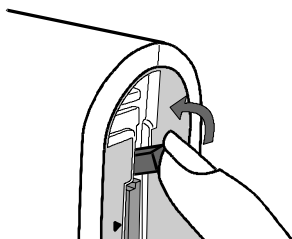
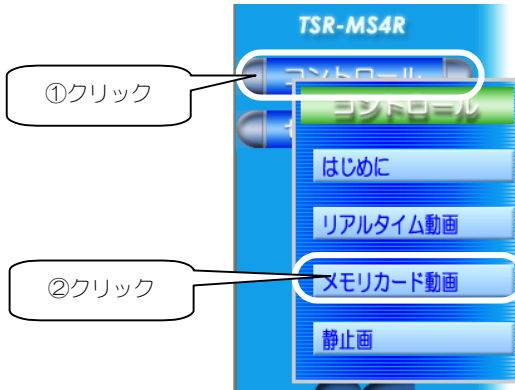
110ページ以降でCFカードの挿入、取り出し手順を確認しておいてください。

CFメモリカードに映像を録画する

CFメモリカードに配信する動画を録画します。

1 ［CFカードスロット］にCFカードの表裏を確認して挿入します。（CFカードのラベル面を［CARD FRONT SIDE］側にして挿入します。）

2 CFカードを確実に挿入すると、［カード取出し］ボタンが少し出てきます。

※［CF CARD］ランプが緑色に点灯していれば、正しく挿入されています。

［カード取出し］ボタンを引きながら折りたたみ、元に戻します。

3 本製品の設定画面で[コントロール]→[メモリカード動画]をクリックします。

4 [録画設定･操作]項目でCFメモリカードに録画するファイルの設定を行います。（次ページ参照）
※ASFファイルで録画されます。

録画設定・操作	
データレート	1秒間に配信される動画のデータ量を設定します。 *※データレートはネットワーク帯域以下に設定する必要があり、データレートがネットワーク帯域を上回る場合は、正常に配信されません。*
画質	動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高*:圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中*:圧縮率、画質ともに中程度です。 *低*:圧縮率が最も高く、一番低い画質です。
解像度 （画像サイズ）	動画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96* *※データレートを96kbps以下に設定している場合は、CIFサイズに設定することができません。*
音声	動画データに含まれている音声の圧縮率を設定します。 G.726:データ量が最も多いです *AMR（中）*:データ量が中程度です *AMR（低）*:データ量が最も低いです ※データレートを32kbpsに設定した場合、G.726に設定することはできません。 AMRは音声に特化しているため、音声以外の音質が悪くなります。
ファイル名	CFメモリカードに記録するファイル名を指定します。 すでにCFメモリカード内に同一ファイル名がある場合は上書きされます。
記録時間	[録画開始]ボタンクリック後からの記録時間を時・分・秒で指定します。 すべて0（ゼロ）を入力すると、CFカードの容量に空きがある限り、録画を行います。 CFカードに空きがなくなると自動的に録画を終了します。（終了した時点までの映像がCFカードに記録されます。）
[録画開始]ボタン	表示されている映像をCFメモリカードに録画します。
[停止]ボタン	録画を停止します。
[ステータス表示]ボタン	録画状態を示すウィンドウを表示します。
[CFメモリカード]ボタン	CFメモリカードに録画されている映像の表示その他の操作を行うことができます。
[ヘルプ]ボタン	ヘルプ画面を表示します。

- **CFメモリカードに記録を行う設定を選択された場合、CFメモリカードの記録容量に制限がありますので、データレート、記録時間の選択には、十分ご注意ください。**
  記録容量の計算式
  データレート【kbps】 ÷ 8 × 記録時間【秒】 ＝ 記録容量【kbyte】
  上式で算出された記録容量がCFメモリカードのサイズを超える場合、正常に設定および記録されません。
- **各データレートの最大記録時間例(CFメモリカード)**
  256【kbps】 ÷ 8 × 125【秒】 ＝ 4000【kbyte】
  192【kbps】 ÷ 8 × 166【秒】 ＝ 3984【kbyte】
  144【kbps】 ÷ 8 × 222【秒】 ＝ 3996【kbyte】
  128【kbps】 ÷ 8 × 250【秒】 ＝ 4000【kbyte】
  96【kbps】 ÷ 8 × 333【秒】 ＝ 3996【kbyte】
  64【kbps】 ÷ 8 × 500【秒】 ＝ 4000【kbyte】
  32【kbps】 ÷ 8 × 1000【秒】 ＝ 4000【kbyte】

5 設定後、画面下の[録画開始]ボタンをクリックします。

6 [OK]ボタンをクリックします。

8 再度、設定画面の[コントロール]→[メモリカード動画]をクリックします。

[動画ファイル一覧]に録画したファイルが表示されます。

録画したCFメモリカードの映像を見る

CFメモリカードに録画した映像を見てみましょう。

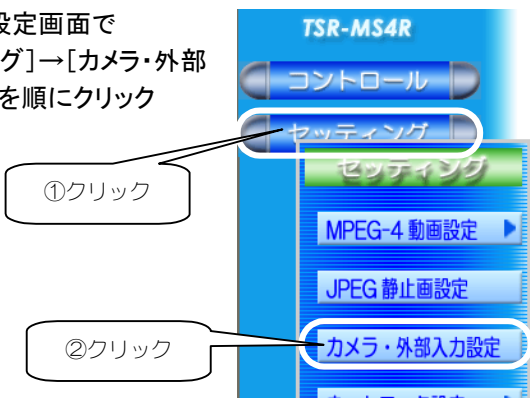
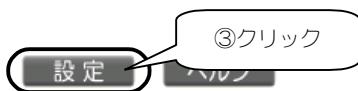
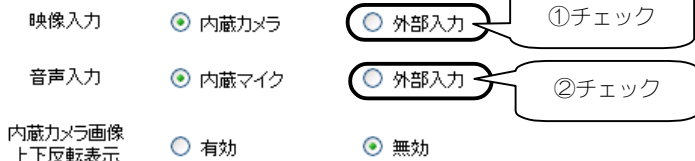
1 本製品の設定画面の[コントロール]→[メモリカード動画]をクリックし、[動画ファイル一覧]の[再生]ボタンをクリックします。

	再生	動画再生を開始します。 再生中は[一時停止]ボタンとなります。
	停止	再生中の動画を停止します。
	前へ	ご使用になれません。
	巻き戻し	巻き戻します。
	早送り	早送りします。
	次へ	ご使用になれません。
	ミュート	音を消します。
	音量	音量を調整します。

ビデオカメラの映像を動画配信する

ここでは、本製品にビデオカメラを接続してビデオカメラの映像を動画配信する手順について説明します。

ビデオカメラを準備する

1 本製品の設定画面で［セッティング］→［カメラ・外部入力設定］を順にクリックします。

2 ［映像入力］、［音声入力］を［外部入力］に切り替え、［設定］ボタンをクリックします。

映像入力	映像入力機器の切り換えを行ないます。 *内蔵カメラ:* 本体内蔵のVGAサイズ対応CMOSセンサーカメラモジュールを使用する。 *外部入力:* 外部映像入力端子に接続したビデオカメラ等を使用する。
音声入力	音声入力機器の切り換えを行ないます。 *内蔵マイク:* 内蔵のモノラルマイクモジュールを使用する。 *外部入力:* 外部ライン入力端子に接続した音響機器を使用する。
内部カメラ 上下反転表示	内蔵CMOSカメラの映像の上下反転を行ないます。 *有効:* 上下反転する。 *無効:* 上下反転しない。

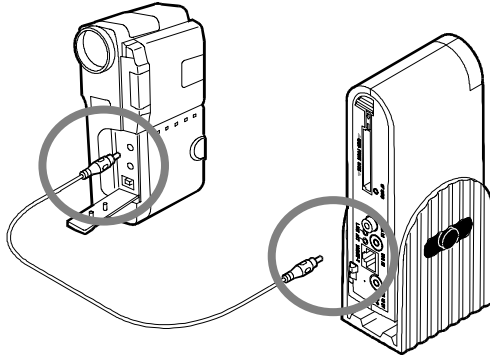
3 本製品にビデオカメラや音声出力機器を接続します。

※本製品の電源が入った状態で接続できます。

※本製品にはビデオケーブルや音声ケーブルは添付しておりません。カメラに付属あるいは市販のケーブルをご使用ください。

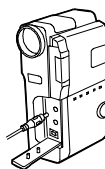
※添付の「RCA変換アダプタ」を使用することで、RCAコネクタ音声ケーブルも使用できます。

ビデオ入力端子接続例

ビデオケーブルで、本製品の[ビデオ入力端子]とビデオカメラのビデオ出力端子を接続します。

これで準備ができました。

ビデオカメラの映像を見る

ビデオカメラの映像を見てみましょう。

1 ビデオカメラの電源を入れ、
映像が見られる状態にします。

2 本製品の設定画面の
［コントロール］→［リアルタイム動画］
をクリックします。
しばらくしてビデオカメラの映像が
表示されます。

項目	内容
［ウィンドウ起動］ボタン	表示されている映像をWindows Media Player単体で見ることができます。

注意！

- **Windows Media Player の仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合があります。（Windows Media Player 側でストリーム映像をバッファリングするためです。）**
- **外部入力設定時は、PAN/TILT 機能は使用できません。**

本製品を初期設定に戻す

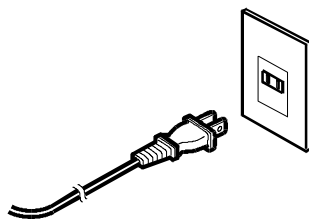
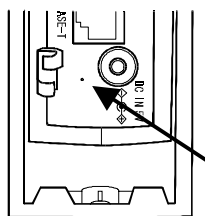
本製品背面の[全初期化]ボタンで本製品を初期設定に戻す手順について説明します。

注意！

以下の手順を行うと、変更した設定内容は、すべて初期設定（出荷時設定）となります。設定画面で最初からすべて設定し直してください。

1 本製品を使っていないことを確認します。

2 本製品からLANケーブルを取り外し、本製品の電源ケーブルをコンセントから取り外します。

3 本製品背面の[全初期化]ボタンの穴に、クリップ等の先の細いもので内部のボタンを押しながら、電源ケーブルをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。

4 クリップを放します。

5 初期設定され、約90秒後に起動します。

以上で本製品を初期設定に戻す設定は終了です。
再度最初から本製品を設定し直してください。

付録1

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフト

●「IPアドレス設定ユーティリティ」設定時のトラブル

<table>
<tr><th>状態</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>「ソケットの初期化に失敗しました。エラー番号：10013」が表示される</td><td>130</td></tr>
<tr><td>「送信に失敗しました。エラー番号：10065」が表示される</td><td></td></tr>
<tr><td>ネットワークに接続している本製品が検出できない</td><td></td></tr>
<tr><td>Web ブラウザの起動がおこなえない</td><td></td></tr>
<tr><td>「サブネットマスクが無効です」が表示される</td><td></td></tr>
<tr><td>「カメラタイトルに、2 バイト文字、空白文字、および以下の文字を使用することができません。”&’*/<->?¥|」が表示される</td><td></td></tr>
<tr><td>ユーザー認証に失敗する</td><td>131</td></tr>
<tr><td>設定を行なった後、該当する本製品が一覧に表示されなくなった</td><td></td></tr>
<tr><td>【カメラサーバ情報の編集】ができない</td><td></td></tr>
</table>

●「IPアドレス設定ユーティリティ」エラーメッセージ

状態およびエラーメッセージ	ページ
このプログラムは、管理者権限が必要です。 管理者権限のあるユーザーで再度実行してください	132
1 つは必ず選択してください	
X:¥vc6_update¥vcredist.exeの実行に失敗しました （X は CD ドライブ）	
X:¥wmfsdk_update¥WMFDist.exeの実行に失敗しました （X は CD ドライブ）	
セットアップは完了していません。ここでセットアッププログラムを中止するとユーティリティの動作保証はできません 〈はい〉を選択するとインストールを中止します（ご使用の前に、セットアップを行なってください） 〈いいえ〉を選択するとインストールを続行します	
共有ファイルはTSR-MS4ユーティリティ以外のアプリケーションでは必要としません ファイルを削除する場合は〈はい〉を選択してください	133
サポートファイルを解凍中にエラーが発生しました アクセスが拒否されました	
【自己登録エラー】 1 以上のファイルを自己登録しませんでした	

●設定時のトラブル

「IPアドレス設定ユーティリティ」設定時のトラブル

「ソケットの初期化に失敗しました。エラー番号：10013」が表示される

原因	ユーティリティを実行するユーザーにパソコンの管理者権限がない
対処	パソコンの管理者権限を持つユーザーによって、実行してください。

「送信に失敗しました。エラー番号：10065」が表示される

原因	ユーティリティを実行したパソコンがネットワークに接続されていない
対処	実行したパソコンをネットワークに接続し、実行してください。

ネットワークに接続している本製品が検出できない

原因１	ネットワークが同一でない
対処	物理的に同一であるネットワーク上に接続してください。

原因２	パソコンと同じ IP アドレスが本製品に設定されている
対処	パソコンに IP アドレスを変更してください。

Web ブラウザの起動がおこなえない

原因１	検索を行なった後、本製品の IP アドレスが変更された
対処	再度、検索を行ない、最新の状況に更新し、再度、web ブラウザの起動を行なってください。

原因２	ユーティリティを実行するパソコンとは異なるネットワークの IP アドレス/ネットマスクを設定した
対処	同一ネットワーク上の IP アドレス/ネットマスクを持つパソコンからユーティリティを実行し web ブラウザの起動を行なうか、本製品を該当するネットワークに接続してください。

「サブネットマスクが無効です」が表示される

原因	設定しようとしているサブネットマスクが無効である
対処	ネットワーク管理者に問い合わせ、正しいサブネットマスクを設定してください。

「カメラタイトルに、2 バイト文字、空白文字、および以下の文字を使用することができません。”&’*/<->?¥|」が表示される

原因	ホスト名、カメラタイトルの後ろに、全角/半角空白文字を入力している
対処	ホスト名、カメラタイトルに入力している全角/半角空白文字を削除後、再度設定を行なってください。

ユーザー認証に失敗する

原因	認証用ユーザーID とパスワードが本製品に対する設定許可のあるユーザーおよびパスワードではない
対処	本製品に対する設定許可があるユーザーおよびパスワードを設定してください。

設定を行なった後、該当する本製品が一覧に表示されなくなった

原因	本製品が再起動中である
対処	本製品が再起動した後、検索を実行してください。

【カメラサーバ情報の編集】ができない

原因１	IP アドレスに設定できない値を設定している
対処	IP アドレスの設定値を修正してください。

原因２	サブネットマスクに設定できない値を設定している
対処	サブネットマスクの設定値を修正してください。

原因３	ホスト名に使用できない文字を設定している
対処	半角英数字で設定してください。

原因４	カメラタイトルに使用できない文字を設定している
対処	半角英数字で設定してください。

原因５	認証用ユーザーID が間違っている、もしくは省略している
対処	本製品に対する設定許可があるユーザーID を必ず入力してください。

「IPアドレス設定ユーティリティ」エラーメッセージ

**このプログラムは、管理者権限が必要です。
管理者権限のあるユーザーで再度実行してください(2000/XP のみ)**

原因	インストーラーを実行しているユーザーにパソコンの管理者権限がない
対処	パソコンの管理者権限を持つユーザーにより、実行してください。

1 つは必ず選択してください

原因	カスタムインストールを選択したが、インストールするコンポーネントを 1 つも選択しなかった
対処	コンポーネント選択画面で 1 つは必ず選択してください。

**X:¥vc6_update¥vcredist.exeの実行に失敗しました
（X は CD ドライブ）**

原因	ランタイムインストールを選択した際にインストールファイルにアクセスできなかった
対処	セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

**X:¥wmfsdk_update¥WMFDist.exeの実行に失敗しました
（X は CD ドライブ）**

原因	ランタイムインストールを選択した際にインストールファイルにアクセスできなかった
対処	セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

**セットアップは完了していません。ここでセットアッププログラムを中止すると
ユーティリティの動作保証はできません
〈はい〉を選択するとインストールを中止します（ご使用の前に、セットアップを
行なってください）
〈いいえ〉を選択するとインストールを続行します**

原因	セットアップ中に〈キャンセル〉ボタンをクリックした
対処	セットアップは中止しないことを推奨します。もし中止する場合は、ご使用の前に必ず再度セットアップを行なってください

共有ファイルはTSR-MS4ユーティリティ以外のアプリケーションでは必要としません
ファイルを削除する場合は〈はい〉を選択してください

原因	共有ファイルを削除する際に表示される
対処	今後、ユーティリティをご使用しないのであれば〈はい〉を選択してください。それ以外の場合は〈いいえ〉を選択してください

サポートファイルを解凍中にエラーが発生しました
アクセスが拒否されました

原因	インストーラーを起動中にもう１つのインストーラーを起動した場合に表示される
対処	〈OK〉をクリックしてセットアップを終了させてください

【自己登録エラー】
１以上のファイルを自己登録しませんでした

原因	ランタイムインストールを実行しなかった
対処	ユーティリティを削除し、再度ユーティリティとランタイムのインストールを実行してください

設定時のトラブル

本製品のWeb設定画面が表示されない（Web 設定画面の TOP ページが表示されない）

原因1	IP アドレスを変更している
対処	ブラウザのアドレス入力位置に変更した IP アドレスを入力してください。

原因2	パソコンと本製品のネットワーククラスが異なる
対処	パソコンと本製品のネットワーククラスを合わせてください。

原因3	本製品の電源が入っていない
対処	本製品の電源を入れてください。

原因4	本製品が起動中
対処	本製品が起動するまでお待ちください。（約 90 秒かかります。）

原因5	LAN ケーブルが接続されていない
対処	LAN ケーブルを接続してください。

原因6	LAN ケーブルの種類が違う
対処	パソコンと直接接続する際はクロスケーブル、ネットワークに接続する際はストレートケーブルをお使いください。

原因7	ネットワークが混んでいる
対処	しばらくお待ちください。

IP アドレスが 192.168.0.150 となっている

原因1	全初期化を行なった
対処	本製品の背面にある全初期化ボタンを押しながら電源を投入しますと工場出荷初期設定に戻ります。後希望の設定状態に変更してください。

原因2	DHCP サーバからの IP アドレス取得に失敗した
対処	DHCP サーバからの取得を設定していて、DHCP サーバ等の故障で IP アドレスを取得できなかった場合、IP アドレスは 192.168.0.150 になります。

リアルタイム動画が途中で切断される

原因1	ネットワークが混んでいる
対処	しばらく待って再度、接続してください。

原因2	データレートがネットワーク帯域を上回っている
対処	ネットワーク帯域以下のデータレートを設定してください。

原因3	電波状態が悪い（PPP 接続、無線 LAN 接続）
対処	無線 LAN や PPP 接続および PPPoE 接続は、ご使用の環境等により所定のパフォーマンスを確保できないことがあります。

リアルタイム動画が表示されない

原因1	ActiveX、JavaScript が有効でない
対処	ブラウザの ActiveX、JavaScript を有効にしてください。

原因2	接続セッション数を超えている
対処	最大セッション数は 5 です。

原因3	静止画処理中である
対処	静止画処理終了後お使いください。

原因4	リアルタイム動画が[無効]に設定されている
対処	動画設定でリアルタイム動画配信を[有効]にしてください。

原因5	映像入力が[外部入力]になっている
対処	入力設定の映像入力を[内蔵カメラ]にするか外部カメラを接続してください。

原因6	データレートがネットワーク帯域を上回っている
対処	ネットワーク帯域異化のデータレートを設定してください。

原因7	各種コーデックがインストールされていない
対処	セットアップ CD-ROM にて、サンプル ASF を再生してください。

原因8	ASF と RTP の同時配信ができない
対処	本製品の仕様となります。接続要求に従い、自動的に選択されます。 例えば、ASF で配信中は、その接続がなくなるまで、RTP での接続はできません。

画像が乱れる

対処	サポートセンターへお問い合わせください。

音声が聞こえない

原因1	パソコンのスピーカーがミュート（消音）状態になっている
対処	ミュート（消音）を解除してください

原因2	パソコンのスピーカーのボリュームが小さい
対処	ボリュームを上げてください。

原因3	[音声なし]の設定になっている
対処	動画設定で音声を[音声なし]以外に設定してください。

原因4	音声入力が[外部入力]になっている
対処	入力設定の音声入力を[内部マイク]にするか外部カメラを接続してください。

原因5	音声コーデックがインストールされていない
対処	音声コーデックをインストールしてください。

静止画が表示されない

原因1	他セッションで静止画処理中
対処	静止画処理終了後、お使いください。

原因2	動画配信中
対処	動画配信終了後、お使いください。

原因3	映像入力が[外部入力]になっている
対処	入力設定の映像入力を[内部カメラ]にするか外部カメラを接続してください。

ファイル動画が表示されない（できない）

原因1	CF メモリーカードが挿入されていない
対処	動画（ASF）ファイルが保存されている CF メモリーカードを挿入してください。

原因2	CF メモリーカードがマウント解除されている
対処	CF メモリーカードを一度取り出し、再度挿入してください。

原因3	接続セッション数を超えている
対処	最大セッション数は 5 です。

原因4	静止画処理中
対処	静止画処理終了後、お使いください。

原因5	CF メモリーカード内のファイルが動画ファイルではない
対処	動画（ASF）ファイルを再生してください。

IPアドレス通知機能でメール通知されない　※1
（無線 LAN、PPPoE 接続の場合も同様）

原因1	固定 IP アドレス設定になっている
対処	DHCP 機能を使用するに変更してください。

原因2	E-mail による通知をチェックしていない
対処	E-mail による通知をチェックしてください。

原因3	メール設定を行なっていない、または正しく設定されていない
対処	メール設定を正しく行なってください。（DNS の確認も行ってください。）

IPアドレス通知機能でFTP転送されない　※1
（無線 LAN、PPPoE 接続の場合も同様）

※1：メール通知およびFTP転送において、【機器情報】画面の[異常発生状況]の欄に異常内容が表示されている場合は、「機器情報画面に表示されるメッセージ一覧」（145ページ）を参照してください。

原因1	固定 IP アドレス設定になっている
対処	DHCP 機能を使用するに変更してください。

原因2	FTP による通知をチェックしていない
対処	FTP による通知をチェックしてください。

原因3	FTP 設定を行なっていない、または正しく設定されていない
対処	FTP 設定を正しく行なってください。（DNS の確認も行ってください。）

PPP 発信できない　※2

※2：PPP発信において【機器情報】画面の[異常発生状況]の欄に異常内容が表示されている場合は、「機器情報画面に表示されるメッセージ一覧」（145ページ）を参照してください。

原因1	発信電話番号が間違っている
対処	発信先の電話番号をご確認ください。

原因2	PPP ID、パスワードが間違っている
対処	接続先の PPP ID、パスワードをご確認ください。

PPP着信できない（パソコン等からの本製品の PHS にダイヤルアップ接続できない）

原因1	PPP 着信設定をしていない
対処	PPP 着信設定を行なってください。

原因2	PPP 着信の IP アドレスに間違いがある
対処	PPP着信IPアドレス・PPPクライアントIPアドレスには内蔵LANのIPアドレスとは異なるネットワークアドレスを設定してください。 《例》 内蔵LAN：192.168.0.150の時 PPP着信IPアドレス：192.168.1.1 PPP クライアント IP アドレス：192.168.1.2

原因3	発信者番号制限が[有効]になっている
対処	発信者番号制限を[無効]にするか、着信許可番号に電話番号を追加してください。

原因4	パソコン等からの PPP 接続時のユーザーID が登録されていない、または PPP 着信が許可されていない
対処	システム設定のユーザー管理より、新たにユーザーID を登録するか、既存のユーザーID を[PPP 着信許可する]に変更してください。

無線LANで接続できない（無線 LAN で Web 設定画面が表示されない）

原因1	内蔵 LAN のネットワークアドレスと重複している
対処	内蔵LANとは別のネットワークアドレスに設定してください。 《例》内蔵LAN：192.168.0.150の時 無線 LAN：192.168.1.151

原因2	無線 LAN 設定に誤りがある
対処	下記項目をご確認ください。 ・WEP設定（WEP暗号化設定、WEP Key） ・ESS-ID（インフラストラクチャモードのとき） ・チャネル番号（アドホックモードのとき）

原因3	無線 LAN アクセスポイントが有効でない
対処	お使いの無線 LAN アクセスポイントの設定をお確かめください。

PPPoEで接続できない（PPPoE で Web 設定画面が表示されない）

原因1	PPPoE 設定が[有効]になっていない
対処	PPPoE 設定を[有効]にしてください。

原因2	PPPoE ID、パスワードが間違っている
対処	プロバイダより指定された PPPoE ID、パスワードを設定してください。

原因3	固定 IP アドレスが間違っている
対処	プロバイダより固定 IP アドレスを指定されている場合は、正しく設定されているかご確認ください。

新規ユーザーが登録できない

原因1	ユーザー登録数が 20 件を超えている
対処	不要なユーザーを削除してお使いください。 本製品は 20 ユーザーまで登録できます。

原因2	ユーザーID が重複している
対処	ユーザーID がすでに登録済みの場合、同一のユーザーID は登録できません。

原因3	ユーザーID、パスワードの文字数が 4～8 でない
対処	ユーザーID、パスワードは 4 文字以上 8 文字以下で設定してください

原因4	パスワードを登録していない
対処	ユーザー登録時は必ずユーザーIDとパスワードの両方を設定してください *※工場出荷初期設定で、登録されている「admin」はパスワードなしとなっておりますが、変更によりパスワードを設定することが可能です。（元のパスワード無しに戻すには、全初期化を行なってください。）*

ユーザーが変更できない

原因	1 つしかないレベル 3 のユーザーのレベルを変更しようとしている
対処	登録ユーザーにレベル 3 のユーザーは必ず 1 つは必要です。

ユーザー削除ができない

原因	1 つしかないレベル 3 のユーザーを削除しようとしている
対処	登録ユーザーにレベル 3 のユーザーは必ず 1 つは必要です。

動画設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	データレート 32kbps で音声 G.726 を設定している
対処	32kbps では音声 G.726 は使用できません。設定を変更してください。

原因2	データレート 96kbps 以下で画像サイズ CIF を設定
対処	96kbps では画像サイズ CIF は設定できません。設定を変更してください。

ネットワーク設定の共通設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	ホスト名が空白または未入力となっている
対処	ホスト名は空白または未入力は設定不可のため、任意の名称を設定してください。

原因2	メールアドレスが間違っている
対処	メールアドレスは xxxx@xxxxxxx の形式で設定してください。

原因3	メールサーバ、FTP サーバの IP アドレスが間違っている
対処	IP アドレスを確認の上、設定してください。

原因4	メール ID、FTP ID またはパスワードが 31 文字を超えている
対処	メール ID、FTP ID およびパスワード 31 文字以内で設定してください。

ネットワーク設定の内蔵LAN設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	IP アドレスが間違っている
対処	IPアドレスは、「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式（xxxは0～255の範囲）で設定してください。 また、以下のアドレスは設定不可です。 0.xxx.xxx.xxx 127.xxx.xxx.xxx 224.xxx.xxx.xxx～255.xxx.xxx.xxx

原因2	サブネットマスクが間違っている
対処	IP アドレスと同様の形式で 0～31 ビット間で連続したビットの設定になるように設定してください。

原因3	すでに無線 LAN で DHCP 機能が有効なのに、内蔵 LAN で DHCP 機能を設定しようとした。
対処	無線 LAN の DHCP 機能を解除後、再度設定してください。 *※無線と有線で同時に DHCP 設定は不可*

原因4	無線 LAN と内蔵 LAN で同じクラス、IP アドレスに設定しようとしている
対処	別々のクラスの IP アドレスに設定してください。（同じクラスは不可）

ネットワーク設定の PPP 設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	発信有効時に電話番号・PPP ID・パスワードを設定していない
対処	発信有効時は、電話番号・PPP ID・パスワードを必ず設定してください。

原因2	IP アドレスが間違っている
対処	IP アドレスを確認の上、設定してください。

ネットワーク設定の無線 LAN 設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	IP アドレスが間違っている
対処	IP アドレスを確認の上、設定してください。

原因2	サブネットマスクが間違っている
対処	サブネットマスクを確認の上、設定してください。

原因3	すでに内蔵 LAN で DHCP 機能が有効なのに、無線 LAN で DHCP 機能を設定しようとした
対処	内蔵LANのDHCP機能を解除後、再度設定してください・ *※無線と有線で同時に DHCP 設定は不可*

原因4	無線 LAN と内蔵 LAN で同じクラス、IP アドレスに設定しようとしている
対処	別々のクラスの IP アドレスに設定してください。（同じクラスは不可）

ネットワーク設定の PPPoE 設定で「設定が間違っています」と表示される

原因1	IP アドレスが間違っている
対処	IP アドレスを確認の上、設定してください。

原因2	サブネットマスクが間違っている
対処	サブネットマスクを確認の上、設定してください。

「設定が間違っています」と表示される

原因	入力した内容が、設定項目制限事項で禁止されている
対処	設定項目制限事項(243 ページ)または、各設定項目のヘルプをご覧ください。

CATV 局がユーザーを[コンピュータ名]で管理している場合の設定方法がわからない

対処	CATV 局からの[コンピュータ名]を、本製品の[ホスト名]に設定してください。 ([設定]→[ネットワーク設定]→[共通設定]→[ホスト名]へ設定してください。)

PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい

対処	IP アドレスメール通知機能や、FTP 通知機能をご利用ください。

管理者の[パスワード]を忘れた

対処	本製品前面の[全初期化ボタン](RESET)ボタンで、再度新しい設定を行うことができます。(ただし、すべての設定が初期状態に戻ります。)(238 ページ参照)

設定画面で文字が入力できない

原因1	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因2	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。

[TCP/IP]が表示されていない　　　　　（Windows Me/98 の場合）

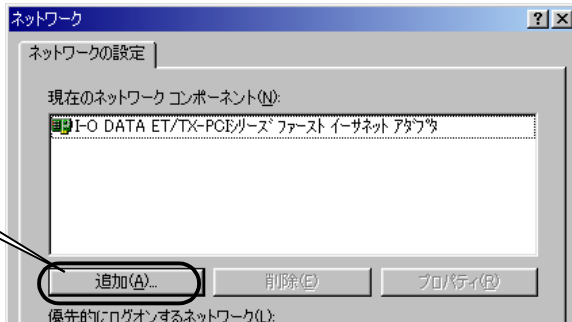
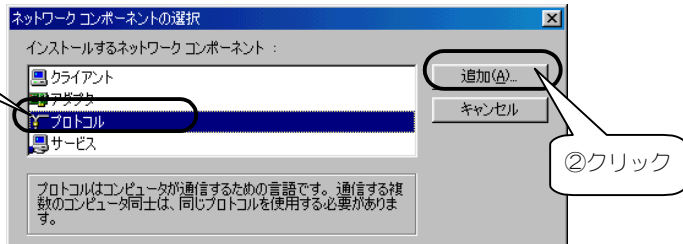
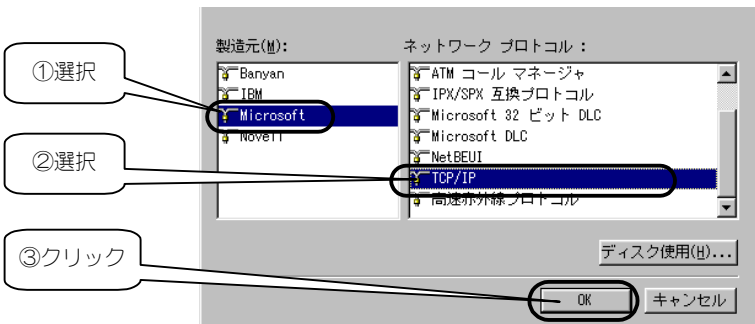
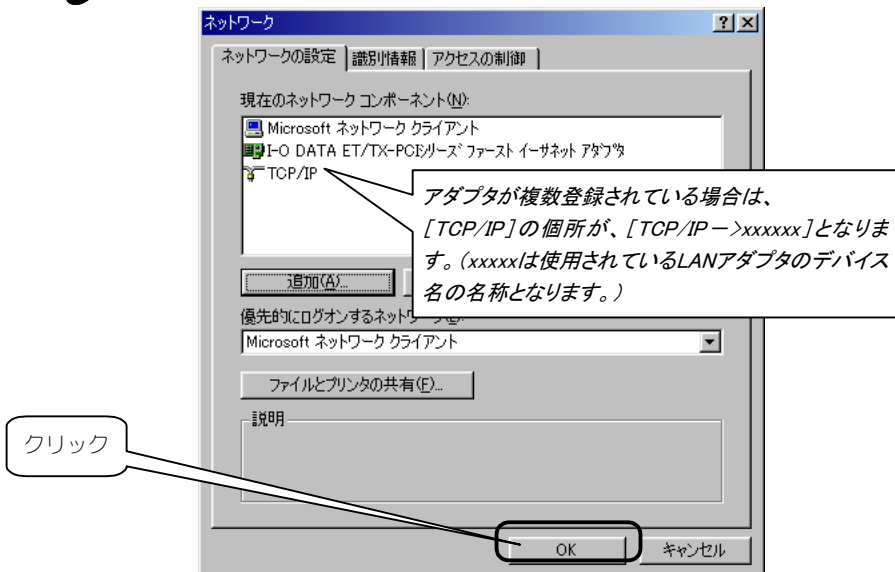
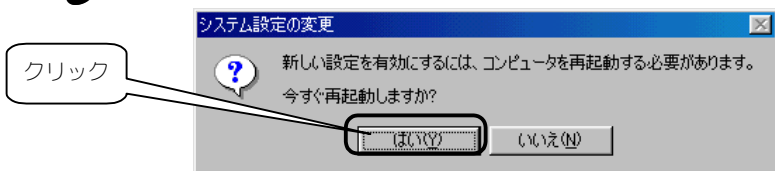
原因	TCP/IP プロトコルがインストールされていない。
対処	下記の手順で TCP/IP をインストールします。

1 「ネットワーク」を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、

[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。

※以下の画面は、弊社製ET/TX-PCIシリーズを例にしています。

3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

参考

利用しない(または、していない)ネットワークアダプタは、削除しておくことお勧めします。

機器情報画面に表示されるメッセージ一覧

RUNランプの赤点灯で知らせる配信異常

No.	機器情報の表示	対処方法
1	[IPアドレス通知]メールサーバが見つかりませんんでした	メール設定のSMTPサーバ、POPサーバの設定内容を確認してください
2	[IPアドレス通知]メールサーバの認証に失敗しました	メール設定のメールID、パスワードの設定内容を確認してください
3	[IPアドレス通知]メール送信に失敗しました	メール設定の設定内容を確認してください また、メールサーバが正しく設定されているか確認してください
4	[IPアドレス通知]FTPサーバが見つかりませんでした	FTP設定のFTPサーバの設定内容を確認してください
5	[IPアドレス通知]FTPサーバの認証に失敗しました	FTP設定のFTP ID、パスワードの設定内容を確認してください
6	[IPアドレス通知]FTP送信に失敗しました	FTP設定の設定内容を確認してください また、FTPサーバが正しく設定されているか確認してください

MEMORYランプの赤点灯で知らせる配信異常

No.	機器情報の表示	対処方法
1	CFカードスロットにCFカードが装着されていません	CFカードスロットにフォーマット済みのCFメモリーカードを装着してください
2	CFスロットにCFメモリーカードが装着されていません	CFカードスロットにフォーマット済みのCFメモリーカードを装着してください
3	CFメモリーカードがフォーマットされていません	CFメモリーカードをフォーマットしてください または、CFカードスロットにフォーマット済みのCFメモリーカードを装着してください
4	CFメモリーカードに空き容量がありません	十分な空き容量のあるCFメモリーカードを装着してください、または、不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください
5	CFメモリーカードがマウントされていません	CFメモリーカードがアンマウントされています、カードを抜いて、再度挿入してください

※CFメモリーカードの空き容量不足時のみRUNランプが赤点滅します

その他（ランプ表示はありません）

No.	機器情報の表示	対処方法
1	[PPP発信]PPP発信に失敗しました	CFカードスロットにPHSカード、またはモデムカードが正しく装着されていることを確認してください また、発信機能の設定内容を確認してください
2	その他エラー（***）	再起動により復旧してください。(***)は、エラーコードを示します。 *※このエラーコードが、発生したときはお手数ですがサポート窓口へエラーコードをお伝えくださいますようお願い致します。*

付録2

Web設定画面の詳細

ここでは、Web設定画面の詳細について説明します。必要に応じてお読みください。

もくじ

Web設定画面

『TSR-MS4R設定画面』は、Webブラウザで本製品から配信された映像を閲覧したり、各種設定を行なうことができます。

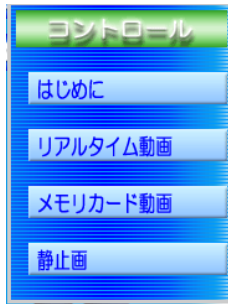
トップページ

Web上で『TSR-MS4R設定画面』にアクセスしたときに最初に表示されるページです。

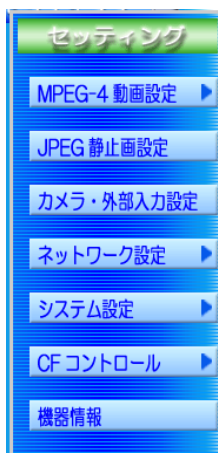
【『TSR-MS4R設定画面』のトップページ】画面

メニュー項目	詳細
コントロール	閲覧や操作に関する項目です。
セッティング	本製品の設定に関する項目です。

[コントロール]メニュー

[コントロール]メニューには以下の設定ができます。

メニュー項目	詳細	参照ページ
はじめに	トップページに戻ります。トップページ以外でこのボタンをクリックした場合、このページに戻ることができます。	151
リアルタイム動画	本製品からのリアルタイム配信を閲覧できます。	152
メモリカード動画	本製品の背面パネルのCFカードスロットに装着したCFメモリカードの動画ファイルの閲覧（再生）、およびCFメモリカードへ本製品の映像を録画できます。	153
静止画	本製品からのリアルタイム映像を、静止画として表示します。また、本製品に装着されたCFメモリカード内に記録されている静止画ファイルの表示を行ないます。	156

[セッティング]メニュー

[システム]メニューには以下の設定ができます。

メニュー項目	詳細	参照ページ
MPEG-4動画設定	MPEG-4動画に関する設定を行います。	157
JPEG静止画設定	JPEG静止画に関する設定を行います。	162
カメラ・外部入力設定	カメラ、マイク、外部入力の設定を行います。	163
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定を行います。	164
システム設定	内部タイマーの日付と時刻、アクセス制限、ユーザー登録等の設定を行います。	181
CFコントロール	TSR-MS4RのCFカードスロットに挿入されたCFメモリカード操作を行います。	193
機器情報	本製品のシステム設定情報を確認できます。本製品の設定情報、および現在発生している異常情報を表示します。	200

はじめに

[コントロール]メニュー→[はじめに]について説明します。

はじめに

はじめに

TSR-MS4R

MPEG-4圧縮技術を活かした新世代のネットワークコミュニケーションデバイスです。
新たな映像ネットワークコミュニケーションを提供します。

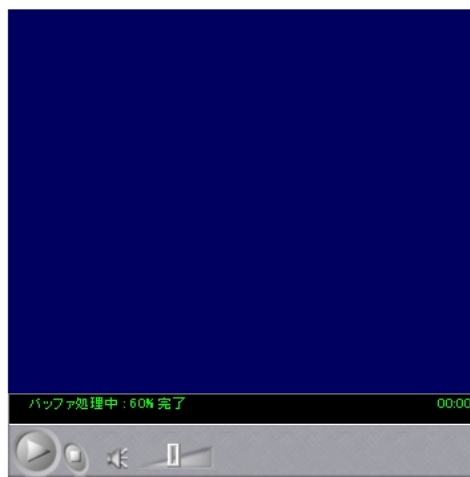
- 初めてお使いになる方へ
- 困ったときには

2003 I-O DATA DEVICE ,INC.

項目	内容
初めてお使いになる方へ	初めて本製品をご使用になる場合の注意が書かれています。
困ったときには	サポートセンターやI-O DATAのホームページへのリンクがあります。

リアルタイム動画

リアルタイム動画では、カメラの映像を表示します。

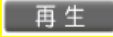
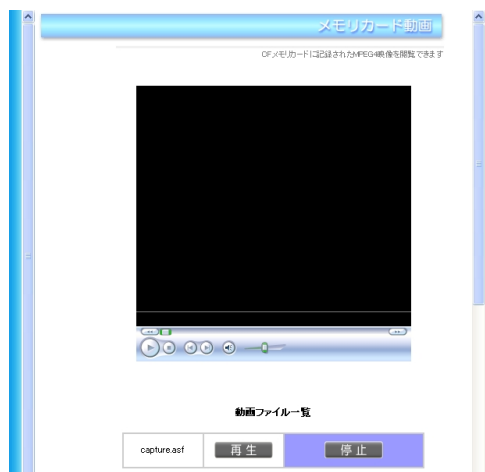
リアルタイム動画

ウィンドウ起動　PAN/TILT

項目	内容
[ウィンドウ起動]ボタン	表示されている映像をWindows Media Player単体で見ることができます。
[PAN/TILT]ボタン	デジタルPTZ操作ウィンドウを表示します。 本画面表示時は自動表示されます。

注意！

・Windows Media Player の仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合があります。（Windows Media Player 側でストリーム映像をバッファリングするためです。）

・外部カメラの映像はデジタル PTZ 操作はできません。
内部カメラでのみご使用いただけます。

メモリカード動画

メモリカード動画では、CFメモリカードに記録された
ASF動画ファイルを再生したり、CFメモリカードに、カメラや外部入力に入っているリアルタイムな映像をASF形式で録画することができます。
WindowsMediaPlayerでのみ再生が可能です。
QuicktimeやpvPlayerでは、再生できません。

	再生	動画再生を開始します。 再生中は[一時停止]ボタンとなります。
	停止	再生中の動画を停止します。
	前へ	ご使用になれません。
	巻き戻し	巻き戻します。
	早送り	早送りします。
	次へ	ご使用になれません。
	ミュート	音を消します。
	音量	音量を調整します。

動画ファイル一覧(CFメモリカード接続時)	
再生 (再生)ボタン	各ファイルの動画再生を開始します。
停止 (停止)ボタン	再生中の動画を停止します。

録画設定・操作	
データレート	1秒間に配信される動画のデータ量を設定します。 (32k bps 〜 256k bps) TSR-MS4Rを接続する回線速度に応じて設定してください。データレートの値が大きいほどフレームレート(一秒あたりのコマ数)が良くなりスムーズな動画配信が可能となります。 *※データレートは、ネットワーク帯域以下に設定する必要があり、データレートがネットワーク帯域を上回る場合は、正常に配信されません。* *画質 動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。*
画質	動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高*:圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中*:圧縮率、画質ともに中程度です。 *低*:圧縮率が最も高く、一番低い画質です。 *※同一データレートにおいて画質を上げると、フレームレート(一秒あたりのコマ数)が下がります。*
解像度	動画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96* *※データレートを96kbps以下に設定している場合は、CIFサイズに設定することができません。* *※同一データレートにおいて解像度を上げると、フレームレート(一秒あたりのコマ数)が下がります。*

<table>
<tr><td>音声</td><td>動画データに含まれている音声の圧縮率を設定します。
G.726：データ量が最も多いです
AMR（中）：データ量が中程度です
AMR（低）：データ量が最も低いです
なし：音声なしの設定です。
※データレートを32kbpsに設定した場合、G.726に設定することはできません。
※GSM-AMR形式のデータの再生に必要なコーデックソフトは、別途VoiceAge社のインターネットから「SPOTxde　Player」をダウンロードし、インストールする必要があります。</td></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td>任意の指定した最大8文字のファイル名と4文字の拡張子（.asf）となります。
例）xxxxxxxx.asf
※必ず4文字の拡張子（.asf）を含む12文字以内で設定してください。拡張子がない場合、ファイル形式が認識されず、再生できない場合があります。
※使用可能文字は、半角英数字のみ使用できます。ただし〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔’〕〔*〕〔／〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。
※ファイル名を指定した場合は、同一名で上書き保存されますので、ご注意ください。</td></tr>
<tr><td>記録時間</td><td>〔録画開始〕から、〔録画終了〕するまでの記録時間を設定します。
0時間0分0秒と設定した場合は、停止ボタンが押されるかCFの空き容量がなくなるまで記録します。</td></tr>
<tr><td>［録画開始］ボタン</td><td>動画録画を開始します。</td></tr>
<tr><td>［停止］ボタン</td><td>録画を停止します。記録時間に達していなくても録画を中断することが出来ます。</td></tr>
<tr><td>［ステータス表示］ボタン</td><td>現在の録画状態のステータスを表示します。
※ 録画中は、設定時間と経過時間が表示されます。</td></tr>
</table>

静止画

静止画では、本製品からのリアルタイム静止画像を、

静止画

表示するほか、CFメモリカードに記録された静止画ファイルを閲覧することができます。

画質　○高　◉中　○低

解像度　○CIF　◉QCIF　○SQCIF

更 新　PAN/TILT

静止画	
画質	動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高*:圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中*:圧縮率、画質ともに中程度です。 *低*:圧縮率が最も高く、一番低い画質です。
解像度 (画像サイズ)	動画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96*
[更新]ボタン	画像が更新されます。(表示がない場合は、黒色に表示されます)
[PAN/TILT] ボタン	デジタルPTZ操作ウィンドウを表示します。

外部カメラの映像はデジタル PTZ 操作はできません。
内部カメラでのみご使用いただけます。

MPEG-4動画設定

本製品から配信される動画データに関する設定を行います。
MPEG-4動画設定には、[ASF動画設定]と[RTP動画設定]
の2つがあります。

MPEG-4 動画設定
ASF 動画設定
RTP 動画設定

ASF動画設定

ASF動画設定では、以下を設定できます。

リアルタイム動画配信　◉ 有効　○ 無効
データレート　64k bps
画質　○ 高　◉ 中　○ 低
解像度　○ CIF　◉ QCIF　○ SQCIF
音声　◉ G.726　○ AMR(中)　○ AMR(低)　○ 音声なし

ASF動画設定	
リアルタイム動画配信	ASFのリアルタイム動画の閲覧の有効/無効を設定します。
データレート	1秒間に配信される動画のデータ量を設定します。 (32k bps　～　768k bps) 本製品を接続する回線速度に応じて設定してください。 データレートの値が大きいほどフレームレート(1秒あたりのコマ数)が良くなりスムーズな動画配信が可能となります。 *※データレートは、ネットワーク帯域以下に設定する必要があり、データレートがネットワーク帯域を上回る場合は、正常に配信されません。*

ASF動画設定	
画質	動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高:*圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中:*圧縮率、画質ともに中程度です。 *低:*圧縮率が最も高く、一番低い画質です。 *※同一データレートにおいて画質を上げると、フレームレート(1秒あたりのコマ数)が下がります。*
解像度	動画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96* *※データレートを96kbps以下に設定している場合は、CIFサイズに設定することができません。* *※同一データレートにおいて解像度を上げると、フレームレート(1秒あたりのコマ数)が下がります。*
音声	動画データに含まれている音声の圧縮率を設定します。 *G.726*:データ量が最も多いです *AMR(中):*データ量が中程度です *AMR(低):*データ量が最も低いです *なし*:音声なしの設定です。 *※データレートを32kbpsに設定した場合、G.726に設定することはできません。* *※GSM-AMR形式のデータの再生に必要なコーデックソフトは、別途VoiceAge社のインターネットから「SPOTxde Player」をダウンロードし、インストールする必要があります。*

動画のデータ量は、画質と解像度に影響され、データレートが低い場合に動画のデータ量が多くなる設定を行なうと、動画フレーム数が低下します。

RTP動画設定

RTP動画設定では、以下を設定できます。

動画データ設定

リアルタイム動画配信 ◉ 有効 ○ 無効

データレート 50 kbps

画質 ○ 高 ◉ 中 ○ 低

解像度 ○ CIF ◉ QCIF ○ SQCIF

音声 AMR (低)

リフレッシュ周期 10 秒間隔

最大フレームレート 7.5 フレーム

NAT/IPマスカレード機能対応

グローバルIP設定 ○ 有効 ◉ 無効

グローバルIPアドレス

RTP動画設定（動画データ設定）	
リアルタイム動画配信	RTPのリアルタイム動画の閲覧の有効/無効を設定します。
データレート	1秒間に配信される動画のデータ量を設定します。 (32k bps 〜 256k bps) 本製品を接続する回線速度に応じて設定してください。 データレートの値が大きいほどフレームレート(1秒あたりのコマ数)が良くなりスムーズな動画配信が可能となります。 *※データレートは、ネットワーク帯域以下に設定する必要があり、データレートがネットワーク帯域を上回る場合は、正常に配信されません。*
画質	動画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高*:圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中*:圧縮率、画質ともに中程度です。 *低*:圧縮率が最も高く、一番低い画質です。 *※同一データレートにおいて画質を上げると、フレームレート(1秒あたりのコマ数)が下がります。*
解像度	動画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96* *※データレートを96kbps以下に設定している場合は、CIFサイズに設定することができません。* *※同一データレートにおいて解像度を上げると、フレームレート(1秒あたりのコマ数)が下がります。*
音声	動画データに含まれている音声の圧縮率を設定します。 *AMR(高)*:データ量が最も多いです *AMR(中)*:データ量が中程度です *AMR(低)*:データ量が最も低いです *なし*:音声なしの設定です。 *※GSM-AMR形式のデータの再生に必要なコーデックソフトは、別途VoiceAge社のインターネットから「SPOTxde Player」をダウンロードし、インストールする必要があります。*
リフレッシュ周期	リフレッシュ間隔を設定します。(5秒〜20秒)
最大フレームレート	フレームレートの上限を設定します。(5〜30フレーム)

RTP動画設定（NAT/IPマスカレード機能対応）	
グローバルIP設定	RTP動画を、インターネット側に公開(ルータ越え)する際に設定します。 ＜有効＞ 本製品をルータ下に設置している場合、RTPプロトコルにユーザーが指定したグローバルIPアドレスを割り当てます。 ＜無効＞ RTPプロトコルに本製品の現在のIPアドレスを割り当てます。
グローバルIPアドレス	ルータに割りあたっているグローバルIPアドレスまたは、ホスト名を指定します。 ダイナミックDNS使用時は、登録しているホスト名を指定してください。 例）IPアドレスの場合　xxx.xxx.xxx.xxx (xxxは0～255) ホスト名の場合　xxxx.iobb.net

JPEG静止画設定

TSR-MS4Rから配信される静止画データに関する設定を行います。

JPEG静止画設定

画質　○高　◉中　○低

解像度　○CIF　◉QCIF　○SQCIF

静止画設定	
画質	静止画データの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほどデータ量が多く、高画質となります。 *高*:圧縮率が最も低く、一番高い画質です *中*:圧縮率、画質ともに中程度です。 *低*:圧縮率が最も高く、一番低い画質です。
解像度 （画像サイズ）	静止画データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量が多くなります。 *CIF*:352×288 ／ QCIF:176×144 ／ SQCIF:128×96

カメラ・外部入力設定

本製品に接続された内部/外部映像機器および音声機器の入力切換や各設定を行います。

カメラ・外部入力設定

映像入力	◉ 内蔵カメラ	○ 外部入力
音声入力	◉ 内蔵マイク	○ 外部入力
内蔵カメラ画像 上下反転表示	○ 有効	◉ 無効

動画設定	
映像入力	映像入力機器の切り換えを行ないます。 *内蔵カメラ:* 本体内蔵のVGAサイズ対応CMOSセンサーカメラモジュールを使用する場合に選択します。。 *外部入力:* 外部映像入力端子に接続したカメラや映像機器の映像(NTSC)を使用する場合に選択します。
音声入力	音声入力機器の切り換えを行ないます。 *内蔵マイク:* 内蔵のモノラルマイクモジュールを使用する場合に選択します。 *外部入力:* 外部ライン入力端子に接続した音響機器の音声(モノラル)を使用する場合に選択します。 添付のRCA変換コネクタを使用することで、一般的なRCAオーディオケーブルが利用できます。
内部カメラ 上下反転表示	内蔵CMOSカメラの映像の上下反転を行ないます。 *有効:* 上下反転する。 *無効:* 上下反転しない。

ネットワーク設定

「ネットワーク設定」には右の詳細項目があります。
【ネットワーク設定】画面の各ボタンをクリックすると、各詳細画面に移行します。
また、これらの設定は相互に関連する項目や優先される項目などがあります。

ネットワーク設定
共通設定
内蔵LAN設定
無線LAN設定
PPPoE設定
PPP設定
ダイナミックDNS

［ネットワーク設定］ サブメニュー項目	設定内容	他設定との併用
共通設定	ネットワーク関係で全体に関わる共通部分の設定を行ないます。	全てのネットワーク設定に共通する設定項目です。すべてのネットワーク設定に有効です。
内蔵LAN設定	本製品に内蔵されている10BASE-Tインターフェイスについての設定を行ないます。	・内蔵LAN接続を使用する場合に設定します。 ・PPPoE接続との併用はできません。 ・無線LAN接続が設定されていて、無線LANカードが搭載されている場合は、無線LAN接続が優先されます。 PPP接続との併用は可能です。
無線LAN設定	CFカードスロットに装着するIEEE802.11b無線LANカードに関する設定を行ないます。	無線LAN接続のみの設定となります。ただし、内蔵LANとは異なるネットワークのIPアドレスを指定してください。
PPPoE設定	PPPoEにて接続する場合の設定を行ないます。	PPPoE接続のみの設定となります。
PPP設定	CFカードスロットに装着するPHSカードに関する設定を行ないます。	内蔵LAN接続との併用は可能です。ただし、内蔵LANとは異なるネットワークのIPアドレスを指定してください。
ダイナミックDNS	ダイナミックDNSに関する設定を行います。	すべてのモードにおいて使用可能です。（DNSサーバアドレスの設定が必要です。）

共通設定

[共通設定]について説明します。

カメラタイトル

ホスト名 TSR-MS4R

IPアドレス通知

メール送信先アドレス

FTP転送先ディレクトリ

FTP転送ファイル名

メール設定

メールアドレス

SMTPサーバ

POP before SMTP　○ 有効　◉ 無効

POPサーバ

メールID

パスワード

FTP設定

FTPサーバ

FTP ID

パスワード

カメラタイトル

カメラの名称をつけることができます。

例：BROADSTREAM

最大31文字入力可能です。
任意設定ですので、何も設定しなくても問題はありません。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔’〕〔〕〔／〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。。*

ホスト名

ネットワーク上で本製品を識別するための名前です。

例：TSR-MS4R

最大63文字入力可能です。
ホスト名を設定する必要がある場合は、プロバイダまたはネットワーク管理者からホスト名を入手し、入力してください。
※同一ネットワーク上にて重複したホスト名は使用しないでください。
※半角英数字のみ使用できます。
〔A-Z〕〔a-z〕〔0-9〕および〔.〕(ピリオド)〔-〕(ハイフン)のみ使用できます。

IPアドレス通知（HTMLファイル）

・IPアドレス通知機能に関する設定を行ないます。
・DHCPによるIPアドレスの変更を通知する通知方法および通知先の設定を行ないます。
・メールによる通知、もしくはFTPによるリンクファイルの転送、またはその両方を設定できます。通知しない設定も可能です。
ここで設定されるIPアドレスの通知先は、各ネットワーク設定にあるIPアドレス通知機能（E-mailによる通知、FTPによる通知）で共通に使用されます。

<table>
<tr><td>メール送信先アドレス</td><td>IPアドレスを記述したメールの送信先のメールアドレスを設定します。
例：user@xxxxx.ne.jp

最大63文字入力可能です。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔’〕〔*〕〔／〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。</td></tr>
<tr><td>FTP転送先ディレクトリ</td><td>本製品へのリンクファイルをFTPにより転送する際のFTP転送先ディレクトリ名を設定します。
例：tsrms4/ipadr

最大127文字入力可能です
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔’〕〔*〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。</td></tr>
<tr><td>FTP転送ファイル名</td><td>本製品へのリンクファイル（HTMLファイル）をFTPに転送する際のFTP転送ファイル名を設定します。
例：tsrms4.htm

最大27文字のファイル名と4文字の拡張子（.htm）が入力可能です。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔’〕〔*〕〔／〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。</td></tr>
</table>

メール設定

本製品が使用するメールサーバの各種設定を行ないます。
メール設定はIPアドレス通知機能で使用するメールサーバの設定です。
これらの設定項目は、IPアドレス通知機能でメールを使用する時は必ず設定が必要となります。

項目	説明
メールアドレス	IPメール送信元（送信者）のメールアドレスを設定します。 例：user@xxxxx.ne.jp　　（本製品が送信者となるための設定） 最大63文字入力可能です *※メール送信先は【IPアドレス通知】―【メール送信先アドレス】に設定します。* *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔'〕〔*〕〔/〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。*
SMTPサーバ（送信サーバ）	メール送信時に使用するSMTPサーバのアドレスを設定します。 例：smtp.xxxxx.ne.jp 最大63文字入力可能です。 *※SMTPサーバをドメイン名で指定する場合はDNSサーバの設定が必要です。* *※IPアドレスの場合、入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。* *※ホスト名の場合、半角英数字のみ使用できます。* *ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔'〕〔*〕〔/〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。*
POP before SMTP	SMTPサーバに対してPOP認証が必要なサーバを使用する場合は、有効に設定します。その場合は、以下の項目(POPサーバ、メールID、パスワード)を必ず設定してください。使用しない場合は、無効に設定します。
POPサーバ（受信サーバ）	使用するPOPサーバのアドレスを設定します。 例：pop.xxxxx.ne.jp 最大63文字入力可能です。 *※IPアドレスの場合、入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）、* *ホスト名の場合　smtp.xxxx.ne.jpとなります。* *※ドメイン名指定の場合、半角英数字のみ使用できます。* *ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔'〕〔*〕〔/〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。*
メールID	POPサーバの認証用IDを設定します。 例：user 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔'〕〔*〕〔/〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。*
パスワード	POPサーバの認証用パスワードを設定します。 例：password 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、〔スペース〕〔”〕〔#〕〔&〕〔'〕〔*〕〔/〕〔:〕〔<〕〔=〕〔>〕〔?〕〔¥〕〔|〕は使用できません。*

メールアドレスは必ずお間違えのないように入力してください。
また、必ず有効な実在するメールアドレスを入力してください。無効な実在しないメールアドレスを入力されるとエラーメールとして戻ってきた場合に、トラブルの原因になる可能性がありますので、ご注意ください。

FTP設定	
本製品で使用するFTPサーバの各種設定を行ないます。 FTP設定は、IPアドレス通知機能で使用するFTPサーバの設定です。FTPを利用した機能を使う時には、必ず設定が必要となります。	
FTPサーバ	ファイルを転送する転送先のFTPサーバのアドレスを設定します。 例：ftp.xxxxx.ne.jp 最大63文字入力可能です。 FTPサーバをドメイン名で指定する場合は、DNSサーバの設定が必要です。 *※IPアドレスの場合、入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）* *ホスト名の場合　ftp.xxxx.ne.jp　となります。* *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、［スペース］［”］［#］［&］［’］［*］［／］［:］［<］［=］［>］［?］［¥］［|］は使用できません。*
FTP ID	使用するFTPサーバにログインするためのFTP IDを設定します。 例：user 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、［スペース］［”］［#］［&］［’］［*］［／］［:］［<］［=］［>］［?］［¥］［|］は使用できません。*
FTPパスワード	FTPサーバにログインするためのパスワードを設定します。 例：password 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、［スペース］［”］［#］［’］［=］は使用できません。*

内蔵LAN設定

本製品に内蔵されている10BASE-Tインターフェイスについての設定を行います。

IPアドレス

◉ 固定IPアドレスを指定する

IPアドレス 192.168.0.150

サブネットマスク 255.255.255.0

○ DHCPクライアント機能を使用する

☐ E-mailによる通知

☐ FTPによる通知

デフォルトゲートウェイ

DNSサーバ

DNSプライマリ

DNSセカンダリ

IPアドレス

固定IPアドレスを指定する

固定されたIPアドレスやネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを使用する場合に選択します

項目	説明
IPアドレス	ご使用になる固定IPアドレスを設定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
サブネットマスク	ご使用になるサブネットマスクを設定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。* *注）0.0.0.0および255.255.255.255は不可*

DHCPクライアント機能を使用する

ネットワーク上にDHCPサーバ(ルータなど)があって、自動取得で使う場合に選択します。

項目	説明
E-mailによる通知	E-mailによる通知を使用される場合は、有効に設定してください。 *※通知先のメールアドレスは以下の画面で設定してください。* *［共通設定］→［IPアドレス通知］項目→［メール送信先アドレス］*
FTPによる通知	FTPによる通知を使用される場合は、有効に設定してください。 *※通知先のFTPサーバドレスは、［共通設定］の［FTP設定］にて設定し、転送先のディレクトリ名とファイル名は、［共通設定］の［IPアドレス通知設定］にて設定してください。*

デフォルトゲートウェイ

使用するデフォルトゲートウェイを設定します。
通常は、指定する必要があります。ただし、同一ネットワーク内(LAN)での使用の際は、指定しなくてもかまいません。
DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。

※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。
注）0.0.0.0および255.255.255.255は不可

DNSサーバ

項目	説明
DNSプライマリ DNSセカンダリ	本製品がドメイン名の参照を行なうDNSサーバを設定します。 メールサーバ（SMTP、POP）、FTPサーバをドメイン名で指定する場合など本製品がドメイン名参照を行う場合に設定が必要です。 DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。* *注）0.0.0.0および255.255.255.255は不可*

無線LAN設定

CFカードスロットに搭載したIEEE802.11b無線LANカードに関する設定を行います。

無線設定

WEP暗号化 無効

WEP Key

通信モード ○ Ad hoc ◉ Infrastructure

ESS-ID

チャネル番号 1

IPアドレス

◉ 固定IPアドレスを指定する

IPアドレス 192.168.1.2

サブネットマスク 255.255.255.0

○ DHCPクライアント機能を使用する

☐ E-mailによる通知

☐ FTPによる通知

デフォルトゲートウェイ

DNSサーバ

DNSプライマリ

DNSセカンダリ

<table>
<tr><th colspan="2">無線設定</th></tr>
<tr><td>WEP暗号化</td><td>無線LANの暗号化に関する設定を行います。
<無効>
WEPを使用しません。
<ASCII文字 64Bit>
64BitWEPキーをASCII文字5文字で設定する場合に設定します。
<ASCII文字128Bit>
128BitWEPキーをASCII文字13文字で設定する場合に設定します。
<16進数 64Bit>
64BitWEPキーを16進数10桁で設定する場合に設定します。
<16進数 128Bit>
128BitWEPキーを16進数26桁で設定する場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>WEP Key</td><td>WEP暗号化で選択したモードに合わせて、キーワードを入力します。
<ASCII文字 64Bit>
ASCII文字5文字のキーワードを指定します。
例） broad
<ASCII文字 128Bit>
ASCII文字13文字のキーワードを指定します。
※ 接続する無線LANカードによっては、128BitWEPを使用できないものもあります。
本製品は、そのチェックは行いません。
例） broadstreamrt
<16進数 64Bit>
16進数 10桁のキーワードを指定します。
例） 10A0B3A0FE
<16進数 128Bit>
16進数 26桁のキーワードを指定します。
※ 接続する無線LANカードによっては、128BitWEPを使用できないものもあります。
本製品は、そのチェックは行いません。
例） 10A0B3A0FE8D3EDFAC346E3C8E</td></tr>
<tr><td>通信モード</td><td>Ad hoc（アドホックモード）：
無線LANカードなどと1対1で直接通信する場合に設定します。
Infrastructure（インフラストラクチャモード）：
設置された無線アクセスポイントに対して接続する場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>ESS-ID
（SS ID）</td><td>インフラストラクチャモードの場合
使用する無線LANアクセスポイントと同じESS-IDを設定します。
アドホックモードの場合
ESS-IDは無効です。設定の必要はありません。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、[スペース][”][#][&][’][*][/][:][<][=][>][?][¥][|]は使用できません。</td></tr>
<tr><td>チャネル番号</td><td>チャンネル設定は、アドホックモードでのみ使用します。
通信する相手と同一のチャンネル番号を設定する必要があります。
インフラストラクチャモードでは、設定の必要はありません。自動設定されます。</td></tr>
</table>

IPアドレス	
固定IPアドレスを指定する *固定されたIPアドレスやネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを使用する場合に選択します。*	
IPアドレス	ご使用になる固定IPアドレスを設定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
サブネットマスク	ご使用になるサブネットマスクを設定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
DHCPクライアント機能を使用する *ネットワーク上にDHCPサーバ(ルータなど)があって、自動取得で使う場合に選択します。*	
E-mailによる通知	E-mailによる通知を使用される場合は、有効に設定してください。 *※通知先のメールアドレスは以下の画面で設定してください。* *［共通設定］→［IPアドレス通知］項目→［メール送信先アドレス］*
FTPによる通知	FTPによる通知を使用される場合は、有効に設定してください。 *※通知先のFTPサーバドレスは、［共通設定］の［FTP設定］にて設定し、転送先のディレクトリ名とファイル名は、［共通設定］の［IPアドレス通知設定］にて設定してください。*
デファオルトゲートウェイ	
使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 通常は、指定する必要があります。ただし、同一ネットワーク内(LAN)でのご使用の際は、指定しなくてもかまいません。 DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*	
DNSサーバ	
DNSプライマリ DNSセカンダリ	本製品がドメイン名の参照を行うDNSサーバを設定します。 メールサーバ(SMTP、POP)、FTPサーバをドメイン名で指定する場合などTSR-MS4Rがドメイン名参照を行う場合に設定が必要です。 DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*

- **無線 LAN カードの製品によっては、[WEP Key]を 16 進数で入力するタイプと、入力された文字列から自動的に生成するタイプとがあります。この[WEP Key]に同じ値が入力されれば、異なるメーカーの機器同士でも相互に接続できますが、これらの設定がうまくいかないと接続できません。**
- **内蔵 LAN を無線 LAN と同時に使用する場合で、かつ両方に固定 IP アドレスを設定する場合、異なるネットワークに属している IP アドレスを使用してください。**
  例） 有線：192.168.0.150
  無線：192.168.1.150
- **内蔵 LAN と無線 LAN の両方で、同時に DHCP による IP アドレス自動取得を使用することはできません。**

WEP の設定について

無線通信の暗号化に関する設定を行ないます。

無線 LAN カードは、無線 LAN 上を流れるデータのプライバシーを守るために、秘密鍵方式の暗号化アルゴリズムを用いた「WEP」という認証を暗号化によるセキュリティシステムを備えています。WEP の設定には[WEP 暗号化]設定および[WEP Key]設定があります。

PPPoE設定

ADSLモデムなどに直接つないで、PPPoE接続をするための設定を行います。

PPPoE

○ 使用する

PPPoE ID

パスワード

◉ 使用しない

IPアドレス

○ 固定IPアドレスを指定する

IPアドレス

◉ IPアドレスを自動的に割り当てる

☐ E-mailによる通知

☐ FTPによる通知

DNSサーバ

DNSプライマリ

DNSセカンダリ

<table>
<tr><td colspan="3">PPPoE</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">[使用する]に設定すると、本製品の起動時にPPPoE接続を行います。
[使用しない]に設定すると、本製品の起動時にPPPoE接続を行いません。</td></tr>
<tr><td></td><td>PPPoE ID</td><td>PPPoE認証で使用するPPPoE IDを設定します。
※NTTのフレッツシリーズの場合は＠マーク以降も入力します。
例：user@xxxx.ne.jp
最大31文字入力可能です。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、[スペース][”][#][&][’][*][／][:][<][=][>][?][¥][|]は使用できません。</td></tr>
<tr><td></td><td>パスワード</td><td>PPPoE認証で使用するパスワードを設定します。
例：password
最大31文字入力可能です。
※半角英数字のみ使用できます。
ただし、[スペース][”][#][&][’][*][／][:][<][=][>][?][¥][|]は使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">IPアドレス</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">固定IPアドレスを指定する
固定されたIPアドレスやネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを使用する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td>IPアドレス</td><td>ご使用になる固定IPアドレスを設定してください。
※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">IPアドレスを自動的に割り当てる
インターネットプロバイダからIPアドレスを自動で取得する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td>E-mailによる通知</td><td>E-mailによる通知を使用される場合は、チェックを入れてください。
※通知先のメールアドレスは以下の画面で設定してください。
［共通設定］→［IPアドレス通知］項目→［メール送信先アドレス］</td></tr>
<tr><td></td><td>FTPによる通知</td><td>FTPによる通知を使用される場合は、チェックを入れてください
※通知先のFTPサーバドレスは、［共通設定］の［FTP設定］にて設定し、転送先のディレクトリ名とファイル名は、［共通設定］の［IPアドレス通知設定］にて設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">DNSサーバ</td></tr>
<tr><td></td><td>DNSプライマリ
DNSセカンダリ</td><td>本製品がドメイン名の参照を行うDNSサーバを設定します。
メールサーバ(SMTP、POP)、FTPサーバをドメイン名で指定する場合などTSR-MS4Rがドメイン名参照を行う場合に設定が必要です。
DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。
※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。</td></tr>
</table>

PPP設定

PPP接続を行う際の、CFカードスロットに搭載したPHSカードに関する設定を行います。
大きく分けて、発信設定、IPアドレス設定、着信設定の3つがあります。

発信機能

電話番号

PPP ID

パスワード

IPアドレス

○ 固定IPアドレスを指定する

IPアドレス

サブネットマスク

◉ IPアドレスを自動的に割り当てる

DNSサーバ

DNSプライマリ

DNSセカンダリ

着信機能

PPP受信IPアドレス

PPPクライアントIPアドレス

発信者番号制限　○有効　◉無効

着信許可番号

発信機能

本設定を有効にすることで、PPP発信接続が使用可能となります。AirH"などを利用する場合に設定が必要です。
有効にして対応のPHS CFカードを、CFスロットに取り付けて動作させた場合、ユーザーからの接続要求にしたがってPPP発信動作します。
以下のすべての項目の設定を行う必要があります。

項目	説明
電話番号	PPP発信による接続先の電話番号を設定します。 PPPによる発信は、この電話番号に対して行われます。 *※0～9、[#][*]のみ使用可能です。* *※最大31桁入力可能です。* *※ハイフン[-]を使用せずに数字を続けて入力してください。* 例：0123-456-789　→　0123456789
PPP ID	PPP発信時の接続先サーバに対する認証用のPPP IDを設定します 例：user 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、[スペース]["][#][&]['][*][/][:][<][=][>][?][¥][|]は使用できません。*
パスワード	PPP発信時の接続先サーバに対する認証用のパスワードを設定します 例：password 最大31文字入力可能です。 *※半角英数字のみ使用できます。* *ただし、[スペース]["][#][&]['][*][/][:][<][=][>][?][¥][|]は使用できません。*

IPアドレス	
「固定IPアドレスを指定する」 固定IPアドレスを選択した場合、固定IPアドレスおよびサブネットマスクの設定が必要です。 【内蔵LAN設定】（169ページ）のIPアドレスとは異なるIPアドレスを指定してください。 「IPアドレスを自動的に割り当てる」 PPP接続先（インターネットプロバイダ）からIPアドレスを自動取得する場合に選択します。	
IPアドレス	ご使用になられる固定IPアドレスを指定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
サブネットマスク	ご使用になるサブネットマスクを指定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
DNSサーバ	
DNSプライマリ DNSセカンダリ	本製品がドメイン名の参照を行うDNSサーバを設定します。 メールサーバ(SMTP、POP)、FTPサーバをドメイン名で指定する場合などTSR-MS4Rがドメイン名参照を行う場合に設定が必要です。 DHCPクライアント機能使用時は、自動的に設定されます。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
着信機能	
本製品に対して発信してきた機器（クライアント機器）に関する設定を行ないます。	
PPP受信 IPアドレス	PPP着信時の本製品に割り振るIPアドレスを設定します。 ここでは【内蔵LAN設定】（169ページ）とは異なるネットワークのIPアドレスを設定してください。 *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
PPPクライアントIPアドレス	本製品に対して発信してきた機器（クライアント機器）へ割り振るIPアドレスを設定します。 この設定により、クライアント機器に自動的に1つのIPアドレスを割り振ることができます。 （リモートアクセスサーバ機能） *※入力形式はxxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255）となります。*
発信者番号制限 （有効/無効）	着信時に通知される発信者番号による制限を行うかどうかを設定します。 有効にすることで、着信許可番号に登録された番号のみ着信を許可します。 〈有効〉 発信者番号制限を有効にします。 〈無効〉 発信者番号制限を無効にします。 ＜着信許可番号＞ 発信者番号制限を有効にした場合、着信を許可する番号を設定します。 着信許可番号は、最大5件まで登録が可能です。 1件辺り最大31桁入力可能です。 ※〔0～9〕〔#〕〔*〕のみ使用可能です。 ※ ハイフン〔-〕を使用せず入力してください。

ダイナミックDNS

本製品は、動的なIPアドレス下でも、インターネット側から、固定のドメイン名でアクセスが可能となるダイナミックDNSサービス「iobb.net」に対応しています。
本機能を設定することにより、いつでもインターネット側からアクセス可能になります。

DDNSサービス	○ 使用する ◉ 使用しない
ホスト名	[ ] .iobb.net
シリアル番号	[ ]
パスワード	[ ]
サーバへのアクセス頻度	60 分

DDNSサービス

DDNSサービスの使用に関する設定を行います。
〈使用する〉
ダイナミックDNS更新機能を有効にします。
〈使用しない〉
ダイナミックDNS更新機能を無効にします。

ホスト名

登録したホスト名を設定します。
※3文字から16文字入力可能

シリアル番号

登録した本製品のシリアル番号を設定します。（ユーザーIDに相当します。）
※12文字指定

パスワード

登録したパスワードを設定します。
※8文字から20文字入力可能

サーバへのアクセス頻度

サーバへのアクセス頻度を設定します。（10～60分）
※サーバ負荷が大きくなるため、必要以上に短い時間設定は避けてください。

システム設定

「システム設定」には右の詳細項目があります。
「システム設定」の各ボタンをクリックすると、
各詳細画面に移行します。

［システム設定］ サブメニュー項目	設定内容
時刻設定	本製品の時刻を設定することができます。
アクセス制限	本製品に対するアクセス制限を設定することができます。
ユーザー管理	本製品のアクセス制限機能に関するユーザーIDや、パスワードの設定を行なうことができます。
再起動	本製品の再起動を行なうことができます。

時刻設定

本製品の内部タイマーの日付と時刻を設定することができます。
〔年〕〔月〕〔日〕および〔時〕〔分〕〔秒〕の値をそれぞれ入力します。

現在時刻

2003 年 11 月 28 日 12 時 30 分 27 秒

2003	年	11	月	28	日
12	時	30	分	27	秒

- **テキスト入力フィールドには、すべて半角数字で入力してください。**
  また、「年」は西暦の 2000～2035 を、「時」は 24 時間表記での時刻を入力してください。
- **現在時刻は、【時刻設定】画面を表示した時点での時刻になります。**
  現在時刻表示の更新は、自動では行なわれません。

アクセス制限

【アクセス制限】画面では、本製品に対するアクセス制限を設定することができます。

動画配信・静止画表示アクセス制限　◯ 有効　◉ 無効

動画配信最大セッション数　5 セッション

動画配信・静止画表示	
動画配信・静止画表示アクセス制限：動画および静止画の配信において、ユーザーIDとパスワードによる認証を行なうかどうかの設定です。	
アクセス制限	*有効：* 動画配信・静止画表示において、ユーザーIDとパスワードによる認証制限を有効にします。 *無効：*動画配信・静止画表示において、特に制限をかけません。
動画配信最大セッション数	動画配信（リアルタイム動画・メモリカード動画）の最大同時配信数の設定です。設定値を超えての接続はできません。 最大5セッション（アクセス）まで設定できます。

RTP 配信においてアクセス制限を行うと、QuickTime Player や pvPlayer での配信はできなくなります。

「セッション」とは

本製品とブラウザ（Windows Media Player）間において動画データをやりとりするためのネットワーク接続のことで、互いの接続が確立してから切断されるまでの間に 1 つのセッションを必要とします。例えば 5 台の PC（5 つの Windows Media Player）で動画を閲覧しているとき、セッション数は「5」となります。
セッション数の設定はリアルタイム配信、ファイル動画配信のみ有効です。

ユーザー管理

本製品は、各種アクセスに対して特定ユーザーのみアクセスを許可するためのアクセス制限機能を持っています。

本機能は、ユーザーIDとパスワードの認証により行なわれます。
次の操作について、認証画面を表示させることでアクセス制限を行ないます。

- *画像閲覧操作（リアルタイム動画、ファイル動画、静止画の各種閲覧操作）*
- *各種設定操作（設定画面）*
- *FTPファイルアクセス操作*
- *再起動操作*
- *ファームウェア更新操作*

新規ユーザー登録

ユーザーID
パスワード
パスワード(確認)
権限レベル　レベル 1
PPP着信　許可する　許可しない

追加

登録ユーザー一覧

ユーザーID	パスワード(確認)	権限レベル	PPP着信	操作	
admin		レベル 3	許可しない	変更	削除

アクセス制限は、ユーザーID・パスワードおよびユーザーレベルにて管理されております。認証されたユーザーIDに設定されたレベルまでの操作しか行なうことができません。

各ユーザーレベル（レベル1～レベル3）の操作権限について

操作内容	レベル1	レベル2	レベル3
画像閲覧操作	○	○	○
各種設定操作	×	○	○
FTPファイルアクセス操作	×	○	○
再起動操作	×	×	○
ファームウェア更新操作	×	×	○

○：操作可能　×：操作不可

画像閲覧、各種設定、FTPファイルアクセス、再起動、ファームウェア更新の各種設定は、必ずユーザーIDをパスワードによる認証が必要となります。ただし、画像閲覧操作のみは認証を必要としない設定にすることも可能です。その場合、ユーザー登録されていない方であっても、映像の閲覧のみ可能となります。（【アクセス制限】画面（183ページ）で画像閲覧操作時のユーザー認証の有無を設定します。）

・***発信番号通知によるPPP着信制限機能（PPP接続の場合）***

本製品は、このユーザー認証によるアクセス制限とは別に、PPP接続時に電話番号通知機能を利用し、モデムカードに対するPPP着信時に、発信番号通知による着信（アクセス）を制限する機能があります。これはPPP接続を許可する電話番号を本製品に着信許可番号として登録しておき、本製品にPPP着信があった時に発信元の電話番号と着信許可番号を照合して、一致すれば接続の許可をする機能です。本機能は、【PPP設定】画面（177ページ）で設定を行ないます。
この機能とユーザーIDによる認証機能は全く別の機能であるため、各操作に対する認証は【ユーザー認証】画面で別途必要となります。

IDについて

次の、3つのIDにつきましては、それぞれに異なるIDを設定してください。

ユーザーID：本製品のweb画面にアクセスするための認証用IDです。
PPP ID：PPP発信時の接続先サーバに対する認証で使用するIDです。
PPPoE ID：PPPoE接続時の接続先サーバに対する認証で使用するIDです。

ユーザーの登録を行なう

新規に、ユーザーの登録を行ないます。

1 以下の[新規ユーザー登録]画面の各項目の入力、選択を行ない、[追加]ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
ユーザーID	ユーザーID：本製品にアクセスするためのIDです。 半角英数字、記号を組み合わせた4～8文字の任意のID（※1）で登録ができます。
パスワード	本製品にアクセスするためのパスワードです。 半角英数字、記号を組み合わせた4～8文字の任意のパスワード（※2）が設定できます。
パスワード（確認）	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
権限レベル	ユーザーの権限レベルを選択します。 それぞれのレベルについての詳細は、【各ユーザーレベル（レベル1～レベル3）の操作権限について】（前ページ）を参照してください。
PPP着信	このユーザーのPPP着信を許可するかどうかを選択します。

・（※1）以下の記号は使用できません。
「”」、「#」、「&」、「’」、「*」、「/」、「:」、「<」、「=」、「>」、「?」、「¥」、「|」
・（※2）以下の記号は使用できません。
「”」、「#」、「’」、「=」

注意！

初期出荷状態のユーザーID「admin」はパスワードなしで登録されていますが、通常、パスワードのないユーザーの登録は許可しておりません。必ず、パスワードの入力を行なってください。

2 ［OK］ボタンをクリックします。

パスワードは、同じ長さの「*」に置き換えて表示を行ないます。

3 以下の画面が表示され、設定が終了します。
［OK］ボタンをクリックすると、【ユーザー管理】画面に戻ります。

ユーザーを追加しました

本製品に登録できるのは最大で 20 ユーザーまでです。20 ユーザーを超えての登録はできません。

ユーザーを削除する

登録されているユーザーを削除します。

1 登録ユーザー一覧の中から、削除を行なうユーザーの[削除]ボタンをクリックします。

登録ユーザー一覧

ユーザーID	パスワード（確認）	権限レベル	PPP着信	操作	
admin		レベル 3	許可しない	変更	
user1	***** *****	レベル 1	許可しない	変更	削除

クリック

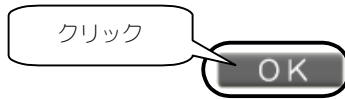
注意！

本製品には、管理者として最低 1 人以上のレベル 3 ユーザーの登録が必要です。
レベル 3 ユーザーが 1 人だけしか登録されていない場合、そのユーザーを削除することはできません。

2 ［OK］ボタンをクリックします。

ユーザーを削除します

3 以下の画面が表示され、設定が終了します。
[OK]ボタンをクリックすると、【ユーザー管理】画面に戻ります。

ユーザーを削除しました

ユーザーの登録情報を変更する

すでに登録されているユーザーの登録情報を編集します。

1 登録ユーザー一覧の中から、情報を変更したいユーザーの各項目について入力、選択を行ない、[変更]ボタンをクリックします。

user1 の[権限レベル]を変更しようとしている例

登録ユーザー一覧

ユーザーID	パスワード（確認）	権限レベル	PPP着信	操作	
admin		レベル 3	許可しない	変更	削除
user1	***** *****	レベル 2	許可しない	変更	削除

本製品には、管理者として最低 1 人以上のレベル 3 ユーザーの登録が必要です。レベル 3 ユーザーが 1 人だけしか登録されていない場合、そのユーザーの権限レベルを変更することはできません。

2 [OK]ボタンをクリックします。

登録情報を変更します

3 以下の画面が表示され、設定が終了します。
[OK]ボタンをクリックすると、【ユーザー管理】画面に戻ります。

登録情報を変更しました

再起動

［再起動］では、本製品の再起動することができます。

設定操作はレベル 2 以上のユーザーであれば実行できますが、再起動操作にはレベル 3 の権限が必要です。

1. ［再起動］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。
   ［OK］ボタンをクリックします。

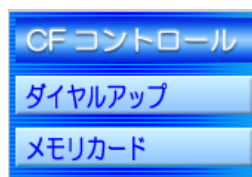
システム を再起動します

2. 再起動に約90秒かかります。

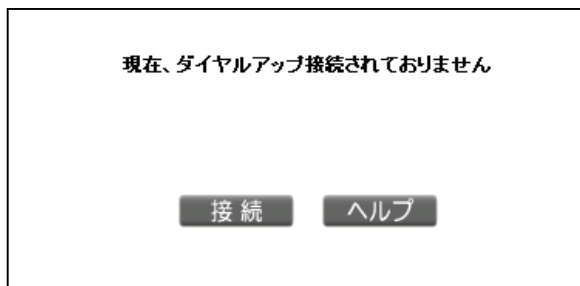
3. 再起動後、本製品に再度接続（Web設定画面を再度開く）してください。

CFコントロール

「CFコントロール」には右の詳細項目があります。
「CFコントロール」の各ボタンをクリックすると、
各詳細画面に移行します。

CF コントロール
ダイヤルアップ
メモリカード

［CFコントロール］ サブメニュー項目	設定内容
ダイヤルアップ	CFカードスロットに挿入されたPHSカードのダイヤルアップ操作することができます。 対応したPHSカードが挿入されている場合のみ、設定できます。
メモリカード	本製品のCFカードスロットに挿入されたCFメモリカードを操作することができます。 CFメモリカードが挿入されている場合のみ、設定できます。

ダイヤルアップ

［ダイヤルアップ］では、CFカードスロットに挿入されたPHSカードのダイヤルアップ操作することができます。
対応したPHSカードが挿入されている場合のみ、設定できます。

［接続］ボタン	PPP設定の発信機能にしたがって、ダイヤルアップされます。 ※接続中は［切断］ボタンに変わります。 接続、切断操作については、63ページを参照してください。

メモリカード

CFカードスロットに挿入されたCFメモリカードを操作することができます。
CFメモリカードが挿入されている場合のみ、設定できます
※ 未フォーマットやFAT以外のファイルシステムのCFメモリカードを挿入した場合は、
フォーマット確認画面が表示されます。
フォーマット完了後、CFメモリカード操作がご利用になります。

動画ファイル一覧

記録されていません

総容量	ファイル合計	空き容量
488.0M Byte	232.0k Byte	487.7M Byte

CFメモリーカードフォーマット	実行

マウント解除	実行

メモリカード動画　ヘルプ

動画ファイル一覧

記録されている動画(ASFファイル)が一覧表示されます。
動画の再生および削除の操作が行えます。

[再生]ボタン
　Windows Media Playerが起動し、動画ファイルが再生されます。
[削除]ボタン
　動画(ASFファイル)が、CFメモリカードから削除されます。
　削除前に、ファイル削除確認が表示されます。
[記録されていません>]
　CFメモリスロット内に対応した動画がありません。

CFメモリカードの容量

現在CFカードスロットに挿入されているCFメモリカードの、総容量、ファイル合計（使用容量）、空き容量（総容量－ファイル合計）をそれぞれ表示します。

CFメモリカードのフォーマット

CFメモリカードを、本製品で使用できるファイルシステムにフォーマットします。または、CFメモリカードの中身をフォーマットします。
※フォーマット形式はFATですので、他のデジタルカメラやパソコンでそのままご使用になれます。

CF メモリカードが挿入されていない場合は、以下が表示されます。

コンパクトフラッシュスロットに
メモリーカードが挿入されていません

CF メモリカードが正常に挿入されていれば、設定メニューの[機器情報]の[コンパクトフラッシュスロット]欄に[Flash Memory Card]と表示されます。

動画ファイル一覧

CFメモリカードに記録されている動画(ASF)ファイルの一覧表示を行ない、再生操作、および削除操作を行ないます。

再生する

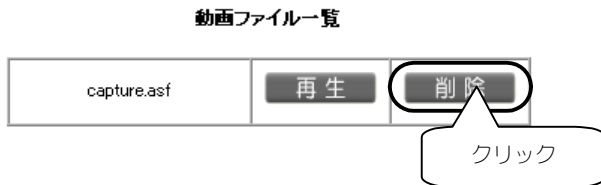
1 [動画ファイル一覧]の中から、再生を行ないたいASFファイルの[再生]ボタンをクリックします。

動画ファイル一覧

2 Windows Media Playerが起動し、動画ファイルが再生されます。

削除する

1 [動画ファイル一覧]の中から、削除を行ないたいASFファイルの[削除]ボタンをクリックします。

動画ファイル一覧

2 [OK]ボタンをクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックすると、【ユーザー管理】画面に戻ります。

CFカードをフォーマットする

CFメモリカードのフォーマット操作を行ないます。

フォーマットを行うと、CF カードに記録されているデータはすべて消去されます。

次の処理が中断される可能性があります。ご注意ください。

・ファイル動画配信

・クライアント側から、本製品（FTP サーバ）への FTP 接続

1 ［CFメモリカードフォーマット］の［実行］ボタンをクリックします。

2 ［OK］ボタンをクリックします。

メモリーカードをフォーマットします
実行中の処理が中断される場合があります
実行しますか？

3 以下の画面が表示されればフォーマット完了です。
［OK］ボタンをクリックします。

フォーマットが完了しました

- **本製品では、ファイルシステムに FAT ファイルシステムを採用しています。**
- **未フォーマット、もしくは本製品が対応していないファイルシステムの CF メモリカードを CF スロットに挿入した状態で［CF メモリカード］ボタンをクリックすると、操作画面ではなく、［CF メモリカードフォーマット確認］画面が表示されます。**

CFメモリカードのマウントを解除する

CFメモリカードに対し、ファイルシステムのマウント解除操作を行ないます。マウント解除操作を行なうことにより、CFメモリカードへのアクセスが行なわれなくなり、安全に本製品から取り外すことができるようになります。

- **CF メモリカードの取り外しを行なう時は、必ず CF メモリカード操作の「マウント解除」を行なってください。**
- **マウント解除を行なわずに CF メモリカードの取り外しを行った場合、CF メモリカード内のデータが破損する恐れがあります。**

次の処理が中断される可能性があります。ご注意ください。

ファイル動画配信

クライアント側から、本製品（FTP サーバ）への FTP 接続

1 ［マウント解除］の［実行］ボタンをクリックします。

2 ［OK］ボタンをクリックします。

メモリーカードのマウントを解除します
実行中の処理が中断される場合があります
実行しますか？

3 以下の画面が表示されればマウント解除の完了です。
［OK］ボタンをクリックします。

マウントを解除しました

機器情報

本製品のシステム情報の表示です。

機器情報

時刻	2003 年 11 月 28 日 12 時 31 分 57 秒
機器名称	I-O DATA TSR-MS4R
カメラタイトル	
ファームウェアバージョン	1.0.0
MACアドレス	00A0B0010203
ホスト名	TSR-MS4R
IPアドレス【内蔵LAN】	192.168.0.150 / 255.255.255.0
IPアドレス【無線LAN】	
IPアドレス【PPP/PPPoE】	
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
DNSプライマリ	192.168.0.1
DNSセカンダリ	
コンパクトフラッシュスロット	使用していません
異常発生状況	異常なし

【機器情報参照】画面

情報項目	情報内容
時刻	現在時刻を表示します。
機器名称	製品名、および型番です。
カメラタイトル	本製品に設定されているカメラタイトルです。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェア（ソフトウェア）バージョンです。
MACアドレス	本製品内蔵LANポートのMACアドレスです。
ホスト名	本製品に設定されているホスト名です。
IPアドレス【内蔵LAN】	本製品内蔵LANポートに現在設定されているIPアドレス、およびサブネットマスクを表示します。
IPアドレス【無線LAN】	本製品のCFスロットに搭載された無線LANに設定されているIPアドレスおよびサブネットマスクを表示します。
IPアドレス【PPP/PPPoE】	PPPoEやPPP（AirH"など）接続時のIPアドレスおよびサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	本製品に設定されているデフォルトゲートウェイです。
DNSプライマリ	本製品に設定されているプライマリDNSアドレスです。
DNSセカンダリ	本製品に設定されているセカンダリDNSアドレスです。
コンパクトフラッシュスロット	現在認識しているCFカードの種別が表示されます。 ［Flash Memory Card／PHS Card／IEEE802.11b Card］
異常発生状況	エラーの発生状態が表示されます。 表示メッセージは145ページを参照してください。

付録3

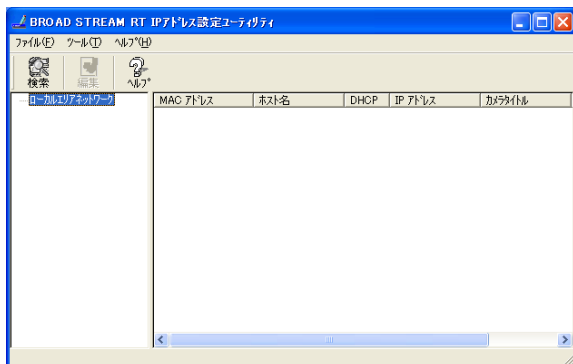
IPアドレス設定ユーティリティの詳細

ここでは、添付のIPアドレス設定ユーティリティの詳細について説明します。

※IPアドレス設定ユーティリティはWindows用です。

IPアドレス設定ユーティリティの対応OS

対応 OS （日本語版）	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me Windows 98 SE

IPアドレス設定ユーティリティについて

「IPアドレス設定ユーティリティ」には、主に以下の3つの機能があります。

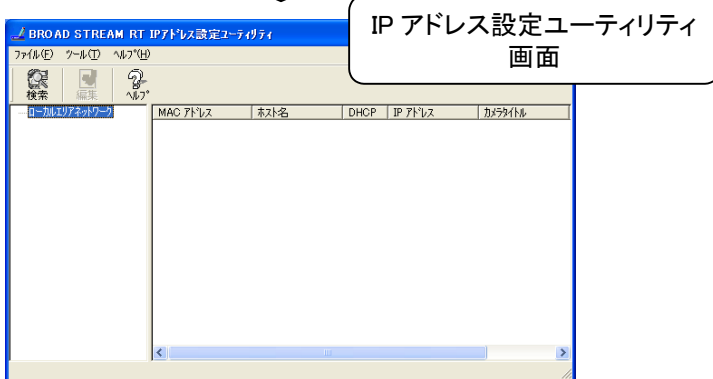
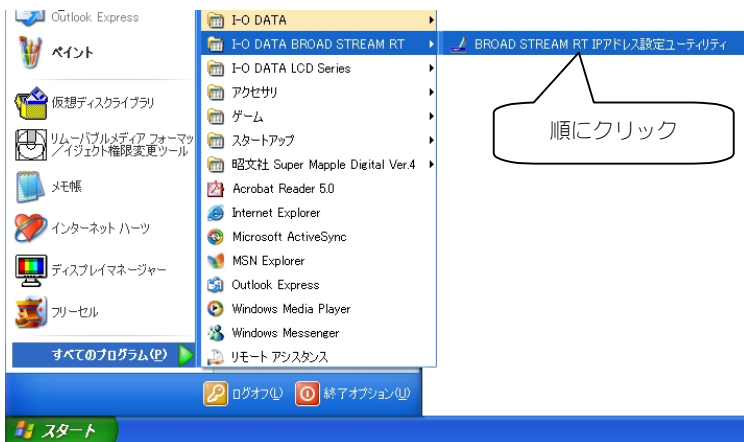
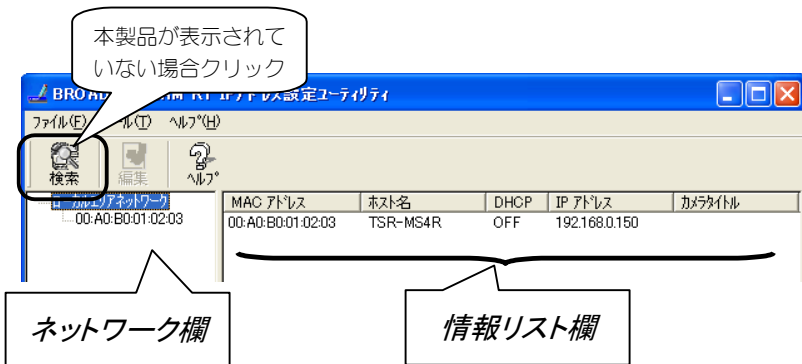
検索機能	同じネットワーク（同じクラス・同じセグメント）内に存在する本製品を検索します。
編集機能	検索結果から検出された本製品に対して各種設定項目を編集／設定することができます。
Webブラウザ機能	検索結果から検出された本製品の設定画面（Webページ）を表示させることができます。

・[IP アドレス設定ユーティリティ]で検出し、設定できるのは、内蔵 LAN に設定された IP アドレスだけです。CF カードスロットに搭載した無線 LAN カード等の IP アドレスは検出できません。内蔵 LAN 接続以外の接続方法（PPP、無線 LAN、PPPoE 接続）の IP アドレスの設定は、web 上の『TSR-MS4R』の【ネットワーク設定】画面から行います。

・[IP アドレス設定ユーティリティ]は、ルータを経由したような異なるネットワークに設置された本製品を検出することはできません。

IPアドレス設定ユーティリティを起動する

[IPアドレス設定ユーティリティ]を起動します。

1 [スタート]→[プログラム]*(または[すべてのプログラム])*→[I-O DATA BROAD STREAM RT]→[BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]を順にクリックします。
→[BROAD STREAM IPアドレス設定ユーティリティ]画面が表示されます。

2 [情報リスト]欄の本製品が表示されます。
表示されていない場合は、[検索]をクリックします。
→本製品が表示されます。

・同一ネットワーク内に本製品が複数台設置されている場合、検索結果から目的の本製品を選択するには、各本製品に固有の MAC アドレスを元に選択します。
本製品をネットワークに設置する前に、あらかじめ本体下部に貼られたシールラベルに記載された MAC アドレスをお手元にお控えください。
・[IP アドレス設定ユーティリティ]で検出し、設定できるのは、内蔵 LAN に設定された IP アドレスだけです。CF カードスロットに搭載した無線 LAN カード等の IP アドレスは検出できません。内蔵 LAN 接続以外の接続方法(PPP、無線 LAN、PPPoE 接続)の IP アドレスの設定は、Web 上の『TSR-MS4 ページ』の【ネットワーク設定】画面から行ってください。
・[IP アドレス設定ユーティリティ]は、ルータを経由するような異なるネットワークに設置された本製品を検出することはできません。

【情報リスト】画面に表示される[DHCP]欄には、下記条件に従って表示されます。

ON 「DHCPクライアント機能を使用する」を選択した場合
OFF 「固定IPアドレスを指定する」を選択した場合

[IPアドレス設定ユーティリティ]画面から以下を行うことができます。

IPアドレスの編集	検索結果から検出された本製品のIPアドレスなどを編集/設定することができます。	次ページ参照
Webブラウザ設定画面の起動	検索結果から検出された本製品の設定画面(Webページ)を表示させることができます。	212ページ参照

参考:IPアドレス設定ユーティリティが使えない場合・・

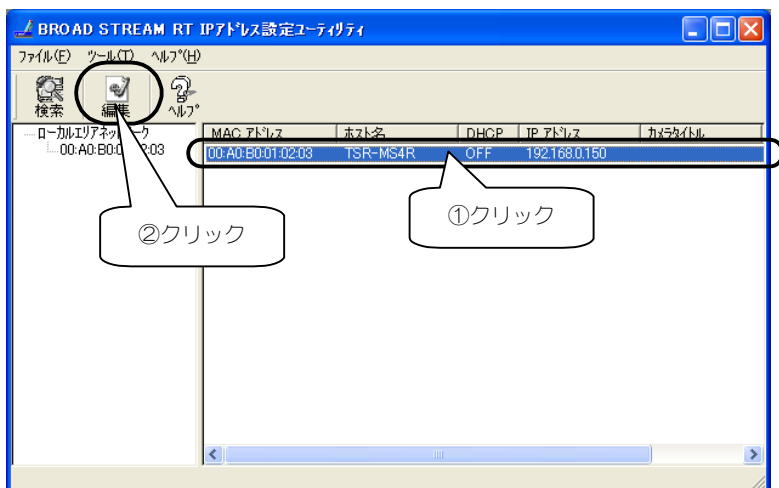
本製品が異なるネットワークに接続されている場合など、IPアドレス設定ユーティリティが使えない環境では、DHCPクライアント機能により、DHCPサーバから本製品が自動的に取得したIPアドレスを知る方法がありません。そこで本製品には、自動取得したIPアドレスをメールやFTPにより、ユーザーにお知らせする「IPアドレス通知機能」があります。

■*IPアドレス通知機能*

メール通知	DHCPにより、本製品のIPアドレスが変更された場合、本製品が新しく自動取得したIPアドレスをメールに記述し、送信します。
FTP転送	DHCPにより、本製品のIPアドレスが変更された場合、本製品が新しく自動取得したIPアドレスを記述したリンクファイルを、自動的にご指定のFTPサーバへFTP転送します。

IPアドレスを設定する

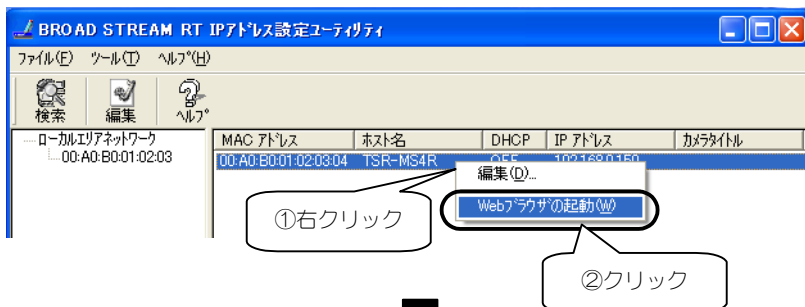
［IPアドレス設定ユーティリティ］を使って、本製品のIPアドレスを設定します。

1 ［情報リスト］欄の本製品をクリック後、［編集］ボタンをクリックします。

2 ネットワークに応じた設定を行います。（次ページ表参照）
設定後、［設定］ボタンで本製品に設定されます。

設定項目	設定内容
MACアドレス	編集した本製品に設定されている固有のMACアドレスです。 *※変更することはできません。*
IPアドレス ・固定IPアドレス ・DHCP機能 サブネットマスク	選択した本製品のIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。 ネットワークに応じた設定を行ってください。 *・ネットワーク内にDHCPサーバがあり、本製品をDHCPクライアントとしてご利用になる場合* →[DHCPクライアント機能を仕様する]をチェック *※DHCPサーバより、本製品のIPアドレス、サブネットマスクが割り当てられます。* *・固定のIPアドレスでご利用になる場合* →[固定IPアドレスを設定する]をチェック [IPアドレス][サブネットマスク]を入力 ※ネットワーク内の他の本製品、他のIP機器と重複しないように設定してください。 ※IPアドレスには以下の値を設定することはできません。 ・0.0.0.0 ・255.255.255.255（ブロードキャスト） ・244.0.0.0.0～239.255.255.255（マルチキャスト）
ホスト名	本製品を識別するためのホスト名を編集・設定できます。 *※最大63文字の半角英数字が設定できます* 他の本製品とは重複しないようにしてください。 必要な場合はプロバイダまたはネットワーク管理者からホスト名を入手し、入力してください。
カメラタイトル	本製品に名前を付けることができます。 本製品を使用目的別、または利用者別に容易に識別できる名前やタイトルを編集・設定できます。 カメラタイトルには、最大31文字の半角英数字が設定可能です。
認証 ・ユーザーID ・パスワード	本製品にアクセス認証を行うためのユーザーID、パスワードを入力できます。（初期値： ID admin パスワード 空白（なし）） *※半角英数字のみ入力できます。* ユーティリティと本製品との間の通信ではデータの暗号化は行いません。ご了承ください。 編集した内容を設定するには、必ずユーザーIDとパスワードが必要です。 *・[タイピング表示]をチェックした場合* 入力した文字が画面上に表示されますので、入力内容を確認できます。 *・[タイピング表示]をチェックしない場合* 入力した文字は＊で画面上に表示されます。
設定	編集した内容を本製品に設定するためのボタンです。 設定後自動的に本製品が再起動いたします。
キャンセル＜×＞	編集した内容を取り消すためのボタンです。
ヘルプ＜？＞	ヘルプ画面を表示させるためのボタンです。

IPアドレス設定ユーティリティから Web設定画面を起動する

［IPアドレス設定ユーティリティ］からWeb設定画面を起動します。

1 本製品を右クリック後、［Webブラウザの起動］をクリックします。
→Web設定画面が表示されます。

ユーティリティを削除する

インストールしたユーティリティが不要となった場合などの削除手順について説明します。

1 [コントロールパネル]内の[アプリケーションの追加と削除]を起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]内の[プログラムの追加と削除]をクリックまたはダブルクリックします。

・Windows 2000/Me/98の場合

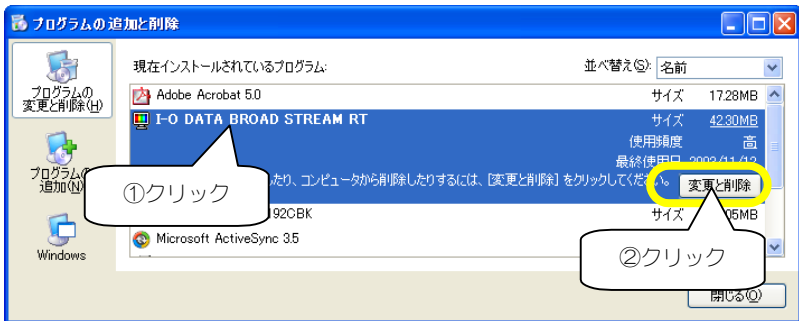
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 [I-O DATA BROAD STREAM RT]を削除します。

・Windows XP/2000の場合

[I-O DATA BROAD STREAM RT]をクリック後、[変更と削除]ボタン(または[変更/削除]ボタン)をクリックします。

・Windows Me/98の場合

[I-O DATA BROAD STREAM RT]をクリック後、[追加と削除]ボタンをクリックします。

後は画面の指示にしたがって[I-O DATA BROAD STREAM RT]を削除してください。

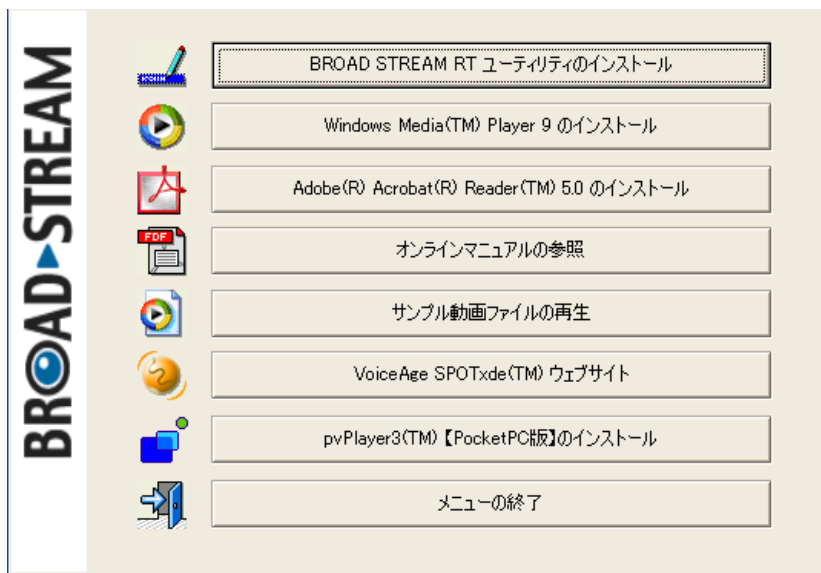
付録4

添付のCD-ROMについて

ここでは、添付のCD-ROMについて説明します。

※添付のCD-ROMはWindows用です。

CD-ROMの内容一覧

添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、以下のメニューが表示されます。

メニューボタン	詳細
①BROAD STREAM RTユーティリティのインストール	BROAD STREAM RTユーティリティ（IPアドレス設定ユーティリティ）のインストールおよびアンインストールを行ないます。
②Windows Media（TM） Player 9のインストール	Windows Media（TM） Player 9のインストールを行ないます。
③Adobe（R）Acrobat（R） Reader（TM） 5.0のインストール	Adobe（R）Acrobat（R） Reader（TM） 5.0のインストールを行ないます。
④オンラインマニュアルの参照	オンラインマニュアルを参照できます。 オンラインマニュアルはPDFファイル形式のため、「Adobe（R）Acrobat（R）Reader（TM）5.0」をインストールしてください。
⑤サンプル動画ファイルの再生	MPEG-4、G.726対応のコーデックソフトをインストールするための再生用ファイルです。
⑥VoiceAge SPOTxde（TM）ウェブサイト	GSM-AMR対応のコーデックソフトをインストールするために「VoiceAge SPOTxde（TM）ウェブサイト」に接続します。
⑦pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストール	pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストールを行ないます。
⑧メニューの終了	本メニュー画面を終了します。

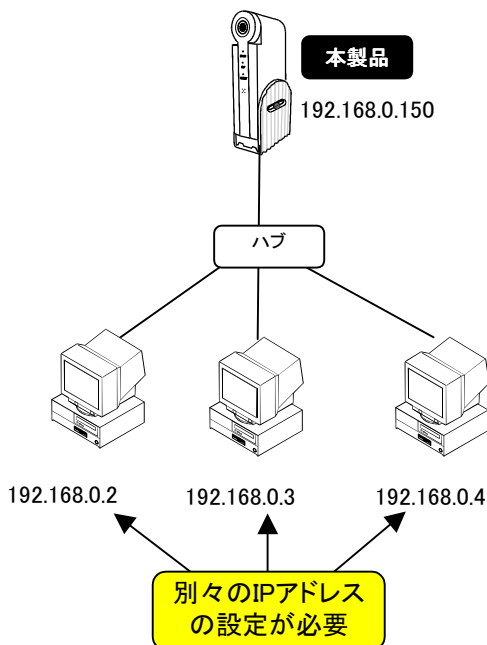
付録5

TCP/IPの基礎知識

ここでは、本製品を使用する上で必要となるTCP/IPプロトコルのIPアドレスの基礎知識について説明します。必要に応じてお読みください。

IPアドレス

同じネットワーク上では別々のIPアドレスが必要

本製品を使用するには、本製品やパソコンにIPアドレスの設定が必要です。
また、設定するIPアドレスは、本製品および本製品に接続したパソコンのすべてに別々のIPアドレスが必要です。
IPアドレスとは、データを送受信するためのパソコン同士で理解できる住所のようなものです。
町の１軒１軒の家が別々の住所を持つように、パソコンも１台１台が別々のIPアドレスを設定する必要があります。同じIPアドレスを持つパソコンがあるとどちらにデータを送ればいいのかわからなくなるためです。
例えば、本製品は出荷時「192.168.0.150」のIPアドレスを持ちますが、ネットワーク上に、同じIPアドレスを設定したパソコンがあると、他のパソコンから本製品やその同じIPアドレスのパソコンにアクセスできなくなります。

インターネットのIPアドレスとLANのIPアドレス

IPアドレスには、「グローバルIPアドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。

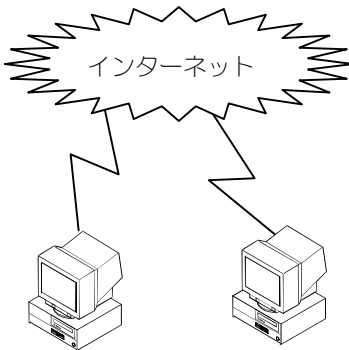
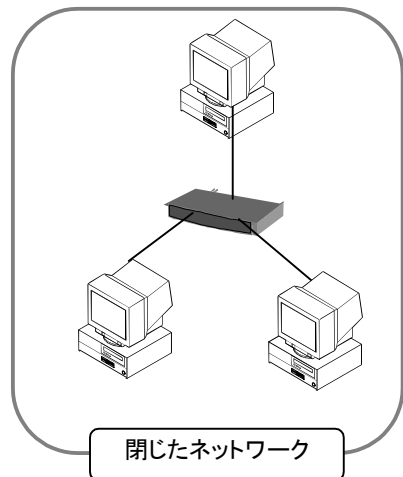
「グローバルIPアドレス」は、インターネットで使用するIPアドレスです。

「ローカルIPアドレス」は、通常LAN内で使用するIPアドレスです。

グローバル IP アドレス	ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。 通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカル IP アドレス	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみなど）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。 この IP アドレスがローカル IP アドレスです。

グローバルIPアドレス

ローカルIPアドレス

閉じたネットワーク

LAN内で使用するIPアドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば[クラスAのIPアドレス]、中規模なら[クラスBのIPアドレス]、小規模の場合は[クラスCのIPアドレス]となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、本製品の出荷時のIPアドレス「192.168.0.1」のように、IPアドレスは、ピリオドで区切られた4つの数字の羅列で構成されていて、４つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。

例　本製品の出荷時のIPアドレス「192.168.0.1」の場合は「192」

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～127	クラスA	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
128～191	クラスB	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
192～223	クラスC	小規模ネットワーク用（最大約 250 台）

※「224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数10台で構成されるネットワークでは、クラスCのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスA	10.0.0.0　～　10.255.255.255
クラスB	172.16.0.0　～　172.31.255.255
クラスC	192.168.0.0　～　192.168.255.255

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）とは、IPアドレスの自動割り当て機能のことです。
DHCPは、DHCPサーバとDHCPクライアントで構成され、DHCPサーバがDHCPクライアントに使用可能なIPアドレスを割り当てます。
例えば、本製品をDHCPサーバとし、複数台のすべてのパソコンをDHCPクライアントに設定した場合、各パソコンは、パソコン起動時に使用可能なIPアドレスを入手し、終了時に開放します。

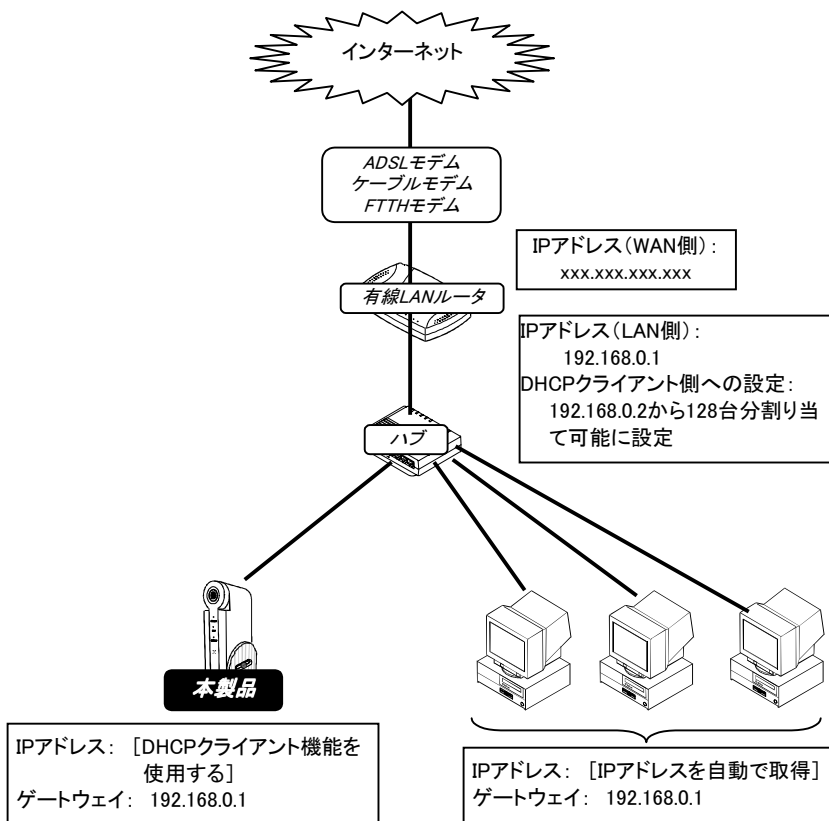
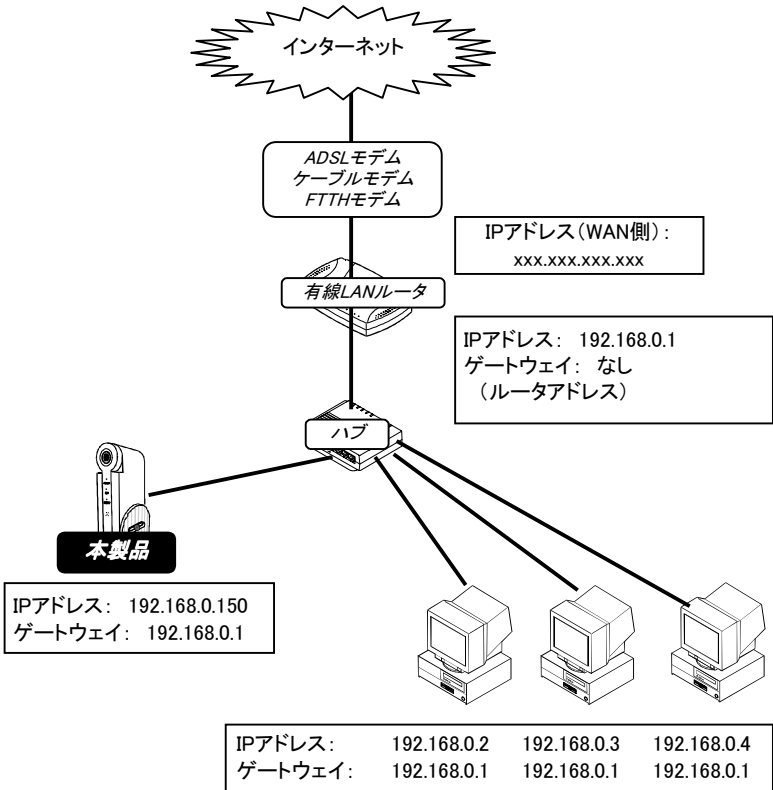
●*DHCP の特徴*

・個々のパソコンに IP アドレスをセットする手間が省けます。
・設定できる IP アドレスが変更された場合、DHCP サーバのみの変更で済みます。
　そのため、クライアント側で IP アドレスを考慮する必要がなくなります。
　DHCP クライアント側では、DNS やゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスも自動で設定されます。
・DHCP クライアント側の IP アドレスは、起動時毎に毎回異なる場合があります。

本製品を DHCP サーバとした場合は、必ず本製品が正常に起動した後に、パソコンを起動してください。パソコンを先に起動すると IP アドレスが正常に割り当てられなくなる場合があります。

具体的なIPアドレスの設定例

ここでは、小規模ネットワークでの、本製品を使用した場合の IP アドレスの具体的な設定例について説明します。

本製品をDHCPクライアントとして使用する場合の例

IPアドレスをすべて手動で設定する場合の例

通信や接続が正しいかの確認方法

Windows標準のPINGコマンドを使用して相手先のパソコンに正常に通信、あるいは接続が正常かを確認することができます。

PING コマンドを使用するには、TCP/IP がインストールされている必要があります。

1 [MS-DOSプロンプト]（またはコマンドプロンプト）を起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows Meの場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックして起動します。

・Windows 98の場合

[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]を順にクリックして起動します。

2 以下のように入力し、[ENTER]キーを押します。

PING xxx.xxx.xxx.xxx　（xxx.xxx.xxx.xxx は相手先のIPアドレス）

入力例）　相手先のIPアドレスが「192.168.0.10」の場合は以下のように入力します。

PING　192.168.0.10

3 正常に相手先が表示されるか確認してください。

正常に接続されない場合、「Request timed out」や「Destination host unreachable」などと表示されます。

付録6

用語解説

ここでは、本製品の関連する用語について説明します。

■数字

10BASE-T

Ethernetの1規格で、ケーブルやコネクタの形状、通信速度などを定めた規格。理論値で10Mbps通信帯域(速度)となっています。

16進数

0から9までの数字に加え、「A」から「F」の6つのアルファベットを使って(0123456789ABCDEF)数値を表記する方法。

■アルファベット

ActiveX
米国のMicrosoft社が開発したソフトウェアの技術の総称で、webブラウザでアクセスしたサーバから、プログラムをダウンロードし、起動できるという機能を持っています。この技術により通常のブラウザでは持っていない機能を閲覧時に追加してwebページを閲覧することができるようになります。

Adhoc
無線LANを搭載した機器同士が、無線LAN用アクセスポイントを経由せず、直接通信するモード。

ADSL（Asymmetric Digital Subscriber Line）
既存の電話回線を利用して、音声電話では使用していない高い周波数を利用し、高速のデータ通信を行なう技術です。送信速度と受信速度が非対称であるために「Asymmetric」の語を使っています。日本では1.5Mbpsと8MbpsのADSL回線が整備されつつあります。

AMR（GSM-AMR）
第三世代移動体通信（NTTドコモのFOMAなど）で利用される音声信号のデジタル圧縮方式。

ASF（Advanced Streaming Format）
Microsoft社が提唱する、マルチメディアデータをネットワークを通してストリーミングデータとして提供するためのフォーマットで、TCPプロトコルです。
音声やビデオ画像だけでなく、テキスト、MIDIデータなども、同一のASFのデータに含めることができます。
ファイルフォーマットとしても利用可能で、本製品では、ASF形式でのCFメモリカード等へのファイル保存にも利用しています。
Windows Media Playerが対応しています。

CATV
有線を利用したテレビ放送、ケーブルテレビを指しています。テレビ放送以外にも、インターネット接続サービスも行っている場合もあります。

CIF（Common Intermediate Format）
横352×縦288ドットのサイズで表示される映像フォーマット。

CMOSセンサー（Complementary Metal-Oxide Semiconductor Sensor）
光を電機信号に変換するデバイスの一種。信号の読み出し速度を高速化できる、消費電力を少なくでききるなどのメリットがあります。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）
TCP/IPネットワークにおいて、サーバから動的にIPアドレスなどのネットワーク構成情報を取得するプロトコル。

DHCPクライアント機能
DHCPサーバに対してIPアドレス発行要求を出し、サーバから自分のIPアドレスを取得する機能です。ゲートウェイなどのネットワーク構成情報も取得できます。

DHCPサーバ機能
DHCPクライアントの要求に応えてIPアドレスを発行する機能。IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクなどの情報を管理し、クライアントに割り当てることができます。

DNS（Domain Name System）
IPアドレスは“192.168.1.5”といった数値の羅列で構成され、人間にとって扱いにくいため、アルファベットと数字（と一部の記号）を使うことができる「ドメイン名」として運用することができます。このドメイン名と、IPアドレスを自動的に変換するしくみをDNSといい、そのサーバを「DNSサーバ」と呼びます。

ESS-ID（Extended Service Set Identifier）
無線LANにおいて通信相手を特定するための識別番号です。お互いを照合する暗証番号のようなもので、このESS-IDが一致した相手同士で通信できるようになります。

Ethernet
LANで用いられるケーブルを分岐、中継するための装置です。8ポート、4ポートなど、ポートの数は様々です。

FTP（File Transfer Protocol）
インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークにおいて、ファイルを転送するときに使われるプロトコル。現在のインターネットではHTTPやSMTP/POP3とともに、頻繁に利用されています。

G.726
音声信号のデジタル圧縮方式。AMRに比べ高品質ですが、データ量が大きくなります。

HTML（Hyper Text Markup Language）
ウェブページを記述する書式。この書式で記述された文書ファイルをインターネットブラウザソフトで読むことでウェブページとして閲覧することができます。

HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）
Webサーバとクライアント（webブラウザなど）が、HTMLで記述されたファイルなどを送受信するための通信プロトコル。

Infrastructure
ネットワークに接続した無線LAN用のアクセスポイントを経由して、各コンピュータがLANやインターネットに接続する方式。一般に現状で無線LANといえば、この形態で使用されています。

IPアドレス（Internet Protocol Address）
インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続された、全てのコンピュータなど1台ずつに割り振るべき識別番号。インターネットに接続されている機器では、世界で1つだけのグローバルIPアドレスを割り当てておく必要があります。

JavaScript
Sun Microsystems社とNetscape Communications社が開発したスクリプト言語（簡易プログラミング言語）。Webブラウザ上で実行されるプログラムを記述するための言語規格の1つです。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）、およびISO（国際標準化機構）が共同推進した静止画圧縮技術の標準化、またはその規格の名称。一般的な静止画圧縮方式で、静止画像を1/10～1/100のデータ量に圧縮できます。

LAN（Local Area Network）
ローカルエリアネットワークの言葉のとおり、同一のフロアや同一の建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域で運用されるコンピューターネットワークのこと。

MACアドレス（Media Access Control Address）
Ethernet端子に割り当てられている固有の識別番号であり、全世界において番号が重複することはありません。Ethernetにおいては、この番号を元にしてデータの送受信を行ないます。

MPEG（Motion Picture Experts Group）
ISO（International Standard Organization/国際標準化機構）、およびIEC（International Electrotechnical Commission/国際電気標準会議）が共同推進した動画圧縮技術の標準化組織、またはその規格の名称。テレビ電話やテレビ会議用に作られたADCT（Adaptive Discrete Cosine Transform/適応化離散コサイン変換）というアルゴリズムと、MC（動き補正）を組み合わせ、リアルタイム動画圧縮の符号化をするしくみです。動画と音声を合わせ、転送レート1.5Mbit/sec（bps）の規格がMPEG-1で、VideoCDなどに使用され、MPEG-2はDVDやCS放送などに使用されています。MPEG-4は、携帯電話などのモバイル機器で動画を送受信するための規格です。

PDA（Personal Digital Assistant）
個人用の携帯情報端末。一般的には手のひらに収まるサイズの電子機器で、液晶表示、ペン入力、外部データ利用などの機能を備えており、バッテリ（電池）で駆動します。

PIAFS
PHSにコンピュータなどをつないで、データ通信をするための規格。
32kbps/64kbpsなどの速度で通信が可能。

POP（Post Office Protocol）
電子メールを受信しているサーバから、TCP/IPプロトコルを使って受信したメールの内容をクライアントPCなどに読み出すためのプロトコル

POP before SMTP
電子メールの送信を行う際のユーザー認証方式の一つ。メール送信前に指定のPOPサーバに事前にアクセスすることにより、SMTPサーバの使用（メールの送信）が可能となります。

PPP（Point to Point Protocol）
電話回線を通じてコンピュータをネットワーク接続する「ダイヤルアップ接続」で使われるプロトコル。ISDN接続、モデム接続といった「ダイヤルアップIP接続」でインターネットに接続する際にこのプロトコルを使います。

PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）
ダイヤルアップ接続におけるPPP接続と同様の通信を、ADSLモデムを介してEthernetによる通信で行なうための方式。

QCIF（Quarter CIF）
横176×縦144ドットのサイズで表示される映像フォーマット。

RAMディスク
機器を動作させるための内部メモリを記録ディスクのように利用すること。機器の電源が切れると、記録データが消去されます。

RTP(Real Time Protocol)
音声や映像をストリーミング再生するための伝送プロトコルで、パケットロス対策や伝送時間保証などは行われていないUDPプロトコルです。
QuickTime PlayerやpvPlayerをはじめとした多くのプレイヤソフトがRTPに対応しており、ストリーミングフォーマットとして、広く利用されています。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコル。サーバ間でメールのやりとりをしたり、クライアントがサーバにメールを送信する際に用いられます。一般的にメールプログラムと連携して動作します。

SQCIF（Sub QCIF）
横128×縦96ドットのサイズで表示される映像フォーマット。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）
インターネットやイントラネットにおいて標準的に使用されるプロトコル。メールやHTMLデータをやり取りする際、どういう手順でデータを送るのかを一定のルールにしたものです。

URL（Uniform Resource Locator）
インターネット上に存在する文書や画像などの場所を示す記述方式。インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

Webブラウザ
Webページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウェア。代表的なwebブラウザにNetscape NavigatorやMicrosoft Internet Explorerがあります。

WWW（World Wide Web）
インターネットやイントラネットで標準的に用いられるドキュメントシステム。URLとHTTPを用いてHTMLを表示することが可能。一般的にはインターネットと混同されることが多い。

■かな

アンマウント
CFカードなどの周辺機器の動作を停止させ、本製品やパソコンから切り離すこと。

インストール（Install）
新たにハードウェアやソフトウェアをシステムに組み込むこと。たとえば拡張カードを追加したり、新しいソフトウェアをパソコンシステムに組み込むときに用いられます。「セットアップ」という場合もあります。

インターネット（Internet）
TCP/IPネットワークプロトコルによって、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークの総称。電子メールやwebページ閲覧などのサービスが提供されます。単にwebページ閲覧を意味する使われ方をする場合もあります。

イントラネット（Intranet）
インターネットで使用されるさまざまな技術を、組織内のネットワーク環境の実現に応用したネットワークのこと。

グローバルIPアドレス
インターネットで使うことを許されたIPアドレス。他に重複することのない、世界で唯一のIPアドレスのこと。

クロスケーブル
Ethernetの10BASE-T/100BASE-TXなどで、パソコンやネットワーク機器を1対1で直接つなぐために使われるケーブル。ケーブル内部で入力と出力の配線がクロスしていることからこの名称となっています。

ゲートウェイ→デフォルトゲートウェイ

ケーブルモデム
CATV回線を使って、インターネットに接続するための装置。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムといいます。通常のモデムとは異なり、パソコンとはEthernetを使用して接続します。

コーデック（CODEC）
デジタルビデオやデジタルオーディオのデータを圧縮/伸張する際に用いられるアルゴリズムとそのソフトウェア。パソコン上でビデオやオーディオの再生をする場合、それに対応したコーデックが存在していないと再生できません。

コンパクトフラッシュ（CompactFlash）
SanDisk社提唱のCFメモリーカードの規格。CompactFlashはデジタルカメラなどの記憶装置として使われています。

サブネットマスク（Subnet Mask）
TCP/IP接続時に、ネットワークをいくつかに区切るため、マシンに割り当てるIPアドレスの範囲を限定します。この時、区切られたネットワークとその設定値をサブネットマスクと呼びます。

ストレートケーブル
Ethernetの10BASE-T/100BASE-TXなどで、パソコンやネットワーク機器とEthernet HUBを接続する際に使われるケーブル。

セカンダリDNS
DNSサーバは、重要な役割を持ったサーバなのでプライマリDNS以外にバックアップ用のDNSサーバをネットワーク上に構成し、運用するのが一般的となっています。このバックアップ用のDNSサーバのことをセカンダリDNSと呼びます。

セットアップ→インストール

ダイヤルアップ機能
インターネット接続に際し、必要な時だけ電話回線やISDNを通じて接続する方法。

ダウンロード（Download）
遠隔地にあるパソコンやネットワーク機器から、インターネットやネットワークを通じて、サーバコンピュータに保存されているデータを手元のパソコンに転送し、保存すること。

デフォルトゲートウェイ
同一ネットワーク以外のパソコンやネットワーク機器へアクセスする際に使用する「出入口」にあたるパソコンやルータ。またその機器に割り当てられているIPアドレスを指します。

ネットマスク→サブネットマスク

ネットワーク
複数のコンピュータやネットワーク機器をケーブルなどで接続し、お互いのデータのやり取りをする仕組みの総称。

ファームウェア（FirmWare）
機器を動作させるためのプログラム。

ファイルシステム
CFメモリーカードなどの記憶装置に記録されているデータを管理する方式。記録装置のどこに何のファイルがあるのか、などの情報を記録しています。

フォーマット（Format）
CFメモリーカードなどの記録装置に記録されたデータを全て削除すること。

プライマリDNS
通常メインに使用するDNSサーバ

ブラウザ→webブラウザ

フレームレート（Frame Rate）
動画表示時の画面の更新速度。1秒間に何回画面を書きかえられるかを表します。単位は“fps（frame per second）”で、この数値が高いほど、滑らかな動画になります。

ブロードバンド（Broadband）
大容量のデータを送受信可能な次世代高速ネットワークの総称。文字や静止画だけでなく、音声や動画なども快適に通信可能になります。代表的なものとしてCATVインターネット機能やADSLなどがあります。

プロトコル（Protocol）
ネットワークを通じて。コンピュータやネットワーク機器が情報をやり取りするための取り決め。

ポートフォワーディング
ルータのIPアドレスへアクセスされた際に、ルータに接続している特定のパソコンやネットワーク機器が所有するIPアドレスに対し、指定ポート番号に属するデータのみを送信する機能。ルータのフォワーディング設定がなされていると、たとえばルータにIPアドレスにアクセスする際“192.168.0.2：80”とポート番号を追記すると、ルータに接続した本製品を閲覧することができます。

ポート番号
TCP/IPなどにおいて、サービス（アプリケーションの種類）を区別するために使われる番号。たとえばメールに使うSMTPは25、HTTPは80が一般的に用いられます。

マウント
CFメモリーカードなどの周辺機器を本製品やパソコンに認識させ、操作可能にすること。

モデム（Modem）
パソコンで取り扱うデジタルデータを、電話回線などの様々な回線で取り扱えるアナログデータに変換する装置です。ADSL、CATVなどの各種モデムがあります。また電話回線を使ってインターネット接続を行なう場合に必要なパソコンの周辺機器を指すことも多い。

ランタイム
アプリケーションソフトを実行する際に必要となるソフトウェアモジュール（部品）のこと。

ルータ（Router）
ネットワーク上を流れるデータを、他のネットワークに中継する機器。ネットワーク機器のIPアドレスを見て、どの経路を通じて転送すべきか判断する機能を持ちます。

付録7

仕様

本体仕様

項目		仕様	備考
モデル名		TSR-MS4R(BROAD STREAM)	
圧縮方式	動画	MPEG-4 Simple Profile Level1 (ASFおよびRTP)	
	静止画	JPEG	
	音声	G.726 32kbps、GSM-AMR 4.75kbps,6.7kbps,12kbps	
解像度		CIF(352×268)、QCIF(176×144)、 SubQCIF(128×96)	
フレームレート		最大30fps	*1
配信データレート		ASF配信時 32k,64k,96k,128k,144k,192k,256k, 384k,512k,768kbps RTP配信時 32k,50k,52k,64k,128k,256kbps	
保存ファイル形式		Microsoft Advanced System Format(ASF)	
対応プロトコル		HTTP、FTP、SMTP、RTP、DDNS	
ネットワーク機能		Webサーバ、FTPサーバ、PPP発着 信、DHCPクライアント	
配信セッション数		最大同時5セッション	設定により変更 可能

項目		仕様	備考
内部入力デバイス	映像	CMOSセンサーカメラモジュール×1	
	音声	モノラルマイクモジュール×1	
外部映像入力	映像入力	NTSC方式	75Ω/1Vp-p
	コネクタ	RCAコネクタ×1	
外部音声入力	音声入力	モノラルラインマイク入力	
	コネクタ	φ3.5mmピンジャック×1	RCA変換アダプタ添付
内蔵LAN	通信方式	Ethernet 10BASE-T	
	コネクタ	RJ45コネクタ×1	
外部拡張		CF+™ TypeⅡ準拠スロット×1	*2
外部スイッチ		全初期化ボタン×1	
LED表示	電源確認用	緑色LED×1	POWERランプ
	配信確認用	赤／緑／オレンジ色LED×1	RUNランプ
	記録確認用	赤／緑／オレンジ色LED×1	MEMORYランプ
	CF確認用	緑色LED×1	
	LAN確認用	緑色LED×2	LINKランプ/ACTランプ
電源入力		AC100V(50/60Hz)	専用ACアダプター使用
消費電力		最大10W	DC5V/2A(本体のみ)
外形寸法		約180(H)×約50(W)×約70(D)(mm)	突起物を除く、本体のみ
製品重量		約390g	本体のみ
使用環境温度		0～40℃	屋外での利用は動作保証外
使用環境湿度		20～80%	結露しないこと
対応規格		VCCI ClassB	

**1:フレームレートは、ネットワーク環境やパソコンの設定で変わります。*
**2:使用できるCFカードに関しては、弊社指定のCFカードに限ります。弊社指定以外のCFカードをご使用になられますと、CFカードを破損することもありますので、ご注意ください。*

内部カメラ仕様

項目	仕様	備考
撮像素子	1/4インチCMOSセンサー	
有効画素数	VGAサイズ（640×480画素）	約30万画素
画角	水平54.6度、垂直42.4度	
レンズFNo.	F2.6	
焦点	固定焦点	
フォーカス範囲	50cm～∞	
ホワイトバランス	オート	
最低対応照度	約10Lux	*3

*3：被写体の環境が暗い場合、画像にノイズが目立つようになります。
全ての仕様は、予告無く変更されることがあります。

扱える画像データの種類

配信フォーマット	Microsoft Advanced Streaming Format（ASF形式） Real Time Protocol（RTP形式）
解像度	CIF（352×288）、QCIF（174×144）、SQCIF（128×96）
動画圧縮方式	MPEG-4 Simple profile level 1
静止画圧縮方式	JPEG
音声圧縮方式	G.726　または　AMR（中／低）（ASF形式） AMR（高／中／低）（RTP形式）

出荷時設定

■メモリカード動画

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
データレート	32k,64k,128k,144k,192k,,256kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	G.726、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	G.726

■ASF動画設定

設定項目	設定値	工場出荷初期設定値
リアルタイム動画配信	有効、無効	有効
データレート	32k,64k,128k,144k,192k,256k,384k,512k,768kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	G.726、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	G.726

■RTP動画設定

設定項目	設定値	工場出荷初期設定値
リアルタイム動画配信	有効、無効	有効
データレート	32k,50k,52k,64k,128k,256kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	AMR（高）、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	AMR(低)
リフレッシュ周期	5,10,15,20秒間隔	5秒間隔
最大フレームレート	5,7.5,10,15,30フレーム	15フレーム
グローバルIP設定	有効、無効	無効
グローバルIPアドレス		【空】

■静止画設定

設定項目	設定値	工場出荷初期設定値
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF

■カメラ・外部入力設定

設定項目	設定値	工場出荷初期設定値
映像入力	内蔵カメラ、外部入力	内蔵カメラ
音声入力	内蔵マイク、外部入力	内蔵マイク
内蔵カメラ画像上下反転表示	有効、無効	無効

■ネットワーク設定

設定項目			設定値	工場出荷初期設定値
共通設定	カメラタイトル			【空】
	ホスト名			TSR-MS4R
	IPアドレス通知	メール送信先アドレス		【空】
		FTP転送先ディレクトリ		【空】
		FTP転送ファイル名		【空】
	メール設定	メールアドレス		【空】
		SMTPサーバ		【空】
		POP before SMTP	有効、無効	無効
		POPサーバ		【空】
		メールID		【空】
		パスワード		【空】
	FTP設定	FTPサーバ		【空】
		FTP ID		【空】
		パスワード		【空】
内蔵LAN設定	IPアドレス	固定IPアドレスを指定する DHCPクライアント機能を使用する		固定IPアドレスを指定する
	固定IPアドレスを指定する	IPアドレス		192.168.0.150
		サブネットマスク		255.255.255.0
	DHCPクライアント機能を使用する	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	デフォルトゲートウェイ			192.168.0.1
	DNSサーバ	DNSプライマリ		192.168.0.1
		DNSセカンダリ		【空】

無線LAN設定	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する DHCPクライアント機能を使用する		DHCPクライアント機能を使用する
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		192.168.1.2
		サブネットマスク		255.255.255.0
	DHCPクライアント機能を使用する	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	無線設定	WEP暗号化	64Bit、128Bit、無効	無効
		WEP Key		【空】
		通信モード	Ad hoc Infrastructure	Infrastructure
		ESS-ID		【空】
		チャネル番号	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14	1
	デフォルトデートウェイ			【空】
PPPoE設定	PPPoE	使用する 使用しない		使用しない
	使用する	PPPoE ID		【空】
		パスワード		【空】
	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する IPアドレスを自動的に割り当てる		IPアドレスを自動的に割り当てる
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		【空】
	IPアドレスを自動的に割り当てる	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	DNSサーバ	DNSプライマリ		【空】
		DNSセカンダリ		【空】

PPP設定	発信機能	有効、無効		無効
	有効	電話番号		【空】
		PPP ID		【空】
		パスワード		【空】
	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する IPアドレスを自動的に割り当てる		IPアドレスを自動的に割り当てる
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		【空】
		サブネットマスク		【空】
	DNSサーバ	DNSプライマリ		【空】
		DNSセカンダリ		【空】
	着信機能	PPP着信 無効		無効
	PPP着信	PPP受信IPアドレス		【空】
		PPPクライアントIPアドレス		【空】
		着信番号制限	有効、無効	無効
		着信許可番号	最大5件入力可能	【空】
ダイナミックDNS設定	DDNSサービス	使用する 使用しない		使用しない
	使用する	ホスト名		【空】
		シリアル番号		【空】
		パスワード		【空】
		サーバへのアクセス頻度	10,20,30,40,50,60分	60分

■システム設定

設定項目			設定値	工場出荷初期設定
時刻設定			YYYY年MM月DD日MM分SS秒	正常な時間
アクセス制限設定	動画配信・静止画表示アクセス制限		有効、無効	無効
	動画配信最大セッション数		5.4.3.2.1セッション	5セッション
ユーザー管理	新規ユーザー登録	ユーザーID		【空】
		パスワード		【空】
		パスワード（確認）		【空】
		権限レベル	レベル1.2.3	レベル1
		PPP着信	許可する 許可しない	許可しない
	登録ユーザー一覧	パスワード		adminの初期パスワード:【空】
		パスワード（確認）		adminの初期パスワード（確認）:【空】
		権限レベル		adminの初期権限レベル:レベル3
		PPP着信		adminの初期PPP着信:許可しない

設定項目制限事項

設定項目制限事項

※以下表中の[設定条件]欄の＜制約＞については245ページ参照

■動画設定

設定項目	設定条件
データレート	ネットワーク帯域以下に設定
解像度	96kbps以下時、CIF設定不可
音声	32kbps時、G.726設定不可（ASF）

■ネットワーク設定

設定項目			設定条件
共通設定	カメラタイトル		<制約1>最大31文字
	ホスト名		<制約1>最大63文字
	IPアドレス通知	メール送信先アドレス	<制約1>最大63文字
		FTP転送先ディレクトリ	<制約2>最大127文字
		FTP転送ファイル名	<制約1>最大31文字
	メール設定	メールアドレス	<制約1>最大63文字
		SMTPサーバ	<制約1>最大63文字
		POPサーバ	<制約1>最大63文字
		メールID	<制約1>最大31文字
		パスワード	<制約3>最大31文字
	FTP設定	FTPサーバ	<制約1>最大63文字
		FTP ID	<制約1>最大31文字
		パスワード	<制約3>最大31文字
内蔵LAN設定	固定IPを指定する	IPアドレス	<制約4>
		サブネットマスク	<制約5>
	デフォルトゲートウェイ		<制約4>
	DNSサーバ	DNSプライマリ	<制約4>
		DNSセカンダリ	<制約4>

PPP設定	発信機能	電話番号	<制約6>最大31文字
		PPP ID	<制約1>最大31文字
		パスワード	<制約3>最大31文字
	固定IPアドレスを自動的に割り当てる	IPアドレス	<制約4>
		サブネットマスク	<制約5>
	DNSサーバ	DNSプライマリ	<制約4>
		DNSセカンダリ	<制約4>
	PPP着信	PPP受信IPアドレス	<制約4>
		PPPクライアントIPアドレス	<制約4>
		着信許可番号	<制約6>最大31文字
無線LAN設定	固定IPを指定する	IPアドレス	<制約4>
		サブネットマスク	<制約5>
	無線設定	WEP Key	<制約7>10桁(64Bit時)、26桁(128Bit時)
		SSID	<制約1>最大31文字
	デフォルトゲートウェイ		<制約4>
	DNSサーバ	DNSプライマリ	<制約4>
		DNSセカンダリ	<制約4>
PPPoE設定	PPPoE	PPPoE ID	<制約1>最大31文字
		パスワード	<制約3>最大31文字
	固定IPを指定する	IPアドレス	<制約4>
	DNSサーバ	DNSプライマリ	<制約4>
		DNSセカンダリ	<制約4>

■システム設定

設定項目			設定条件
時刻設定			2000年～2035年、24時間表記
ユーザー管理	新規ユーザー登録	ユーザーID	<制約1>4～8文字
		パスワード	<制約3>4～8文字
		パスワード(確認)	<制約3>4～8文字
	登録ユーザー一覧	パスワード	<制約3>4～8文字
		パスワード(確認)	<制約3>4～8文字

■制約1
半角英数字のみ使用可能。ただし、「”」「#」「&」「’」「＊」「／」「:」「<」「=」「>」「?」「¥」「|」の使用を禁止

■制約2
半角英数字のみ使用可能。ただし、「”」「#」「&」「’」「＊」「:」「<」「=」「>」「?」「|」の使用を禁止

■制約3
半角英数字のみ使用可能。ただし、「”」「#」「’」「=」の使用を禁止

■制約4
使用可能なIPアドレスについて
xxx.xxx.xxx.xxx形式（xxxは0～255）
ただし下記を禁止
0.xxx.xxx.xxx
127.xxx.xxx.xxx
224.xxx.xxx.xxx～255.xxx.xxx.xxx

■制約5
使用可能なサブネットマスクついて
0～31bitの連続したbitによる設定のみ可能です。以下のサブネットマスクが具体的に設定可能です。

使用可能なサブネットマスク			
128.0.0.0	255.128.0.0	255.255.128.0	255.255.255.128
192.0.0.0	255.192.0.0	255.255.192.0	255.255.255.192
224.0.0.0	255.224.0.0	255.255.224.0	255.255.255.224
240.0.0.0	255.240.0.0	255.255.240.0	255.255.255.240
248.0.0.0	255.248.0.0	255.255.248.0	255.255.255.248
252.0.0.0	255.252.0.0	255.255.252.0	255.255.255.252
254.0.0.0	255.254.0.0	255.255.254.0	255.255.255.254
255.0.0.0	255.255.0.0	255.255.255.0	

■制約6
「0」～「9」、「#」「＊」のみ使用可

■制約7
「0」～「9」、「A」～「F」、「a」～「f」、のみ使用可

お手入れについて

本製品のお手入れ

本製品の汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

注意

- 本製品の表面はABS樹脂が使われています。ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり、日焼け止めクリームや化粧品が付着すると変色することがありますので、ご注意ください。

レンズのお手入れ

本製品本体カメラ部分のレンズのお手入れは、カメラ用のブロワーで軽く拭き取るように行なってください。

注意

- 特に、砂やホコリの付着した状態では強く拭かないでください。レンズが傷つく恐れがあります。

端子、プラグ、コネクタなどのお手入れ

端子、プラグ、コネクタなどに付着した汚れなどは、乾いた綿棒などでお手入れしてください。これらが汚れていると接触が悪くなり、正常に動作しない場合があります。

注意

- お手入れの際は、必ず電源を切断してください。
- 電源プラグをコンセントから抜き、本製品に接続されている各種ケーブルやCFカードなどを取り出してください。
- 火災、感電、漏電、故障の原因となります。

セキュリティについて

本製品のご使用にあたり、管理者（レベル3の権限をもつユーザー）のパスワードを設定されることを強くお勧めいたします。
管理者用パスワードを設定しない場合、他のネットワーク上から他者により、お客様がおもちの本製品に対して設定変更などが行なわれてしまう可能性があります。
これはセキュリティ上、好ましくありません。
管理者パスワードを設定することにより、安全に本製品をご使用になられることをお勧めいたします。
また、本製品では管理者以外においても、設定操作の権限を持つユーザーを登録することが可能です。ユーザー登録の際には、登録情報の取り扱いに十分ご注意ください。

重要

・ユーザー管理、パスワード管理の方法につきましては、別途記載しております。
詳細は、【ユーザー管理】（184ページ）を参照してください

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9:30〜19:00　月〜金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとソフトウェアのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

ファームウェアのバージョンアップについて

本製品は内部のファームウェアのバージョンアップ(更新)を行なう事が可能です。この機能により、CFカードのサポートの追加や機能拡張などを行なうことが可能となります。通常ならば、ファームウェアの更新作業は複雑ですが、本製品ではアップデートユーティリティにより、簡単にバージョンアップできます。アップデート方法につきましては、サポートページにてご確認ください。
サポートページは、前ページを参照してください。

注意

- ファームウェアの更新作業を行なうことができるのは、【ユーザーの管理】の【レベル3】の権限を持ったユーザーのみとなっております。
  詳細は【ユーザー管理】(184ページ)を参照してください
- ファームウェアの更新を行なう環境は、本製品とお使いのパソコンをLANクロスケーブルを用いて一対一で接続したネットワーク環境が前提となっております。それ以外のネットワーク環境ではアップデートユーティリティの動作は保証いたしかねますので、ご注意ください。
- アップデートユーティリティは、Windows搭載パソコンでのみ動作します。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。